74-147

越佐實鑑

尚軒和田文次郎編輯

金澤濟美館

上卷

山氣靈

猶龍

齋逸人題

緒言

予夙に我加越能三州の史書缺如して卣莽[散漫に]過くるを疾み資材を鳩め研究を費し郷土的史書の上に一新生面を開かんことを期して拮据従事するもの年あり其既に成功するところは微かに其半に過きずといふと雖とも然れとも其苦心空しからすして漸く具眼者の同情を得つゝあり而して爰に金澤濟美館に於て越佐叢鑑發行の擧あり予をして編纂の局に當らしめ又同書の質質及其目的とする所は予か獨箇の力を以て成就しつゝある郷土的史書とは多少趣を異にするものありと雖名譽を開顯し勝區を紹介し以て些か國に誌し文に著はして我歴史と美術とに貢献する所あらんことを欲するは有益なる事業として同情を表するものなり且亦其資料の圖誌と両々相須ちて恰好の郷土的史書の[一]部分たらんことを期するの念に驅かん予は

越後土產　越後古城考　越後名所記

越佐日記　越後名寄

佐渡名勝志　佐渡事略　佐渡志

〔其他略す〕

是等の諸書を渉獵し之を取捨し之を排酌し鑑錄綜合して少かに越佐寶鑑の一書を成せり不幸にして編纂に時日を貸すこと短かりき惟ふに當に缺遺尠からさるへし予は寡然として之を讀者に謝せさるへからす大方識者の指摘に由り正補て是加するを得ば幸たる甚し刊行に及ひて一言以て讀者に訴ふと云爾

加賀國金澤理心堂東窓ノ下ニ於テ

倘軒 和田文次郎 述フ

越佐寶鑑上卷目次

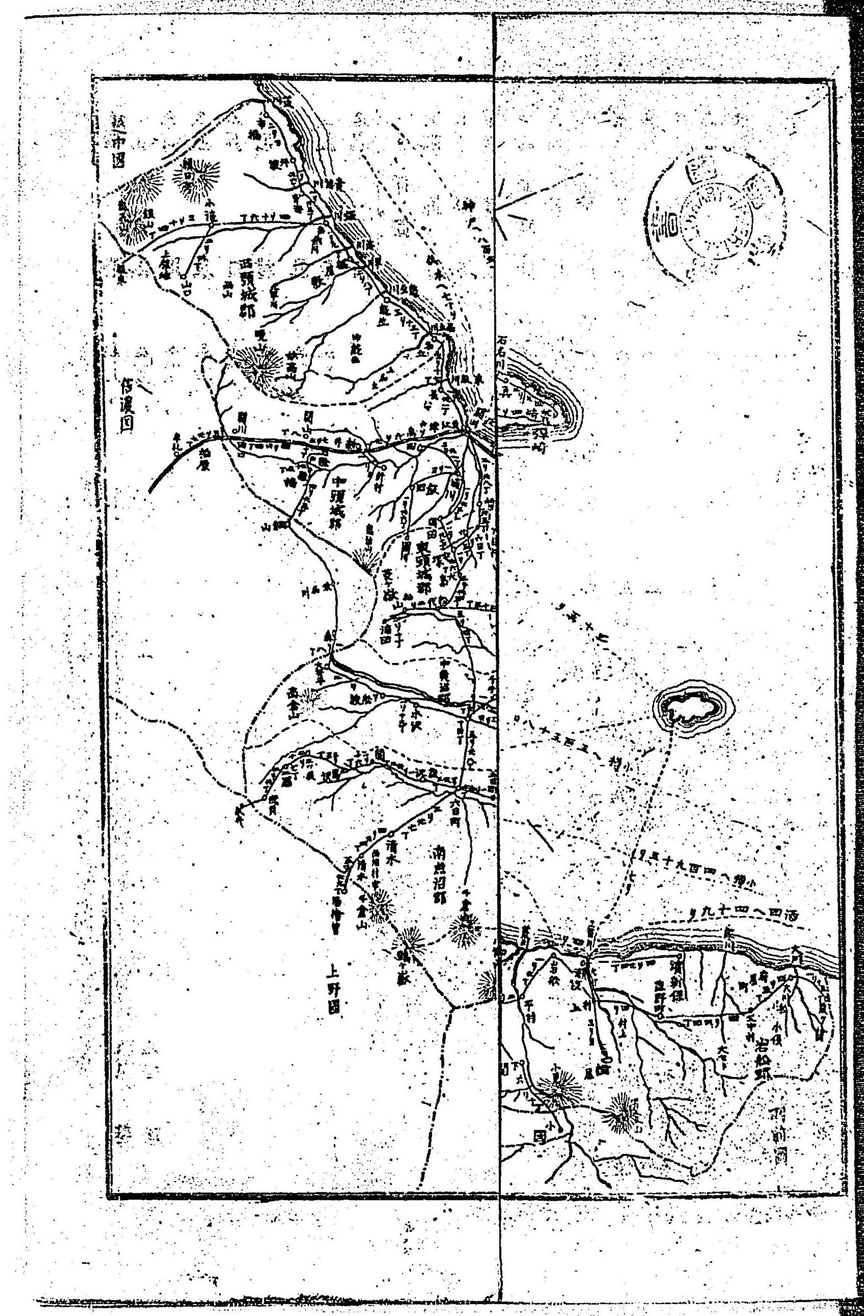
◎越後國總敘
▲位置
▲廣袤
▲地勢
▲氣候
▲郡市
▲戸口
▲驛路
▲產物
▲沿革
◎西頸城郡
▲位置地勢
▲驛路
▲山嶽
▲河川
▲町村
▲戸口
▲城邑蹟
▲市邑蹟
▲名所
◎挿畫
▲水前神社

▲天津神社
▲奴奈川神社
▲白山神社
▲西性寺
▲名立寺
▲青海神社
▲光禁寺
◎中頸城部
▲位置地勢
▲驛路
▲山嶽
▲河川
▲町村
▲戸口
▲鑛泉
▲市邑蹟
▲城社寺
▲名所
◎挿畫
▲國分寺
▲林泉寺

▲密藏院
▲本誓寺
▲淨興寺
▲日朝寺
▲阿比多神社
▲八幡宮
▲風卷神社
▲田田神社
▲春日神社
▲諏訪神社
▲天崇寺
◎東頸城部
▲位置地勢
▲驛路
▲山嶽
▲河川
▲鑛泉
▲戸口
▲町村
▲市邑蹟
▲城社寺
▲名所
◎挿畫
▲水前神社

◎挿畫
▲松里鑛泉寺
▲專敬寺
▲貢長命寺
▲觀音寺
▲陽廣寺
▲松苧神社
▲十二神社
▲松苧神社
▲廣德寺
◎刈羽郡
▲位置地勢
▲驛路
▲山嶽
▲河川布
▲戸口村
▲町邑蹟
▲市邑蹟
▲社寺
◎挿畫
▲鵜川神社

▲多々神社
▲御島石部神社
▲刈羽神社
▲慶福寺
▲瀧
▲八劒神社
▲廣濟寺
▲石井神社
▲御島石部神社
▲妙行寺
▲深光寺
▲八幡宮
▲濱忠神社
▲專敬寺
▲極樂寺
▲西照寺
▲福壽院
▲諏訪神社
◎中魚沼郡
▲位置
▲地勢



◉北魚沼郡
▲位置地勢
▲驛路
▲山嶽
▲河川
▲鑛泉
▲戸口
▲町村
▲市邑
▲寺社
▲名所

◉插畫
▲來迎寺
▲不動寺
▲招魂社
▲諏訪神社
▲天滿宮
▲八幡宮
▲智泉寺
▲長福寺
▲相國寺
▲圓藏寺
▲廣大寺
◉南魚沼郡
▲位置地勢
▲驛路

◉插畫
▲普光寺
▲雲洞庵
▲龍谷寺
▲苑難墳墓
▲若宮八幡宮
▲二所神社
▲洞源寺
▲大前神社
▲地藏堂
▲大福寺
▲龍澤庵
▲寶珠庵
▲瑞祥庵
▲寶林寺
▲湯澤温泉

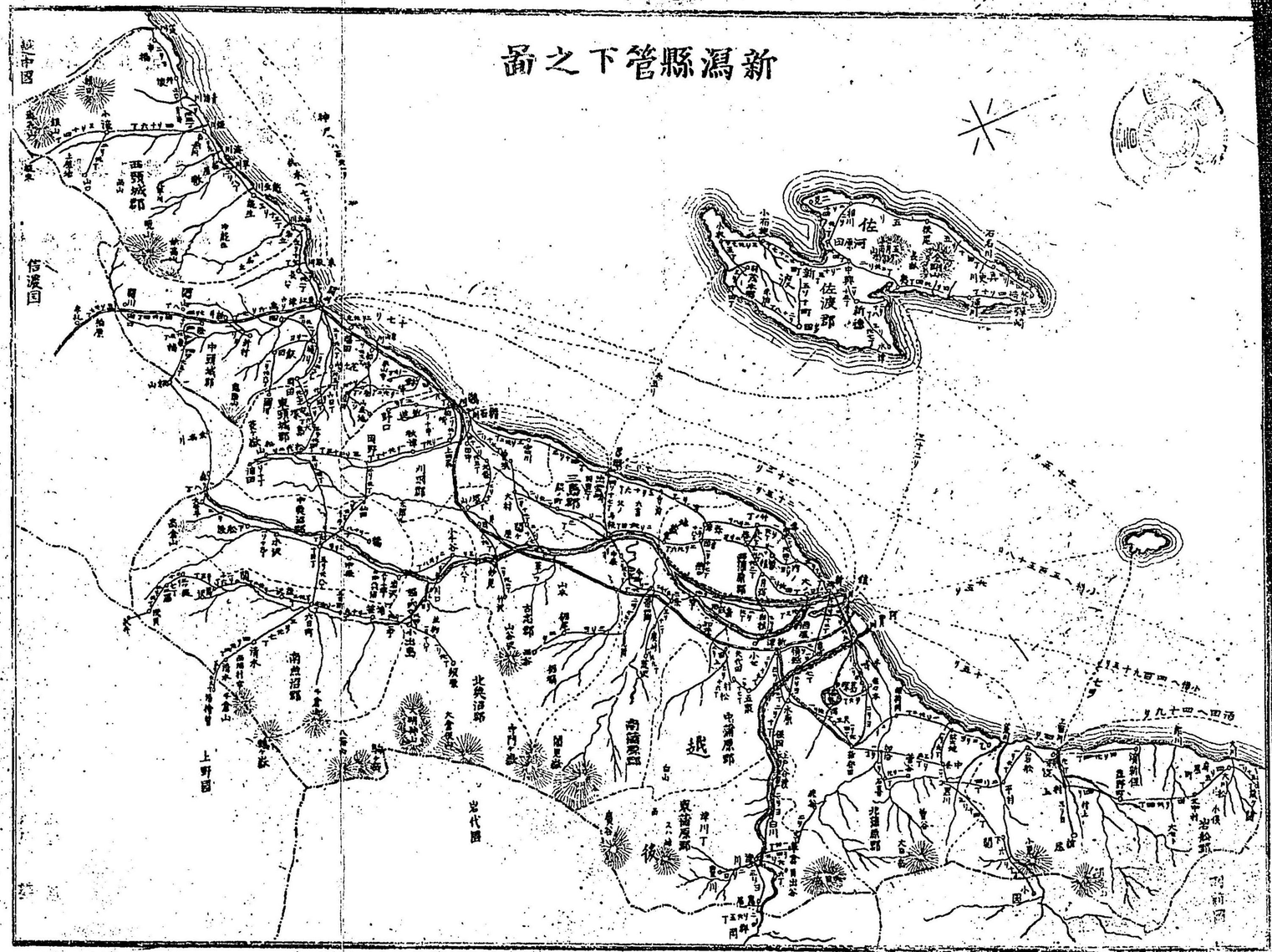
◉插畫
▲吉藏寺
▲勝覺寺
▲慈眼寺
▲五智院
▲万行寺
▲吉日神社
▲就成院
▲八幡宮
▲普賢寺
▲巢守神社

◉插畫
▲妙法寺
▲照明寺
▲桐原石部神社
▲桐原石部神社
▲石井神社
▲法福寺
▲朝日寺
▲明鏡寺
▲日枝神社
▲宇奈具志神社
▲金剛光寺

◉三島郡
▲位置地勢
▲驛路
▲山嶽
▲河川
▲鑛泉
▲戸口
▲町村
▲市邑
▲銅坑
▲城蹟
▲名所

▲諏訪神社
▲萬善寺
▲川合神社
▲善勝寺

新潟縣管下之畨


越中國
佐渡國
西頸城郡
中頸城郡
東頸城郡
三島郡
南魚沼郡
北魚沼郡
上野國
岩代國
南蒲原郡
東蒲原郡
越後
佐渡郡
新潟
佐渡
河原田
小木湊
石名川
岩船郡

越佐寶鑑　上卷

和田尚軒輯

越後國

總叙

(一) 位置

越後國は北陸道の北端に位し本道中の最大國なり西は越中に隣り西南は信濃に交り東南は上野に接し東北は羽前に界し西北一帶は日本海に瀕す

(二) 廣袤

廣(東西)凡そ八十里、袤(南北)凡そ二十七里、面積凡そ一千百五十二方里

(三) 地勢

國境に一大山脈ありて共に脈延きて國の内部に入ると雖土地は海岸に近くに從ひて漸く低下す其山嶽中最も秀抜するものを飯豊山、大日ヶ嶽、大蓮華山、燒山、妙高山苗場山、守門ヶ嶽、朝草山、黒姫山、米山等とす河流には信濃川信濃より來り阿賀川岩代より入り兩つながら日本海に注ぐ此二つは北陸道中最も長大なるものにして數十里の間舟楫の便あり而して其沿岸は灌漑の便あり地味肥沃にして北方一帶の海岸は屈曲稀にして良港に乏しく新潟、直江津の二港を以て國中の要津とす

(四) 氣候

地勢は北に低下して北風を受け南風を遮るが故に冬季は頗る酉寒にして積雪丈餘に及び市街は簷下に路を通じ河水は氷結して艦行すべし

(五) 郡市

一國を別ちて新潟市及び岩船、北蒲原、東蒲原、中蒲原西蒲原、南蒲原、三島、古志、北魚沼、南魚沼、中魚沼刈羽、東頸城、中頸城、西頸城の十五郡となし今之佐渡國と共に新潟縣の管治に屬す

(五) 戸口

戸數廿七萬三千八百餘人口百五十八萬八千二百餘を有す

(六) 驛路

北陸本道は新潟市より發し西して海岸に沿ひ寺泊、出雲

崎、柏崎、柿崎、直江津、糸魚川等を經て越中下新川郡に入り其他清水越街道、北國街道(信濃路)羽前街道、岩代街道等あり

(七) 産物

産物の主要なるものは瑪瑙、礬石、切石、砥石、紺青、石腦油、石灰、菜種、蒟蒻、蕨、蓮根、蕗菜、烟草、藍葉、藥草諸品、茶、漆、栗、梨、桃、柿、林檎、材木、椎茸、雪海苔、和布、神馬藻、蘭、鼈卵紙、鯑、鰷、鯉、川鱒、八目鰻、公魚、鯽、鈔、鱚、鮠、鮎、鮭、年魚、鰒、蜆、鯛、鰯、鮒、鰌、石首魚、海鼠魚、鮫鰐、鰡、鮫、章魚、鰕、蛤、牡蠣、鰻、生糸、麻苧、縮布、精好平、紬、絹縮、麻布、絲織、白絹、白棟綾、繭紬、麹顙、木綿、足袋、甕綿、酒、燒酎、藍、水飴、越の雪、葛粉、銅器、漆器、陶器瓦、紙、生蠟、伽羅油、桐油、金引苧、麩、明荷、葭簇、竹器、網白苧、團扇等なり

(八) 沿革

古へ國府を中頸城郡春日山に置けり寛弘長和の交に至り平維茂邑を頸城郡に食み子繁茂秋田城介に任じ城を以て氏となす玄孫資長に至り平宗盛奏請して國守に任し木曾義仲を討たしむ資長尋で卒し弟長義浦原郡赤谷に居りしが後ち源頼朝に下りぬ文治元年頼朝安田義資を以て國守に任じ守護に補せ建仁元年長義謀反して誅せられ其後子資盛頸城郡鳥坂に據りて叛す佐々木盛綱伐ちて之を平らぐ將軍頼家功を賞して其子信實に邑を國内に賜ふ建武の中興に方り新田義顯を以て守護となしぬ延元の初め足利尊氏上杉朝房をして守護たらしむ足利尊氏關東管領たるに及びて執事上杉憲顯を以て朝房に代る憲顯の孫房方に傳へ永日山城に治す五世房能に至り家宰長尾爲景と隙あり永正三年爲景房能を弑し上條城主定實を迎へ陽尊し子主となし全國を擅有す天文十一年爲景越中の栂嵓野に戰歿し子晴景立つ十年弟輝虎と相鬩ぎて敗死せしかば諸將遂に輝虎を推して主となし春日山に治す既にして上杉憲政來奔し約して父子となりぬ輝虎因りて上杉を冒し京師に朝せしかは將軍義輝以て關東管領となす輝虎相模の北條氏と伐ちて上野を蹂躙し又甲斐の武田氏と信濃を爭ひ威武四隣に加はり能登、佐渡及び越中の半を取り上野半國、出羽、信濃各二郡を併す天正六年輝虎卒し養子景虎景勝互に國を爭ひ管内大に乱れ越中、能登、上野、信濃の地と失ふ景勝終に景虎を殺して自立せり慶長二年豊臣秀吉之を會津に徙し堀秀治を春日山に、溝口秀勝を新發田に、村上義明を本莊に封じ十二年秀治徙りて福島に治しぬ十五年に忠俊事に座して國除し松平忠輝を封じ徙して高田に治す元和二年罪あり封を没して酒井家次に高田を賜ふ四年嗣忠勝松代に轉じ松平秀康の第二子忠昌を封す寛永元年越前に改封せられ從子光長之に代る天和元年罪を以て國除し貞享中稻葉正往を封し戸田忠真、松平定重之に次ぎ五世定賢白河に轉し寛保の初め榊原政永封せらる其他國内に封を受くる者長岡に堀直寄、與板に牧野康成、村松に堀直時、椎谷に堀直之、糸魚川に稻葉正成、黒川に柳澤經隆、三日市に柳澤時睦あり王政革新新潟府、越後府、柏崎縣を設け又悉く改めて縣となし既にして合併して新潟縣となせり

西頸城郡

位置地勢

東は中頸城郡に接し西は越中下新川郡に隣り南は信濃の上水内、北妙高の二郡に界し北方一帶日本海に面す郡の東西南三方は山脈相連なりて自ら郡界をなす

驛路

驛路は北陸道中頸城郡より來り名立、能生、梶屋敷、糸魚川、青海、歌、外波、市振の諸驛を經て越中の下新川郡に通す

山嶽

▲朝日嶽　郡の南隅にありて國中の高山なり登路凡そ十三里と稱す其東に鑓ヶ岳西に雪倉山あり三峯並び峙ち遠望宛も一大筆架を見るが如し

▲乘鞍岳　鑓ヶ岳と相雙びて立つ

▲銀山　朝日岳の前面にあり右に蓮花山、横前倉山、左に黒倉山を控ゆ

▲聖ヶ岳　銀山の北に峙つ

▲源峯山　椿ケ岳と共に郡の西境に聳ゆ犬ケ岳と鼎足の形を成す

▲白鳥山　山嵓岳と共に源峯山の北にあり

▲阿彌陀山　郡の東境にあり前に帽子岳、左に雨飾山、山神山等あり

河川

▲姫川　源を鑓ケ嶽に發し信濃より本郡に入り蒲原、小瀧、根知の諸水を併せ北瀧須澤村に至りて海に注く流多く急激なり

▲境川　其の名の示すが如く越中の國境を爲して海に入る

▲海川　源を鬼面山等の溪澗より發し大和川の西に至りて海に入る

戸口

西頸城郡に於ける戸數は一萬千〇十三　人口六萬五千百十五あり

町村

一郡を別ちて左の三十八ケ町村となす

名立町　下名立村　上名立村　四ケ所村　川崎村　能生村　東能生村　南能生村　西能生村　中能生村　木浦村　浦本村　北早川村　西早川村　南早川村　東早川村　西山村　東山村　大和川村　北西海村　南西海村　柳形村　糸魚川町　奴奈川村　上根知村　中根知村　下根知村　小瀧村　今井村　須澤村　田海村　寺海村　歌外波村　市振村　上路村　鬼伏村　梶屋敷村　大野村

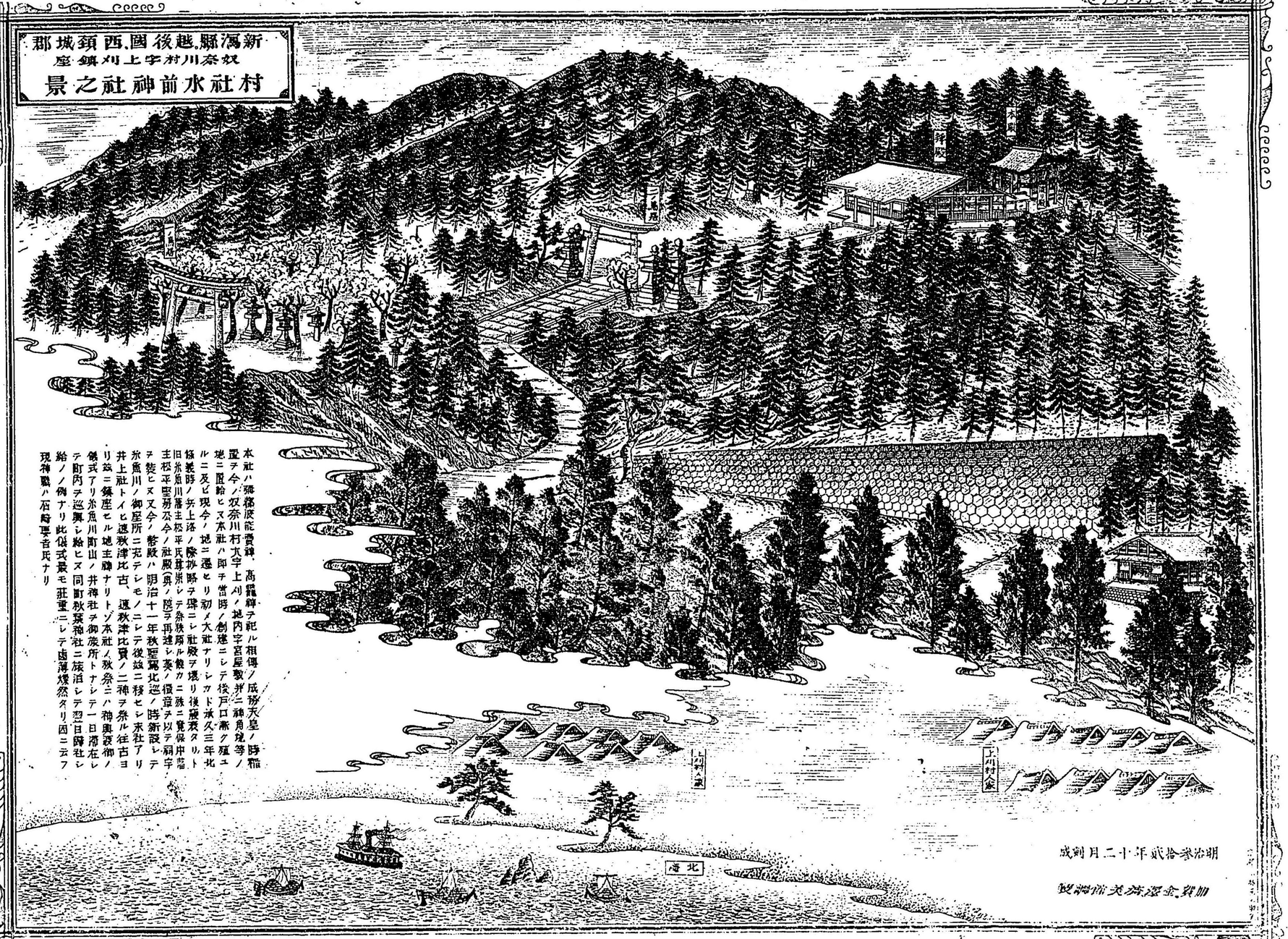
市邑

▲糸魚川町　此地初め稻葉正成後ち松平氏の城邑にして一に清崎と稱し郡の中部北陸道の衝に當れり其の南部に松平氏の舊城趾あり市坊の數七、東西六町、南北十四町にして戸數千二百餘、人口五千八百二十を有し郡役所、警察署、區裁判所、郵便電信局等あり因に此地は元と桃川といひしにや行基抄にイトミ川と記せり

▲名立　郡の西濱にあり今は宿の名によぶ、順德院が佐渡迂幸の時の御製に「都をばさすらへ出でし今宵しもうき身名立の月を見る哉」とあるは是なり

新潟縣越後國西頸城郡
奴奈川村字上刈鎮座

村社水前神社之景



本社ハ雖歴度記書録、高龗神ヲ祀ル相傳ノ成務天皇ノ時鎮座ヲ今ノ奴奈川村大字上刈ノ地内字宮屋敷ニ神角鬼等ノ地ニ置給ヒヌ本社ハ即チ當時ノ創建ニシテ後戸口漸ク殖ユルニ及ビ現今ノ地ニ遷セリ初ノ大社ナリシカド永久三年北條義時ノ兵上洛ノ際勿論ヲ煙ニシ社殿ヲ焼リ後慶長タリト旧糸魚川藩主松平氏尊崇シテ奈秩頗ル厳カニ殊ニ覚保中藩主松平聖寛公今ノ社殿(眞ノ院ヲ再建シ爾ノ假章ヲ以テ神宇ヲ装ヒヌ又今ノ幣殿ハ明治十一年秋聖蹟北巡ノ時新設シテ糸魚川ノ御屋所ニ充テシモノニシテ後益ニ移セシ末社アリ井上社トイヒ遠秋津比古、遠秋津比賣ノ二神ヲ祭ル往古ヨリ益ニ鎮座セル地主神ナリトゾ本社ノ秋祭ニハ神輿渡御ノ儀式アリ糸魚川町山ノ井神社ヲ御旅所トナシテ一日滞在シテ町内ヲ巡興シ給ヒヌ同町秋葉神社ニ旅泊シテ翌日還社シ給ノ例ナリ此儀式最モ荘重ニシテ古風燦然タリ因ニ云フ現神職ハ石崎亨吉氏ナリ

明治参拾弐年十二月調成

版権所有無断複製

新潟縣越後國西頸城郡

柳形村大字一ノ宮鎮座

天津神社弐内奴奈川神社之圖

社記ニ曰ク大社ハ景行天皇ノ時某(カバネ忘レタリ)ノ臣ノ創立ニ係ル

二月十日祭明天峰ニ海鵜アリ時ニ鵜首ノ船来リ着ケレハ漁夫就キテ之ヲ視ル神像常ニ非ス復ク人ノ司佗彼千ナリ咱ク盗石ニ縁ル輪石アルノミ漁夫ヒトシテ之ヲ竊ケ去ル者兵エナル者密ニ石ヲ負ヒテ海濱ニ安置スルヤ其着船ノ地ヲ柳上村トイヒ其ヒエノ後商令調其地ニ僧メリ後千寺町ノ地ニ遷シ又今ノ地ニ移シ又今ノ地ニ来ル寛永延二大朝ニ達セシカハ孝徳天皇勅願所トナシ給ヒシ神殿棟札ニ現ハレタリ

弐内ノ大社ナリ中古境内ニ真言宗神宮寺ノ建テ両部奉仕セリ後ノ将軍徳川家原領二百石ヲ寄附シ将軍徳川家之ヲ社領ニ改メタリ古ヘ本社ハ今ヨリ二百年前柏ケ平季祀ニ背峯ヲ奏シ神輿迎行ノ行ヒ以テ今ニ至ル

背負ニ古風土記ニ弐内奴奈川神社南去半(八里許也)ニ在リ地津川奴奈川

(元禄三年秋山紀行ニ注度ニアリ)

因ニ現社掌八吉倉千隈氏ナリ

新潟縣越後國西頸城郡
大和川村大字田伏鎮座
式内村社奴奈川神社之景

本社ハ奴奈川姫命ヲ祀リ大日霊命、八千矛命ヲ合祀ス式内ナリ延暦二十三年今ヨリ千百三百年許前同国奴奈川法内地辺ニ次神勢ニ頼リテ勧請セリ庄次後チ神氏ト改メタリ今ノ神職神氏是レナリ本社ハ旧ト清崎城ノ崇敬セルトコロニシテ営テ勅使参向シテ歌アリ其歌ニ曰ク奴奈川の清き流れに御祓—で祈れる事のかなはぬはあらじ

文政五年今ノ本殿ヲ改造セリ境内ニ小祠多シ就中天満宮ハ田来貴ムベシ別ニ左ニ叙ス社地形勝ニ数リ居然神霊ノ匿ラシテ崇敬ノ容アリ

天満宮鎮座ノ天満天神木像ハ菅原道貞公ノ親作ニシテ荻田家崇奉ノ神体ナリ天正中春日山城上杉謙信源ク之レヲ尊ミシカド後チ老臣荻田孫重郎譲リ受ケ故アリテ因能生谷小見村ニ配セラレテ居レリ荻田主馬ニ至リ越後国守松平光長ニ属シ系魚川清崎城主トナリ殊ニ尊崇シケルガ数次雷験アリシ清崎城落城ノ時家臣多賀谷勘太夫命ヲ承ケテ神像及ビ主馬曽ツ寄ンヽ神鉢ヲ守護シテ運登寺村ニ住ン後チ其重縁ヲ以テ当村ニ譲レリ資永ノ頃神恩ニ報ル田伏村関原某ニ譲レリ資永ノ頃神恩ニ報ル東ヨリ譲リ請ケテ今日ニ至レリトゾ

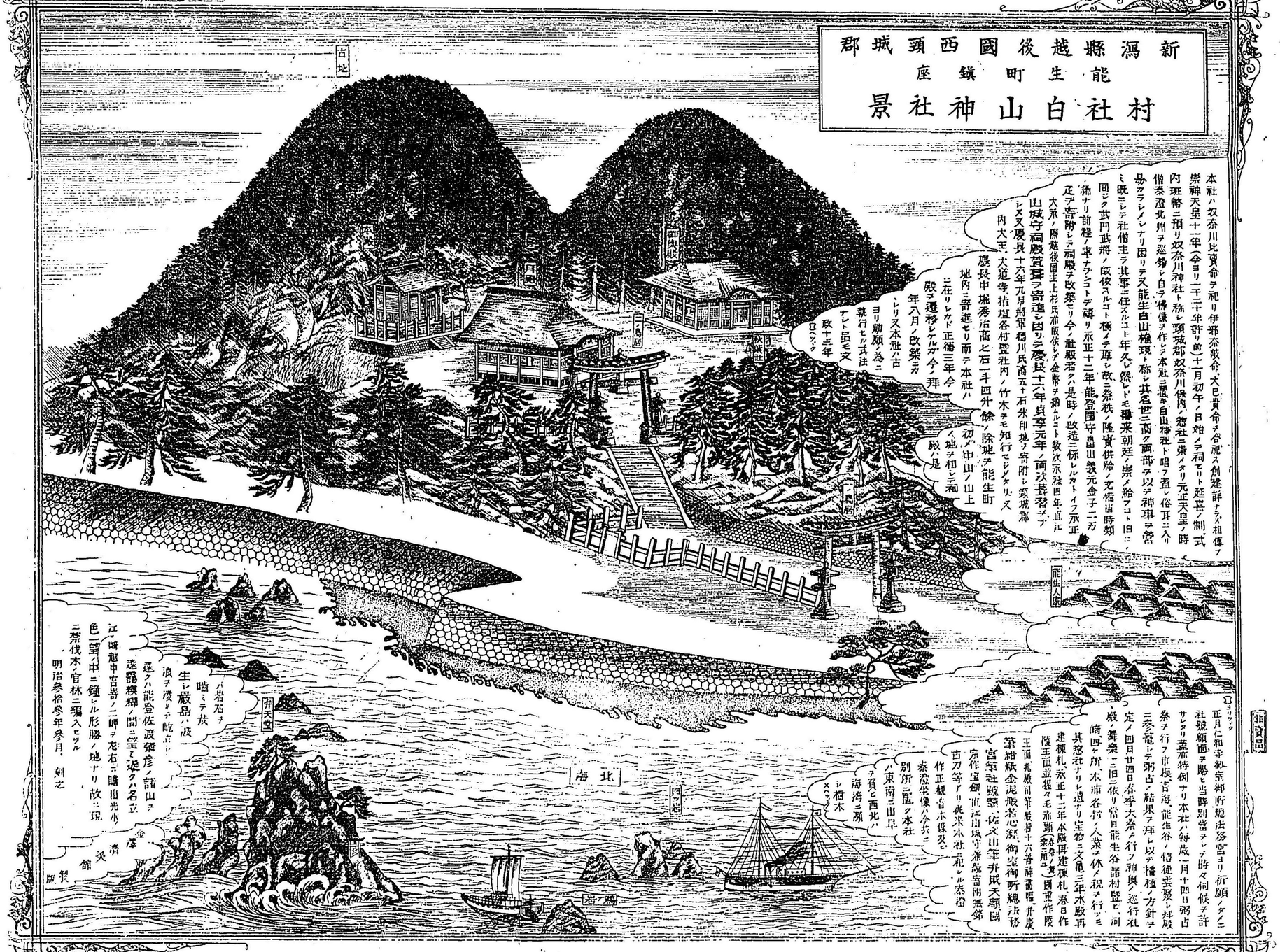
延享三十三年毎ニ開扉スルヲ例トス

明治参拾参年八月刻　　金沢酒某館製版

新潟縣越後國西頸城郡

能生町鎭座

村社白山神社景



本社ハ奴奈川比賣命ヲ祀リ伊邪奈岐命、大巳貴命ヲ合祀ス創建詳ナラズ相傳フ崇神天皇十一年（今ヨリ二千二年前）十月初午ノ日始メテ祠セリト延喜ノ制式内理幣三預リ奴奈川神社ト称ス頸城郡奴奈川保内ノ總社三崇メタリ元正天皇ノ時僧泰澄北州ヲ巡錫シ自ラ佛像ヲ作リテ本社ニ置キ白山權現ト称シ其名世ニ高ク両部ヲ以テ神事ヲ營ミ易カラレメレテリ因リテ又能生白山權現ト称シ其事ニ任ズルコト年久シ然レドモ轉來朝廷ノ崇メ給フコト旧ニ既ニシテ社僧主ラ其事ニ任ズルコト極メテ厚シ故ニ祭祀ノ隆實供給ノ充備当時類同シク武門武將ノ殿仮スルコト極メテ厚シ故ニ祭祀ノ隆實供給ノ充備当時類稀ナリ前程ノ事ナシコトテ碑リ永正十二年能登國守畠山義元金子二万疋ヲ寄附シテ祠殿ヲ改築セリ今ノ社殿若クハ是時ノ改造ニ係ルカト云フ大永ノ際越後國主上杉氏加賀依シテ金幣ヲ納ルコト数次永祿四年正親山城守祠殿算甚ヲ寄進シ因リテ慶長十六年貞享元年ノ両次共ニ著シレメス又慶長十六年九月揚軍福川兵高五十石朱印地ヲ寄附シ頸城郡内大王、大道寺指堤谷村置社内ノ竹木モ知行セシメタリ又慶長中城秀治高七百二十四斗餘ノ除地ヲ能生町地内ニ寄進セリ而テ本社ハ二在リレカド正徳三年今殿ヲ遷移シケルガ今ノ拜殿ハ是年八月ノ改築ニカレリ又本社ハ古ヨリ勅願ノ為ニ執行セル式法ナド品モ又敢テ三年Ωヘアタク

初メ中山ノ山上ノ地ヲ相シ祠ヲ構ヘ後ニ山上ノ地ヲ相シ祠ヲ構ヘ後ニ山上ノ地ヲ相シ祠ヲ構ヘ後ニ

新潟縣越後國西頸城郡木浦村

真宗大谷派

鬼谷山楠田西性寺之景

本寺ノ開基ヲ淨顯房トイフ見眞大師當テ流罪ヲ赦サレ越後國府ナル配所ヲ出テ信濃ニ赴ケルニ方リ水内郡千出領王楠田出雲守大師ニ歸依シテ十字名號ヲ授カリ其子ホ常陸稻田ノ庵ニ抵リ剃髮シテ大師ノ弟子トナリヌ淨顯房是レナリ師事スルコト年アリ後チ鄉里ニ還リ一字ヲ建テ楠田西性寺ト號シ子孫ニ相承ケタ甲越共ニ交エケル時避ケテ越中ニ住リ後タ越後ニ轉シ頸城郡鬼伏村ニ一宇ヲ建テ田畑ヲ寄キタリ實ニ十四世淨念ノ時トス十六世淨空ノ時德川幕府ヨリ除地若干ヲ附與セラレ十八世淨雲ニ至リ享保五年寺地ヲ今ノ處ニ移シヌ本寺ノ本尊ハ惠心僧都ノ作ニ係リ寶物ニ見眞大師筆十字名號、三方正面阿彌陀如來畫像、十五尊蓮座影、圓光大師畫像等アリ

明治三十三年三月刻

富澤活版製版

本寺ハ往時越中新川郡眼目色立川寺末月桂立来漫然ヨリ已二百餘年ヲ経テ本寺ハ雖新開加賀道主前田綱紀侯以下歴世江戸ニ在留住逃ノ本陳トナリ又明治十一年九月今上天皇陛下北國ヲ巡幸アラセ給ヒシ時本寺ヲ行在所ト為シ給ヒタリ庫裏ノ観音堂ハ元宝二年二月十九日革堂大師親刻ノ観音佛像ヲ納メ祖様三十三所ノ第一霊場トナセルモノナリ依テ庫裏モシカハ永録六年十一月廿七日上杉兵室門明院殿再興セリ庫裏ノ十王堂ハ天和二年六月僧一空發心ノ創建ニ係ル
門前ノ十二神社旧ハ笠現今山中ニ鎮座石殿十八世代勤続セリ
現住李翁呪山

海青宇大村海青郡城頭西國後越縣濱新

内式座鎮

皇巳社神海青社村

祭神
防府天創シ當社ニ於テ社掛
明ノ四年青海座
當縣年月詳ナラス
旧不打書棟札
式座ノ式ニ依テ
座土照ノ神ヲ祭
リ社ニ座神

明治十三年十月刻

今茲本縣縣廳

ニヨリ神號額社格社往タ
ヲ竹里縣縣社神社往タ
令人達ルヲ以テ古ノ縣
ノ民國ニ成チヨ國ニシ
ロ古尊青長号リニ於ヲ縣縣號ヲ改
トノ社祇ヒ今苗ヲ苗ノ治區今年
ヲ祖苗ニ余ノ社村時頂五ト號定
ハ社新郷年ナ内上
置社告ノリ有ハ
メノリ縣又也年

那城頭西國後越縣浮新
宗真町生能
景之寺榮光山力願

度良シ遂ニ三良後ニ越大ニ聞基ヲ
二年ニ共ニ甘希衆光ヲ教四
乃チ二女門ノ大寺ト一
ヲ取リ衆王住ト一
滝ニ施ノ的中下新

門建文ニ除
ノテ化逢地田ヨヲ今
ノ帝タニヒヲ細リ建ノル承五ノ
附リ年享得旧寺ツ地ノ庄右時セ元ニ。
ニ耳後保ノ高地天ニ厚レ希伊リ栄代
保用クカリ四五和移ク運門勢三寺境
レ材ノ令年正子百中リ豊祖能ノ代ト存
リトノ再建三五建新永ニ生人重称頃
ト五木ヒ五符十川ニ中帰町岡祖ヒ
イ右堂焼年応幹堂遂称ニ衆
ノ。衛テ次合好府寺ノス

金沢清兵衛製版

▲糸魚川の古城蹟　城主は荻田主馬なり主馬の祖先は土佐國泰の浦の人國長食長郡叛逆の時荻田肥正之を討つて大に勝つ功を以て徳川家康の家臣となる其後家康の子結城少將長光に事へしかど高田騒動の時小栗美作と共に屠腹して死せりとぞ

名所

▲親不知の濱　青海驛より市振村までの海濱八町餘を總稱して親不知の濱といふ大崖、小崖、大窟、小窟ありて行旅總に蘇息を得たりしが今は新道を其の南方の山中に開鑿して旅客の此地を過ぐる者稀れなりと雖も昔時はみな此の海濱砂深き所を通行せり故に激浪怒濤の岸に打上げ來るや動もすれば其の浪に捲き込まれて海中に拉し去られ魚腹に葬られしもの勘からず浪の引たる間を見計らひ走りて山壁の窟中に入り漸く其の難を避くる程にて子は親を扶け親は子を顧みるの遑なかりしかは所謂親不知子不知の險と呼び來りしなり海岸奇岩怪石磊砢として起伏し其の景の佳なる筆紙に盡すべからず

▲西濱七谷　桑取谷、名立谷、能生谷、早川谷、西海谷、根知谷、今井谷、之を西濱七谷と稱す

▲長走り　青海、歌の間の海岸を稱す風波起れば行を絶つ

▲駒返　長走りと相隣す昔時道最も窄く平波たりとも一人立の外、行くに難きを以て巖壁を穿ち孔道となしたれとも馬に御すれは通るべからず故に名くといふ

▲蝙蝠岩　駒返の傍にあり巨石海中に突出し風波起れは人行を絶つ

中頸城郡

位置地勢

東は刈羽、東頸城の二郡に界し西は西頸城郡に連なり南は上水内、下水内の二郡に接し西北一帶日本海に瀕す郡の中央はやゝ平衍なれとも南部は山岳層巒して平地少し

驛路

北陸道は刈羽郡より來り青海、鉢崎、柿崎、潟町、黒井、直江津、長濱、有馬川の諸驛を經て西頸城郡に入り北國街道なる信濃路は直江津より南を指し高田、新井、關山、關川等を經て信濃の上水内郡に入る

山岳

▲妙高山　郡の西南部にあり噴火山にして西北に亘立するものに荼臼岳、鬼面山、火打山、南葉山等あり西に接立するものに黒澤岳、赤倉山、笹峯等あり

▲燒山　西頸城郡にありまた噴火山にして其の餘脈同郡界を爲す

▲米山　郡の東北境なる刈羽郡の界にあり其の支峯を若葉山といふ

▲班山　郡の南境にあり其餘脈東に綿亙して松倉、黒倉、關田等の諸山を起す

▲兜山　郡の東隅に立ち北の尾神山と相雙ぶ

河川

▲關川　源を妙高、黒姫二山の間に發し信濃の國界に沿ひて海濱奔放東に流れ關川村より更に北に折れ潟江、矢代、保倉の諸川を合せ直江津町に至りて海に注ぐ下流は荒川の稱あり

鑛泉

▲赤倉温泉　妙高山の東麓ある妙高村字一本木新田にあり泉質未だ詳ならざれとも華氏百三十度の温度を保ち皮膚病、僂麻質斯、創傷、痔症に特効ありといふ泉は山麓岩石の間より湧出し之を五處の浴槽に導く浴舍十餘戸宏壯の樓屋を擁ふ地は嵐光水色の眺望に富み幽閑の趣は國中に冠たり

▲關山温泉　關山村字湯河原にあり之を關山驛内の人家に導き四個の浴槽を設く炭酸泉にして泉源の温度華氏百二三十度を保つ

戸口

中頸城郡に於ける戸數は三萬五千〇九十三、人口二十萬二千二百四十五あり

町村

一郡を別ちて左の七十六ヶ町村となす

米山村　上米山村　鉢崎村　七ヶ村　犀濱村　犀潟村　潟町村　八ヶ浦村　北大濱村　南川村　頸城村　明治村　旭村　下黒川村　中吉川村　大出口村　上吉川村　水源村　川谷村　黒川村　高城村　高田町　下板倉村　大和村　大倉村　國明村　鳥坂村　原通村　妙高村　矢代村　中卿村　大崎村　參賀村　西郷村　斐太村　下ノ郷村　北大崎村　高志村　國府村　春日村　直江津町　谷濱村　和泉村　桑取村　境村　根越村　豊原村　菅原村　高士村　御池村　里五十公野村　上杉村　美守村　諏訪村　保倉村　有田村　津有村　三郷村　新道村　寺野村　水原村　泉村　平丸村　箕冠村　板倉村　水上村　瑞穗村　豊葦村　栃崎村　黒岩村　關山村　關川村　杉ノ澤村　大鹿村　長澤村　飯田村

市邑

▲高田町　荒川の西岸にあり市坊百、東西二十町餘、南北壹里八町にして町村制實施後高城村と高田町との二部に分てり戸數五千六百八十餘、人口二萬五千五百許を有す郡役所、警察署、區裁判所、郵便電信局、本願寺別院其他神社佛閣等あり民物殷富四近村邑日常需用のもの概ね給を此に取る新潟、長岡と相鼎立して商業繁盛を極む新潟を距ること三十四里〇五町産する所木綿、銅、粟飴を以て有名とす

▲柿崎　口碑に云く親鸞上人嘗て此に至り「柿崎にしぶ〳〵宿をもとめしに主の心とゆくしなりけり」の歌を咏みけりと北越雪譜に云ふ按ずるに聖人御名を善信と申して卅五歳の時謫口に係りて越後に謫さる時に承元元年二月なり後五年を經て勅免ありしかども法を弘めん爲とて越後にいまし、こと五年なり故に聖人の蹟越地に殘れり弘法廿五年御歳六十の時洛に歸り玉へり弘長二年十一月廿八日遷化壽九十歳件の柿崎の歌も弘法行脚の時の作なるべしと

▲直江津町　郡の北端荒川の河口にあり東西十二町南北六町にして戸數二千二百八十餘、人口一万に殆く郵便電信局、警察分署等あり其の港は東西一町十間、南北二

町三十間、深さ六尺、巨船の碇繋に便なるを以て市街漸く繁盛に趨くの狀あり新潟市を距る三十二里零四町、高田町を距る二里廿四町

城　蹟

▲春日山の古城蹟　直江津町の西南一里餘春日村大字春日に城趾あり足利氏の世上杉憲榮の築く所にして春日山城と稱す永正三年五世房能長尾爲景の爲めに殺せられしが爲景の子輝虎上杉憲政と約して父子となり上杉の姓を冒して此城に據る後輝虎は相模の北條氏を伐ちて甲斐の武田氏と信濃を爭ひ威武を四隣に震かしゝが慶長二年義子景勝會津に徙封せられ堀秀治代りて春日山に居り幾干なく城遂に荒廢に歸せり城地は一堆の丘岡にして今猶一ノ丸、二ノ丸等の字を存す此の地は西南に山を繞らし東は米山と相對し北は渺茫たる蒼海を望み眺望頗る爽快なるが故に來遊者多し

▲高田の古城蹟　高城村字高田城にあり四方に深渠を繞らして壘壁高く聳ひ今猶大手門等の跡を存す此城は慶長十二年松平忠輝の築く所にして居ること十年元和二年罪ありて國除せられ酒井家次代りて封を受けしも其子忠勝信濃の松代に轉じ松平忠昌の有となる天和元年忠昌の從子光長罪を獲て國除せられ貞享年中稻葉正往之に代り次で戸田忠眞、松平定重來り住み寛保の初めに至りて榊原政永此の地に封せられ子孫相傳へて明治維新の際城遂に廢せらる

▲雷山の古城蹟　雷山の古城蹟は往古仙見の城と唱へ要害堅固を以て名あり國司周防守に護らしむ城家佐々木氏の將之れに據る貞治年間より上杉憲顯の將山岸筑前守以降數代在城の後丸田周防守始めて雷の城と改む周防守は刈羽郡長橋の莊五十土山の城主にして同家の祖は源頼義の幕下竹地源太泰基の後胤にて源義朝の精兵三十四騎の一後藤兵衛吉通の末孫なりといふ其子伊豆守に至り大面の城へ移る既にして織田備前守私怨を以て之れを攻落せり後ち村田大隅守垣崎與惣兵衛等相尋で此に居城せり

▲高田五分一の古城蹟　小栗美作守罪て此に城主たり高田家中騷動の時屠腹して死せりといふ

新潟縣越後國中頸城郡
國府村

五智如來國分寺景

聖武天皇天平十三年三月時ノ大德行基菩薩ニ勅シテ諸國一國分寺ヲ開創セシノ給フ是ニ於テ畿內諸道風雨時ニ順ヒ五穀大ニ稔リ疫癘

地ム因リテ寺田ヲ增シ僧供ヲ加ヘ給ヘリ越後ノ國分寺ハ即チ本寺ニシテ往古ヨリ五智如來ノ名遠近ニ播スル爲來屋移リ物變リ諸國ノ國分寺復タ疇昔ノ規模ヲ存スルモノ甚タ稀ナリト雖氏本寺ハ荒廢ノ厄ヲ免カレ輪奐ノ結構多タ古ニ讓ラス境地高燥海ニ沈ミ山ヲ負ヒ曲寂ノ勝ニ富ミ香火常ニ絶ヘズ況ヤ近々火災ニ罹リテ大ニ琴莫ノ趣アリ

中頸城郡春日村字中門前

曹洞宗

林泉寺之景

本寺ハ上杉謙信ノ開基ニ係リ曇英禪師ヲ開山トナス寺記ノ略ニ云ク謙信初メ禪宗トイフ天文二一年四月兵子率ヰテ北條氏政ヲ討ト雖モ本田原ニ出陣シ鎌倉ノ建長寺ニ馬跡ヲ懸ヒケルニ偶々僧堂ノ前ニ樹牧アリ記シテ曰ク此日已ニ過ヲレハ命ハ亦隨テ滅スル水ノ泡ノ如シ矣ニ而ノ一擧レミカ有ルト謙信同リテ禪法ヲ修レ戰ヲ毎々必ス勝ツ惟ラ神佛ノ加護ナリト及チ本寺七世雲嶺和尚ニ深ク參レ遂磨下諸ノ一句ヲ以テ自得レ年二十三ノ冬安心レ翌年正月十五日剃髮傳法アリ雙諱ノ一字ヲ賜リテ謙信庵主ト號ス天文永祿中武田信玄ト川中島ニ戰ヒ天正六年三月景三病ミ遂ニ歿セリ其歿スルニ臨ミ自ラ筆ヲ採リ自ラ書キ自ラ讀ミ又水偈ヲ作ラム其讀ニ云ク夢裏浮生四十年滿堂哭我我誰憐虛空不受一塵垢何處青山埋骨堅ト又水偈ヲ作ラム其讀ニ云ク分明紙上無公子尋力高聲喚不應代日一現閻羅老來果尽始尽終對面無私又云嘱ト皆令本寺ニ藏ス又云ク春日山ハ北起ノ名風ナリ山林水泉ホヒヒントナル故ニ晨ニ一精舍ヲ結ヒテ春日山林氣寺ト號ケタルナリト本寺藏ムルトコロノ寶物多シ中ニ謙信書翰一幅、謙信筆大字二幅、謙信遺物腦一通、謙信戰中所持黃金佛觀音一軀、謙信所持御前守ノ海上出現記文一幅、長尾景景筆二幅、越後中將光長卿一幅、景虎自筆書翰二幅、景虎筆十年觀音一幅、謙信、陽春歌、光長等當時ノ刀劍二十餘口尚其他見ルヘキ寶物アリ

新潟縣越後國中頸城郡
黒川村字下牧
真言宗新義派米山寺密藏院景

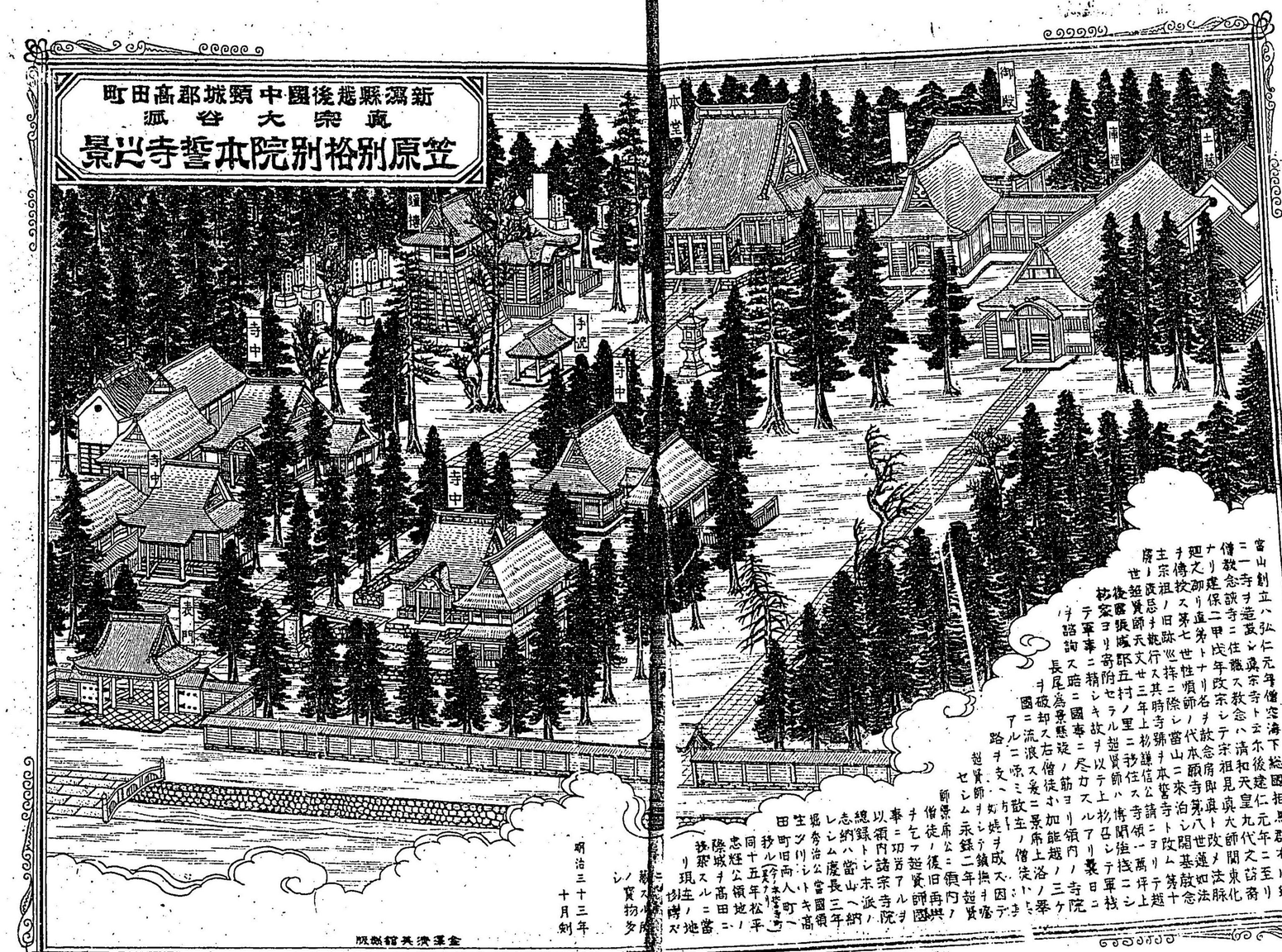
和銅五年（今ヨリ一千百十二年前）泰澄大師北陸ヲ巡錫シテ越後國ニ至リ米山ノ麓ヲ過ギ國ヲ尋ヌルニ国中ニ光耀赫奕トシテ生身ノ薬師如来ヲ暗ルガ如シ！　実ニ薬師如来ノ霊験ヲ以テ普ク一切衆生ヲ救ハンガ為ニ此ノ地ニ止マリ給フト唱フ本寺ノ本尊是レナリ

永正六年源氏家興川ニ住シテ厨川次郎安倍貞任等ヲ討伐スル時此薬師如来ニ祈願シ所アリ慶長八年二月八日凱旋ノ時窟上ニ一宇ヲ建テ其守本尊ヲ納ル今ノ御戸葉是レナリ又米山ハ初メ五輪山ト称スルハ是ナリ又米山ノ船載ト称スル和銅五年出羽ノ神郡清定米ヲ船載シテ海ヲ渉リケレバ暴逆ノ沙彌鉢ヲ飛ハシテ海ヲ請ヘトモ應セス此山ニ飛ビ來リヌ時ニ船中ノ米ヲ供米

新潟縣越後國中頸城郡高田町

眞宗大谷派

笠原別格別院本誓寺之景



當山創立ハ弘仁元年僧空海下總國相馬郡布川郷ニ一寺ヲ造立シ眞宗寺ト云ヒ後建仁元年ニ至リ九代之苗裔僧敎念ニ住職ス敎念ハ清和天皇九代之苗裔ナリ建保二甲戌年改宗シテ宗祖見眞大師關東化迹之御ナリ直弟トナリ名ヲ敎念房即眞ト改メ法脈ヲ傳授スル第七世性順師ノ代本願寺第八世蓮如法主宗祖ノ旧跡巡拝ニ際シ當山ニ來泊シ開基敎念房ノ德ヲ感忘ヲ難行ス其時寺號ヲ本誓寺ト改ム第十世超賢師天文廿三年上杉謙信公請ニヨリテ越後國振城郡五村ノ里ニ移住ス寺領一萬坪上秘密ヨリ寄附セラル超賢師ハ博聞強記ニシテ軍務ニ精レキ故ヲ以テ上杉召シテ軍務ニ盡力スルアリ翌日ニテ軍事ニ國事ニ盡力スルアリ翌日ニ長尾爲景懸疑ノ筋ヨリ領内ノ寺院ヲ詰詢スル時ニ國事ニ盡力スルアリ翌日ニ破却ス右僧徒ハ加能越ノ三ケ國ニ流浪スル者ニ景爲上洛ノ擧アルニ際シ散在ノ僧徒ハ路ヲ支ヘ妨ヲ成スニ因テ超賢師ヲシテ鎭撫ヲ命セシム永錄二年超賢師ノ師景爲公ニ領内ノ僧徒ノ復旧再興ヲ乞フ超賢師固ヨリ以テ領内諸宗寺院ヲ總錄トシ末派ノ志納ハ當山ヘ納レシム慶長三年超賢師堀秀治公當國領主ヨリ高田町旧両人町ヲ寄附ス（寺内町ト稱ス）同十五年松平忠輝公領地ノ際城ヲ高田ニ移スルニ當リ現在ノ地ヲ撰ミ移轉ス

明治三十三年十月刻

金澤濱美舘版

新潟縣越後國中頸城郡
高田町字中寺
眞宗淨興寺之景

當寺ハ親鸞聖人ノ本基ニシテ即チ上野一宇弘教ノ初メ建
立セシ所ニシテ當時國府信田郷雪吹谷ニ創立シタルモノ
ニシテ聖人ノ門弟ニ數ヶ所ノ教化區域アリシ中ニ當寺ノ
如キモ其一ニシテ本寺ノ溫室ノ表ノ寺號ヲ以テ當寺ニ
下附シ給ヒシ御寺ナリ然ルニ星霜二千餘年ヲ經テ此本坊ノ
法脈ハ幾變ノ大師ハ歸洛ノ途ニ就キ上ノ書狀ニ
大吉第三皇子勝寶公感現王ニシテ初メ天台ヲ學得セシ後
當山ニ歸依シ弟子トナリ法名ヲ善性坊智海上ト改メ
當山八葉性上人ノ老後弘長二年冬十月當國ニ流謫
ノ時中間左ヱ門尉業知ノ其次ノ為ニ疾惱トナル依之上人
ハ悔ク越州府通付ニ移ルトイヘ共同年ノ末ニ
故ニ文永四丁卯春信濃國本間郡太田莊當山ニ寄留ノ
鎌倉將軍頼經公ヨリ福田當山ヘ寄留ノ
アル寺領地ナレバ迚ニ此地ヘ移ン
テ淨興寺ヲ再興セント大ニリ
以來星世國地ニ中興弘教メ
ル處永祿四年辛酉秋本國中
中嶋ニ於テ甲越戰爭ノ際
ノ兵燹ニ罹リ燒失スル而ノ
越後國中頸郡太田莊ノ
舊ニ移リ建立スル又慶長二丙年領主
堀家ノ請ニヨリ第十五世善覺師公郡
福島城下ニ移ルヤ一五年後國主堀平
家ノ請ニヨリ高田城下ニ移リ夫ヨリ屋
世今茲ニ化ス是則今ノ境內地

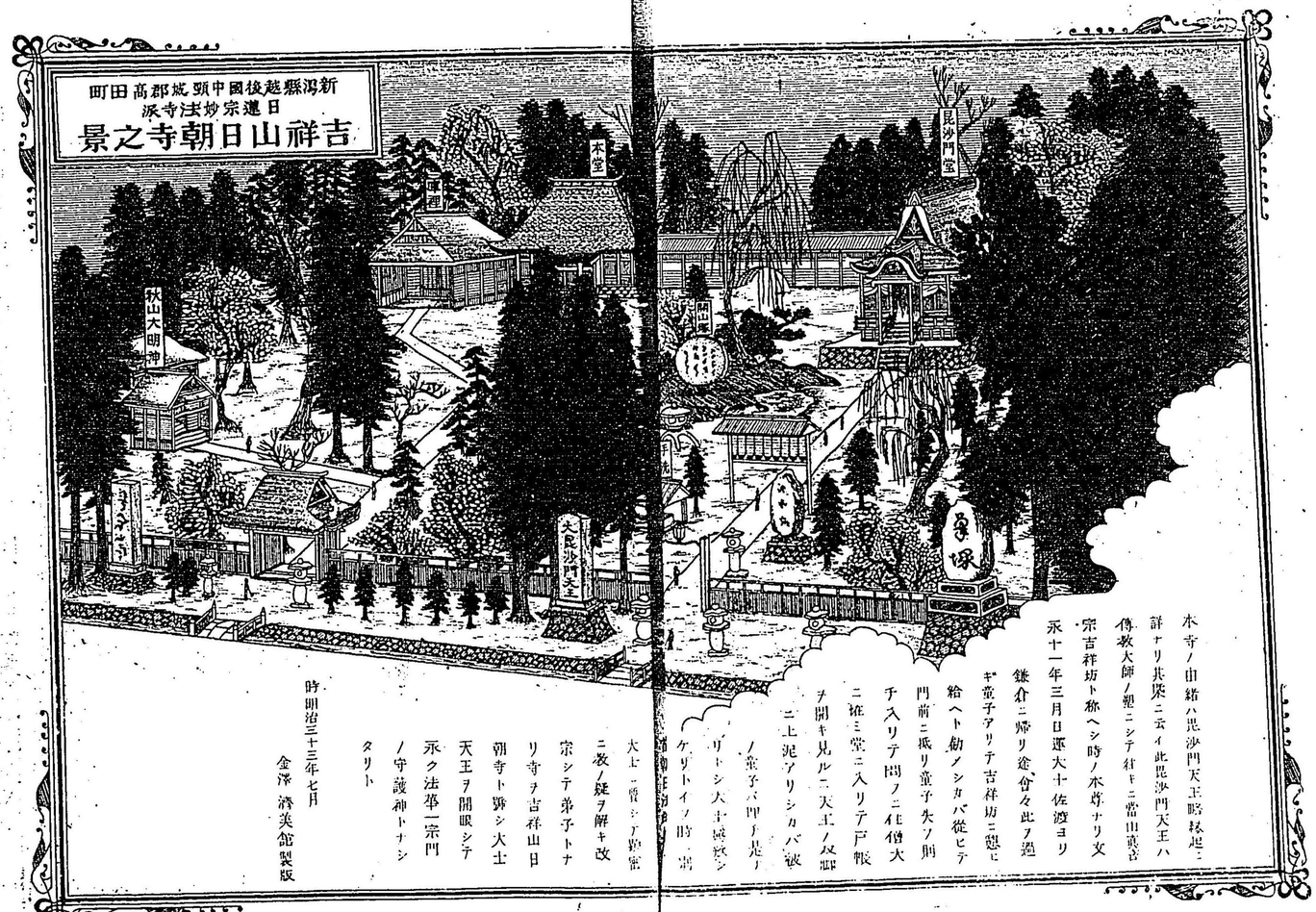
右淨興寺略履歷

明治三十二年六月

金澤 瀧美館製版

新潟縣越後國中頸城郡高田町
日蓮宗妙法寺派

吉祥山日朝寺之景



本寺ノ由緒ハ毘沙門天王略縁起ニ詳ナリ其梗ニ云イ此毘沙門天王ハ傳教大師ノ刻ニシテ往キニ當田裏吉宗吉祥坊ト称ヘシ時ノ本尊ナリ文永十一年三月日蓮大士佐渡ヨリ鎌倉ニ帰リ途、合々此ノ邊ギ童子アリテ吉祥坊ニ憩ヒ給ヘト勧メシカバ従ヒテ門前ニ祇リ童子先ノ則チ入リテ間ノニ往僧大ニ驚キ堂ニ入リテ戸帳チ開キ見ルニ天王ノ双脚ニ上泥アリシカバ疑ノ童子ハ即チ是レ

リトシ大士感歎シケリトイフ時ニ

大士ニ謁シテ碧害ニ改ノ疑ヲ解キ改宗シテ弟子トナリ寺ヲ吉祥山日朝寺ト號シ大士天王ヲ開眼シテ永ク法華一宗門ノ守護神トナシタリト

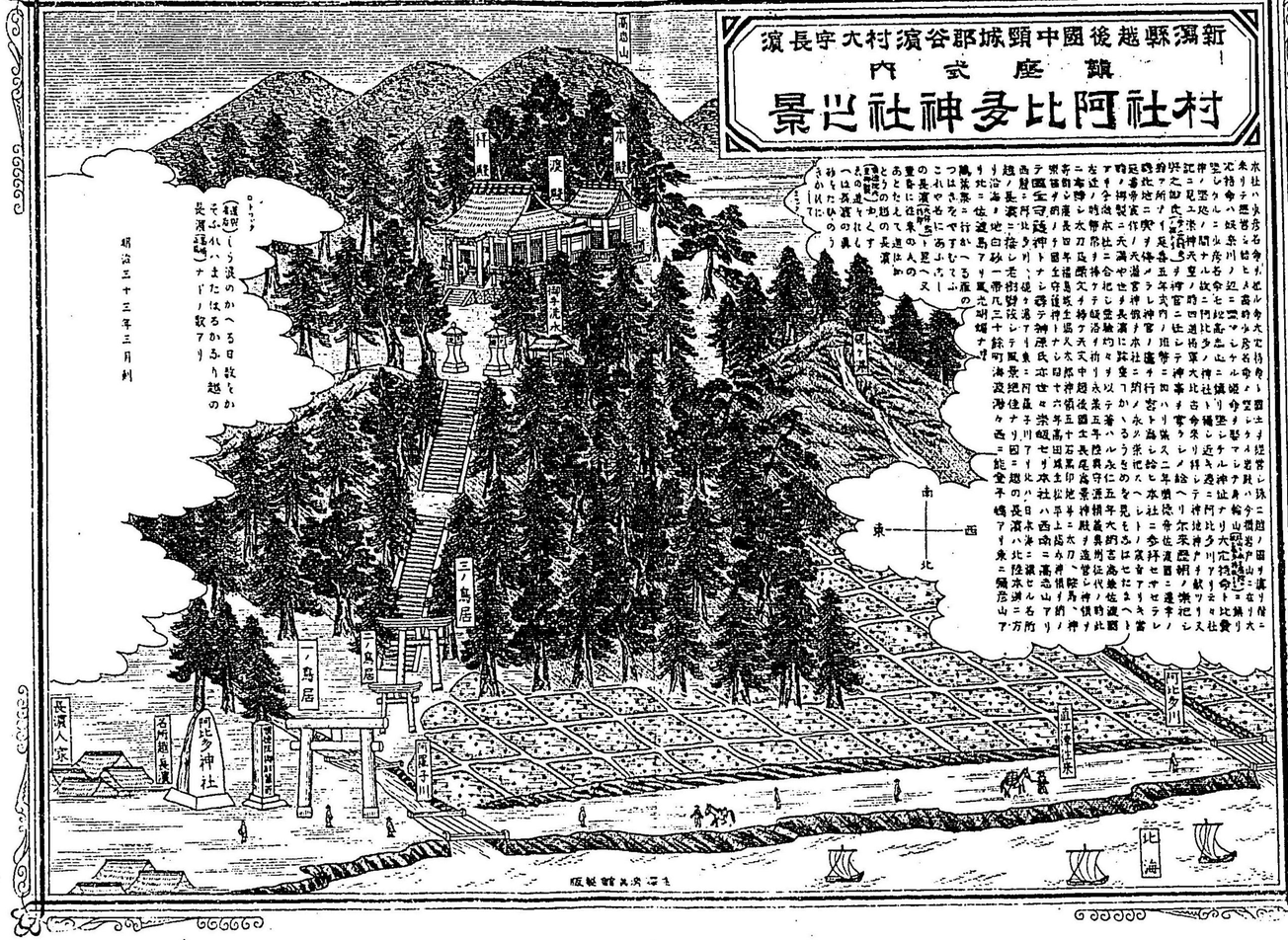
時明治三十三年七月

金澤 清美館製版

新潟縣越後國中頸城郡谷濱村大字長濱

鎭座式內

村社阿比多神社之景


高尾山
本社
拜殿
渡殿
神庫
神庫
神庫

新潟縣越後國中頸城郡
板倉村字針鎭座

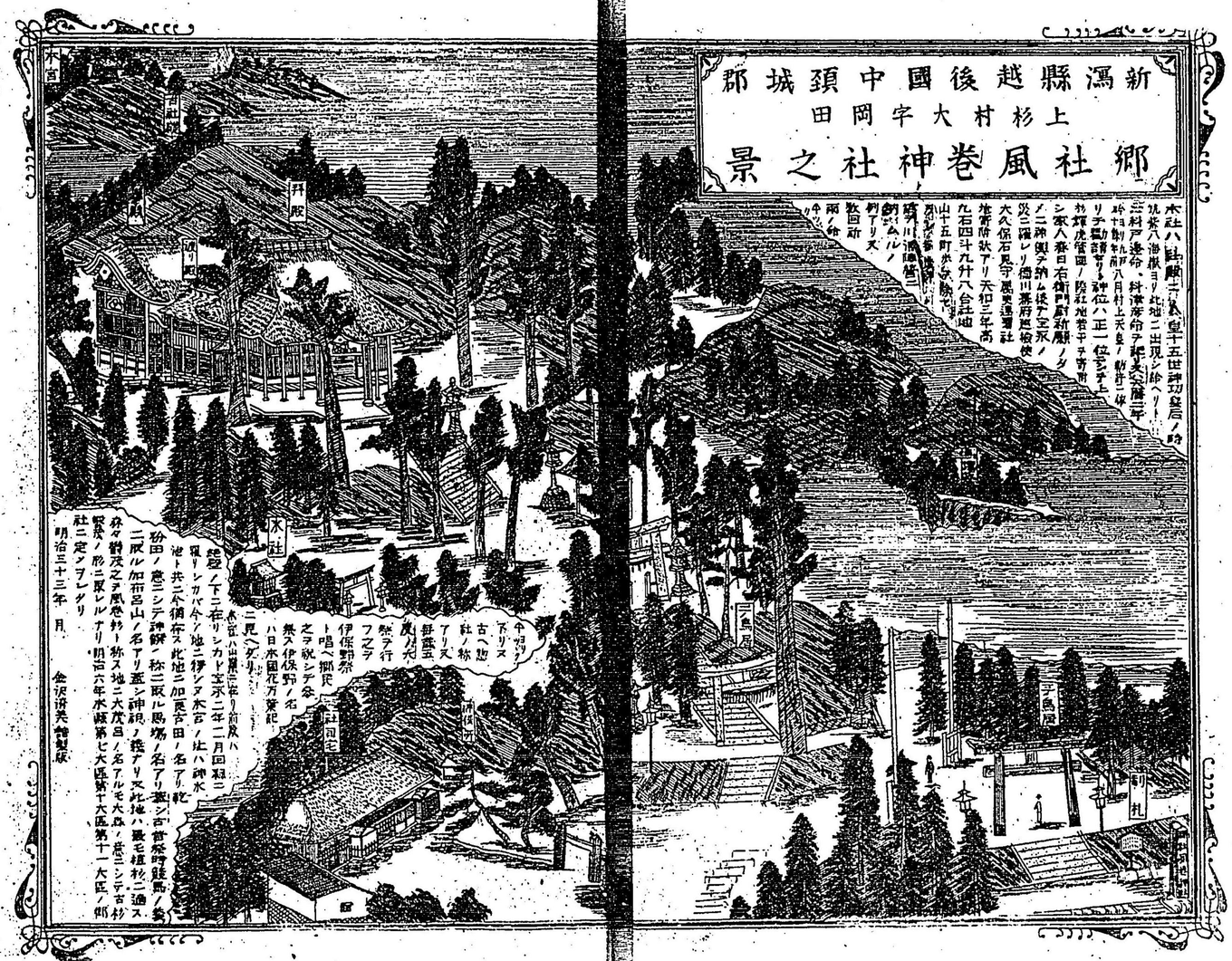
村社八幡宮之景

本社八幡田別命ヲ祀リ皇受大神建御名方命ヲ合祀ス延元二年足利第氏越前國ヨリ金ヶ崎城ヲ攻ムルヤ新田義貞仙山城ニ遁レ其子義興流矢ニ斃レ尊良親王然ニ從挙ヲ從ヘテ越後國ニ遁レ此地ニ沿ミ病ミテ薨ジ給ヒヌ因リテ彰勝ノ地ナトレテ小陵ヲ築キ小祠ヲ建テ碑ニ代ノ世ニ文ヲ親王塚又塚宮ト称スル後ヲ宮跡並ニ行傳セレカ八元亀天正ノ交郷人相議ヲ祈ニ宮殿ヲ営ミ豊ヒ岩清水八幡宮ノ分霊ヲ祀ニ當時上杉謙信公之ヲ信レ兜鉾ヲ献ヒ出師必ス祀ヲ行ヒタリ徳川氏ノ時代官等亦崇敬レ今頃八幡宮又塚宮神社ト称レ神威轉灼タリト
ア末社ニ稲荷神社ヲ祀ル
國ヨリ各社ヲリ今ノ社殿ハ文政四年ノ再建

新潟縣越後國中頚城郡

上杉村大字岡田

鄉社風巻神社之景



本社八社殿二座皇十五世神功皇后ノ時代ヨリ北地ニ出現シ給ヘリ！三科戸邊命、科津彦命ヲ祭ル文徳天皇ノ御宇仁壽三年リチ勸請ヲ以テ神位ハ正一位ヲシテ上杉輝虎管國ノ際社地若干ヲ寄附シ家人春日右衛門尉新願ノタメニ神奠ヲ納ムル後ナホ永久保存見守屬實遠藤社地境内繪圖ノ如ク天和三年高九石四斗九升八合社地山十五町歩ヲ除ク外ハ悉ク社領ニ寄附シ給ヒ歴代領主ノ御祈願所トナリ又歴回所務ノ命ヲ下ス

社司宅

伊保野祭ト唱ヘ郷民之ヲ敬シテ祭ヲ行フ之ヲ伊保野ノ名ハ日本國花万葉記ニ見ヘタリ

社殿ノ下ニ在リシカド宝永二年二月回祿ニ罹リシカバ今ノ地ニ移シテ木宮ノ社ハ神水池ト共ニ今ノ地ニ加良古田ノ名アリ乾

砂田ノ意ニシテ神餌ヲ称ス二阪ル馬場ノ名アリ蓋シ古昔祭時競馬ノ設ケアリシ二阪ルハ加祢呂山ノ名アリ蓋シ神祖ノ霊アリ又此地ハ最モ植杉ニ適ス

森々鬱茂之ヲ風巻杉ト称ス地ニ大成呂ノ名アルモ大森ノ意ニシテ古杉繁茂ノ形ニ取レルナリ明治六年水澤第七大區第十六區第十一大區ノ郷社ニ定メラレタリ

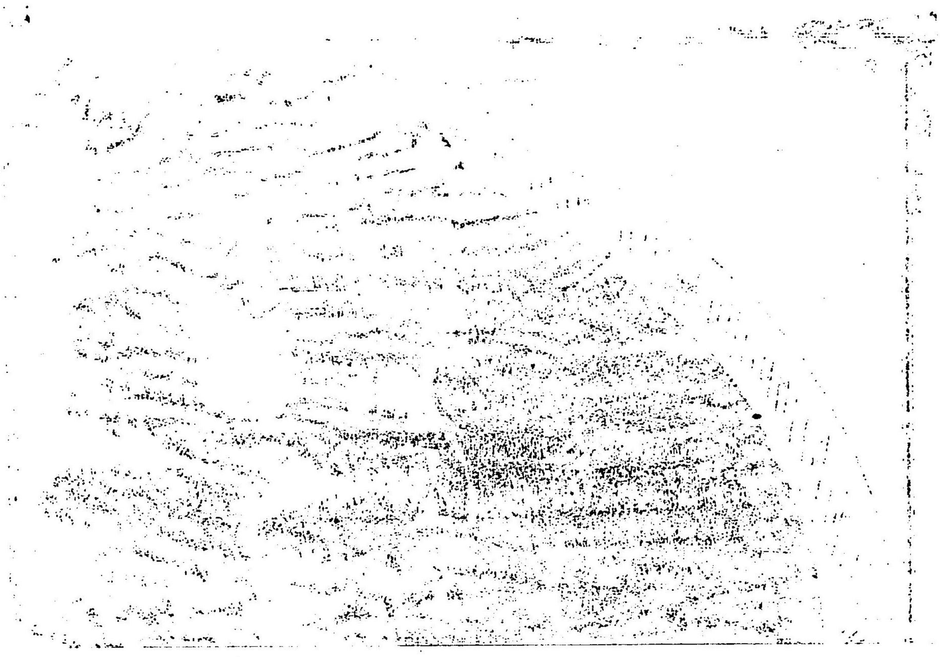
明治三十三年　月

金沢清英謹製版

新潟縣越後國中頸城郡
黒川村大字岩手鎮座
式内村社圓田神社之景

本社ハ國常立命ヲ祀リ誉田別命、大巳貴命ヲ配祀ス延喜内ニシテ往古ヨリ五十餘個村ノ惣社ト唱ヘ五十嵐氏旧吉田家ニ属シテ累世奉仕セリ古樹勢荅トシテ近傍ニ神戸川舞台等ノ名ヲ冒セル地アリ皆古ノ遺ナリト称ス

明治参拾参年　月刻　金澤湊美館製版



新潟縣越後國中頸城郡春日村大字春日
鎮座
村社春日神社之景

本社ハ武御雷神、布津主神、天津兒屋根命、比賣神ヲ祀ル天徳二年（今ヲ去ル九百五十年）頸城郡惣ヶ峰ノ山上ニ祠シ此一帯ノ山ヲ春日山ト號シ惣ク神領タリシ良治中上杉左近將監憲房越後國ヲ賜リ春日山ニ築城シ本社ヲ以テ城内鎮護神トナシテ崇祀スルヿ年アリ慶安元年長尾筑前守高景故アリテ城ス ルニ及ヒテ旧ニ從フ永徳中高景故アリテ本社ヲ城外ニ遷ス今ノ地即チ是ナリ是尾氏累世崇祀シテ百祠ヲ造營修葺セリ慶長ノ初メ堀氏禰馬ニ遷城スルニ及ヒ本社ノ分靈ヲ奉シテ郭内ノ鎮守トシ本社ヲ崇信シテ社領ヲ旧ニ依ル閏十六年徳川氏社領高五十石ヲ定ノ以テ維新ニ及ヒタリ慶長天保ノ兩度田祿ニ預リ書記ヲ失ヘリ故ニ詳ナラス

明治三十二年三月刻

新潟縣越後國中頸城郡
新道村字上稻田鎮座
村社諏訪神社之景

本社ハ建御名方神、八坂刀賣神ヲ祀リ
御子十三神ヲ配祀ス創建ノ年代詳
カナラザレトモ往古ヨリ居民崇
メテ安國祓地ノ神トナス新田
義顯上杉謙信亦嘗テ雨ヲ祈
リケルニ靈驗アリ謙信ニ
城中ニ遷祀セリトイヒ又中
古即チ堀川天皇ノ時ノ領主ニシ
テ近古即チ享禄、天文中ノ國亂
ニ神殿中絶シ爾後祠殿ノ
類敢ト共ニ傳紀什宝
ヲ失ヒシカト近世即
チ元禄中ヨリ漸ク什
宝ヲ蒐入又其ノ
中ニ弘文天皇ノ
今上天皇ノ辛櫃、干童區ノ鈴化石、
新田義顯ノ張貴冠、獨孤ノ劍ニ鈴、戸田忠
真ノ自顯芳、菅貫行書彫刻、高神、松平
頼忠筆、頼等ノ無銘ノ名刀ヲ始
ヒスリテ例祭ヲ行フ
旦ハ多少ノ雨ヲ見ルヲ以
テ但八稲田ノ陣ヲ
祭トイヒケリ
明治三十三年
八月則
金澤
商
某
謹
寫

新潟縣越後國中頸城郡高田町

極樂山天崇寺寺況景

本寺ハ天正中上杉輝虎ノ開創ニテ開山ヲ源譽随流上人トナス初ノ長屋寺ト號ス本尊阿彌陀如來ハ勢至觀音ノ脇侍ヲ具ヘ作ナリ又釋迦牟尼佛ハ三尊ノ像ニテ

▲長祭の古城蹟　那須主水宗晴茲に城主たりしといふ

社寺

▲日枝神社　高田町大字下寺に在り郷社にして大山咋命を祀り相殿に天照皇大神、豊受姫大神、建御名方命を配祀す初め文徳天皇の仁壽三年高田より東北の方二里餘字妻野に勧請し後ち堀久太郎同地に城くに當り本社を以て城内の地主神とす慶長十五年城を廃して高田に移すに及びて更に本社を今の地に遷座し松平氏より榊原氏に至るまで城中の守護神として崇敬淺からざりしとぞ松平氏高田城を築くに當り再び今の地に移轉す境内坪數千九百〇四坪にして中雀門を入れば正面に本堂あり惠心作阿彌陀如來の像を安置す其の右に太子堂左に經藏、鐘樓あり本堂の北廻廊三十歩許を經て大庫裡に通じ其の中間に拜堂あり毎歳四月一日には宗祖の降誕會を執行し其他春秋の彼岸には無縁供養會、十一月には祖師忌報恩講ありて賽人群集すといふ

▲瑞泉寺　高田町字横春日町に在り緑翁上人の開基に係るといふはじめ承久三年下総河邊庄に一宇を建立して勝願寺と號し長慶二十年徳川忠輝高田城を築くに當り寺領を寄附して今の地に再建し後ち延寶元年綽如上人の開基に係る瑞泉寺を繼續して今の號に改む

名所

▲金谷山　高田近郊の勝地たり眺望絶佳にして頸城一郡の土壌は茵席の下にあり且つ納涼觀月に於て最も宜しとなす殊に登りて春日山を望めば人をして英雄の遺跡に慨然たらしむ

▲長峯の古城蹟　那須主水宗晴茲に城主たりしといふ

社寺

▲日枝神社　高田町大字下寺に在り郷社にして大山咋命を祀り相殿に天照皇大神、豊受姫大神、建御名方命を配祀す初め文徳天皇の仁壽三年高田より東北の方二里餘字麥野に勧請し後ち堀久太郎同地に城くに當り本社を以て城内の地主神とす慶長十五年城を廃して高田に移すに及びて更に本社を今の地に遷座し松平氏より榊原氏に至るまで城中の守護神として崇敬淺からざりしとぞ松平氏高田城を築くに當り再び今の地に移轉す境内坪數千九百〇四坪にして中雀門を入れば正面に本堂あり惠心作阿彌陀如來の像を安置す其の右に太子堂左に經藏、鐘樓あり本堂の北廻廊三十歩許を經て大庫裡に通じ其の中間に拜堂あり毎歳四月一日には宗祖の降誕會を執行し其他春秋の彼岸には無緣供養會、十一月には祖師忌報恩講ありて衆人群集すといふ

▲瑞泉寺　高田町字横春日町に在り綽如上人の開基に係るといふはじめ承久三年下総河邊庄に一宇を建立して勝願寺と號し長慶二十年徳川忠輝高田城を築くに當り寺領を寄附して今の地に再建し後ち延寶元年綽如上人の開基に係る瑞泉寺を繼續して今の號に改む

名所

▲金谷山　高田近郊の勝地たり眺望絶佳にして頸城一郡の土圾は裀席の下にあり且つ納涼觀月に於て最も宜しとなす殊に登りて春日山を望めば人をして英雄の遺跡に慨然たらしむ

東頸城郡

位置地勢

東は中魚沼郡に交はり西は中頸城郡に接し南は信濃の下水内郡に隣り北は刈羽郡に界す西方を除きて他は峯巒圍繞し其の脈郡中に蔓延せるが爲め平地少し然れども地味豊沃なるを以て住民多く農業に從事す

驛路

安塚村は中魚沼郡十日町、中頸城郡高田町間の街道の衝に當る

山岳

▲菱ヶ嶽　郡の西南隅にあり其山脈の北に延しものは中頸城郡とを弸し東に亘るものは天水山、秋野山となり其餘脈延へて北に赴き中魚沼郡とを弸す

▲松尾山　郡の東邊にあり

河川

▲澁海川　源を天水山より發し諸溪水を合せて北流し松尾山の南麓を過ぎて中魚沼郡に入る

▲保倉川　源を中山峯より發し北流して保倉村に至り更に西に折れて中頸城郡に入る

鑛泉

▲松ノ山温泉　松ノ山村字湯本にあり温度百三十度を保ち泉は溪澗の二所より湧出し村の中央に浴場を設け筧を通して温泉を導く痔疾、疝癪、疥癬等に妙能あるを以て著はる地は山嶽圍繞の中にありて風物靜幽なり

戸口

東頸城郡に於ける戸數は八千七百八十三、人口五万六千〇十四あり

町村

一郡を別ちて左の三十三ヶ村となす

安塚村　月影村　中川村　下保倉村　末廣村　中保倉村　保倉村　旭村　峯方村　北平村　北山村　松平村　布川村　松之山村　伊澤村　松里村　浦田村　奴奈川村　大島村　元保倉村　船倉村　豊坂村　眞荻平村　小切戸村　川上村　沼木村　川邊村　里見村　沖見村　仁上村　嶺村　須川村

新潟縣越後國東頸城郡
松里村字湯本
松里温泉場之全景

松里温泉

湯名無邊ハ温度華氏(九十六度乃至百度)攝氏(三十六度乃至三十七度)ニシテ定性分析ノ結果ハ格魯兒那篤個謨(八六八三)格魯兒加爾斯謨(五、三二八六格魯兒加爾謨(〇、二五二六)酸加爾斯謨(〇、一三三一)酸化鉄礬土(〇、〇〇七)珪酸(〇、〇六九〇)硅酸・燐酸・硼酸・沃度・狼羅謨ハ多痕跡・有機物ハ少量ニシテ合計一、四一六〇ナリ又医治效能ハ湿疹、僂麻質斯、痛風、泌尿器、生殖器、粘膜病、貧血、ヘーステリー、慢性皮膚病、子宮病、胃病、金屬中毒、肝臓病、蓼質病、腺病、坐骨神経病、麻痺性諸病ナリ

湯名(一名の湯ハ温度大抵摂氏三十六度乃至三十七度華氏九十八度乃氏百度ニシテ定性分析ノ結果ハ格魯兒那篤個謨七、九二八八格魯兒加爾斯謨〇、〇二九六個謨〇、〇二〇二酸加爾斯謨〇、一四二五珪酸・燐酸・硼酸・沃度・狼羅謨・酸化鉄礬土ハ各痕跡有機物ハ僅微ニシテ合計一、三八七一ナリ又医治效能ハ湿疹、僂麻質斯、痛風、泌尿器及生殖器、粘膜病、貧血、慢性皮膚病、金屬中毒、蓼質病、肝臓病、遺尿、痔疾病等ナリ

明治三十三年　八月　刻

金澤　湾美舘　製版

新潟縣越後國東頸城郡小切戸村字小黒

眞宗大谷派

巖峙山專敬寺之景

本堂
大玄堂
庫裡
上蔵
小書院
門屋
鐘楼
佛寿寺
歓喜寺
往念寺

本寺ハ數回ノ變遷ヲ經テ現今ノ地ニ移轉シ來リシハ實ニ大祖ノ徳業ヲ追慕シ開基トス即ハ正和元年九月十五日寂今ヲ溯ル五百八十九年ナリ明治二年七月火アリ堂宇什器等悉ク焼燼セリ而シテ現今ノ堂宇ハ其後起エセレモノ猶舊觀ニ擬スト雖惜哉ホク全ク成ラス本堂額アリ東巖事修恭敬閣ト題セリ

明治二十三年十月刻

金澤湊美館製版

新寫縣越後國東頸城郡安塚村大字安塚

曹洞宗

萬盛山賞泉寺之景

本寺ハ文明四年此地直峰山城主長尾能景ノ開創ニシテ顕室寺二世默室周吉禪師ヲ開山トス然ニ城主吉田英忠ニ至リ長尾重景能景等菩提ノタメニ寺領ヲ寄附セリ三世長丈和尚遷化シテヨリ中廃スルコト凡百十三年四世賢翁和尚入ヲ中興セリ惜ニラクハ天保二年八月火災ニ罹リテ堂宇及開基寄附ノ什器ヲ焼亡ス嘉永元年十七世玉堂和尚悉ク今ノ堂宇山門等ヲ再建セリ吉田英忠念持佛觀音大士木像並ニ寶物古記若干ヲ藏ス

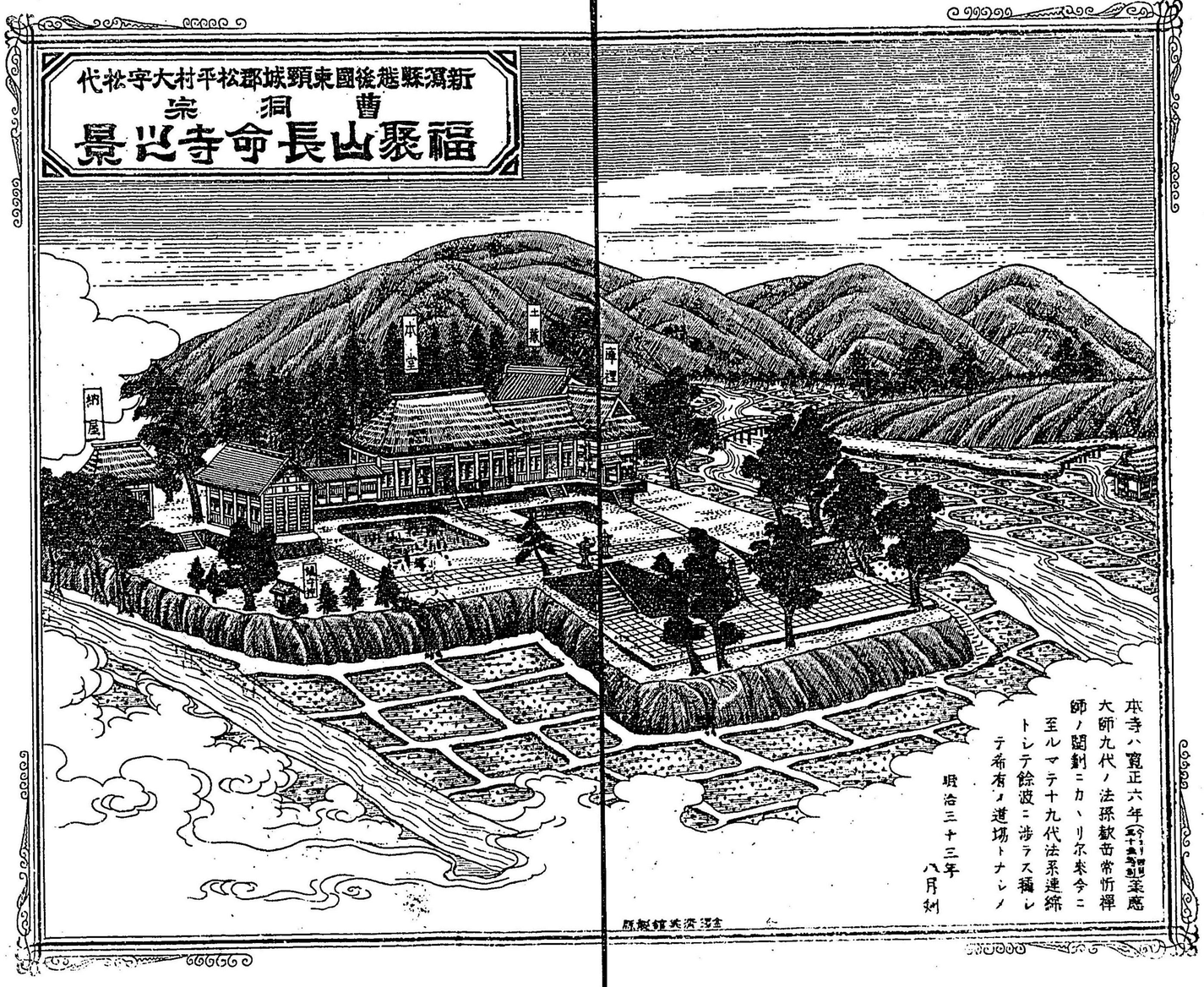
明治三十三年十月刻

金澤美術館藏版

新寫縣熊後國東頸城郡松平村大字松代

曹洞宗

福聚山長命寺之景



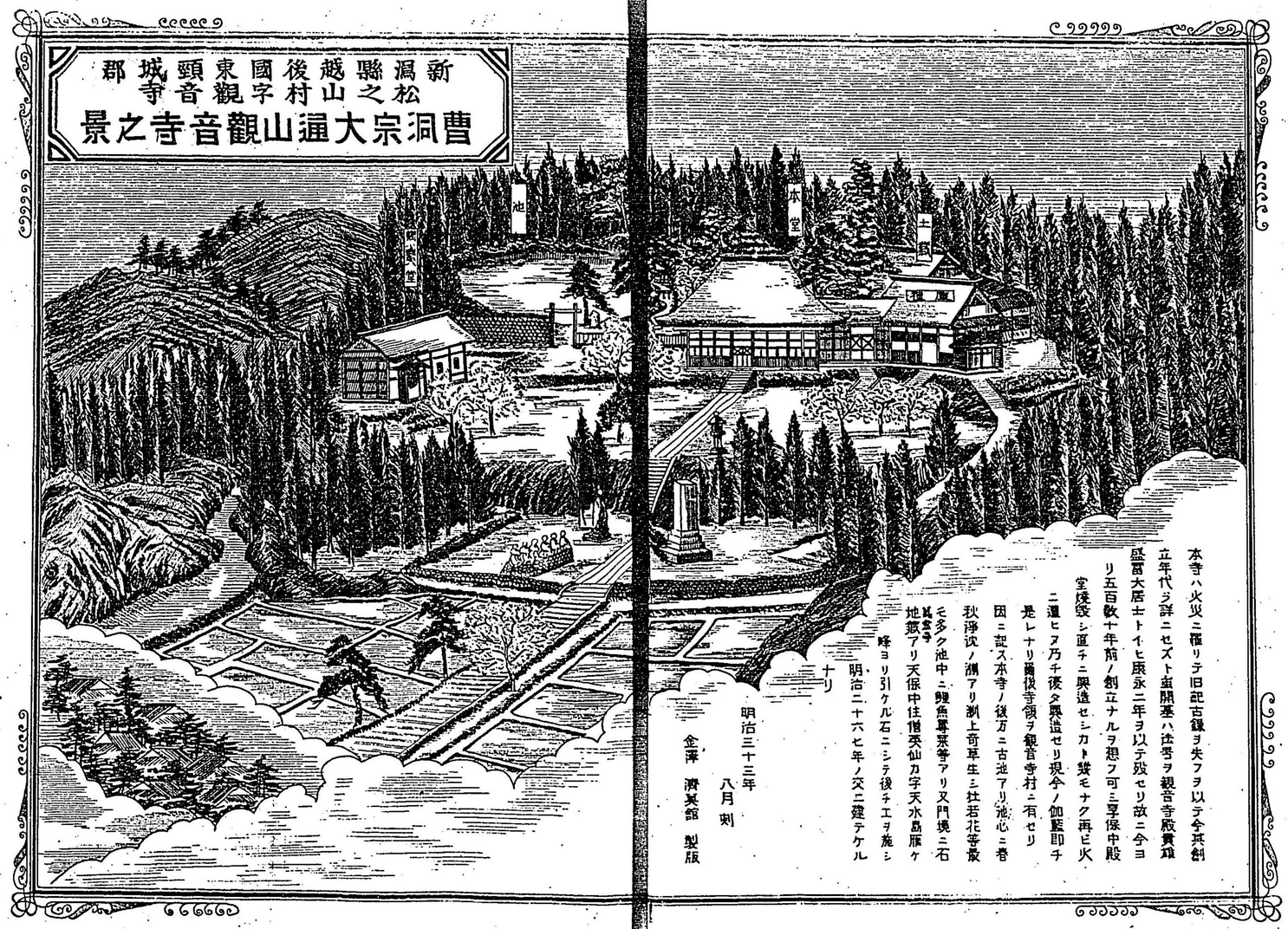
本寺ハ寛正六年（西暦一四六五年）創建ニ係リ
大師九代ノ法孫歓西常忻禅
師ノ開創ニカヽリ尓来今ニ
至ルマテ十九代法系連綿
トシテ餘波ニ渉ラス稱シ
テ希有ノ道場トナレリ

昭和三十三年
八月刻

著作権共有複製禁止

新潟縣越後國東頸城郡
松之山村字觀音寺

曹洞宗大通山觀音寺之景

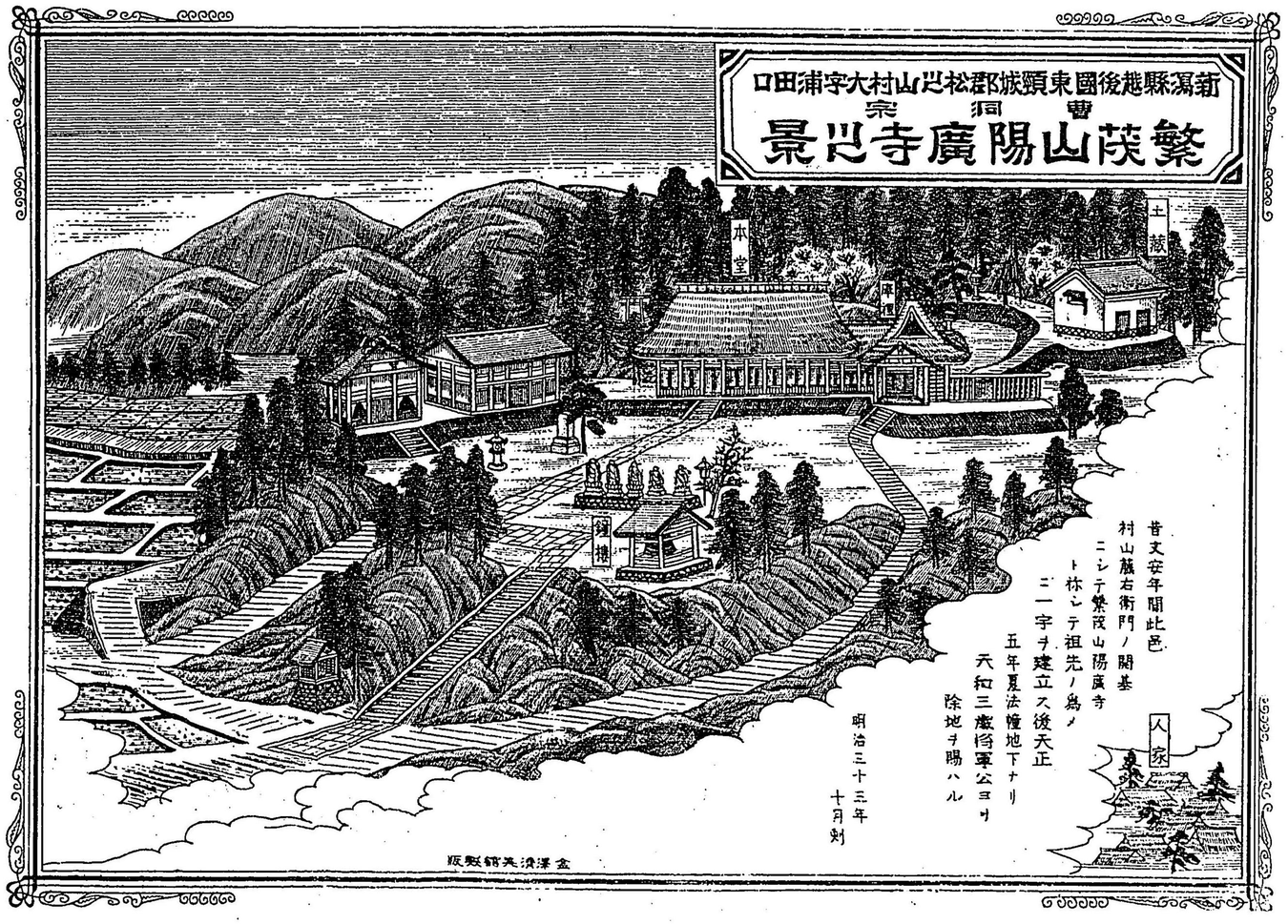


本寺ハ火災ニ罹リテ旧記古縁ヲ失フヲ以テ今其創立年代ヲ詳ニセズト雖開基ハ法号ヲ観音寺殿貫雄盛富大居士トイヒ康永二年ヲ以テ殁セリ故ニ今ヨリ五百餘十年前ノ創立ナルヲ想フ可シ享保中殿堂傾毀シ直チニ興造セシカト幾モナク再ビ火ニ遭ヒヌ乃チ後タ興造セリ現今ノ伽藍即チ是レナリ舊役寺領ヲ観音寺村ニ有セリ
因ニ記ス本寺ノ後方ニ古池アリ池心ニ巻
秋淨沈ノ潤アリ瀏上奇草生ニ杜若花等最
モ多ク池中ニ鯉魚鼈蛇等アリ又門境ニ石
地蔵アリ天保中住僧栖仙力字天水島服ヶ
峰ヨリ引ケル石ニシテ後チ工ヲ施シ
明治二十六七年ノ交ニ建テケル

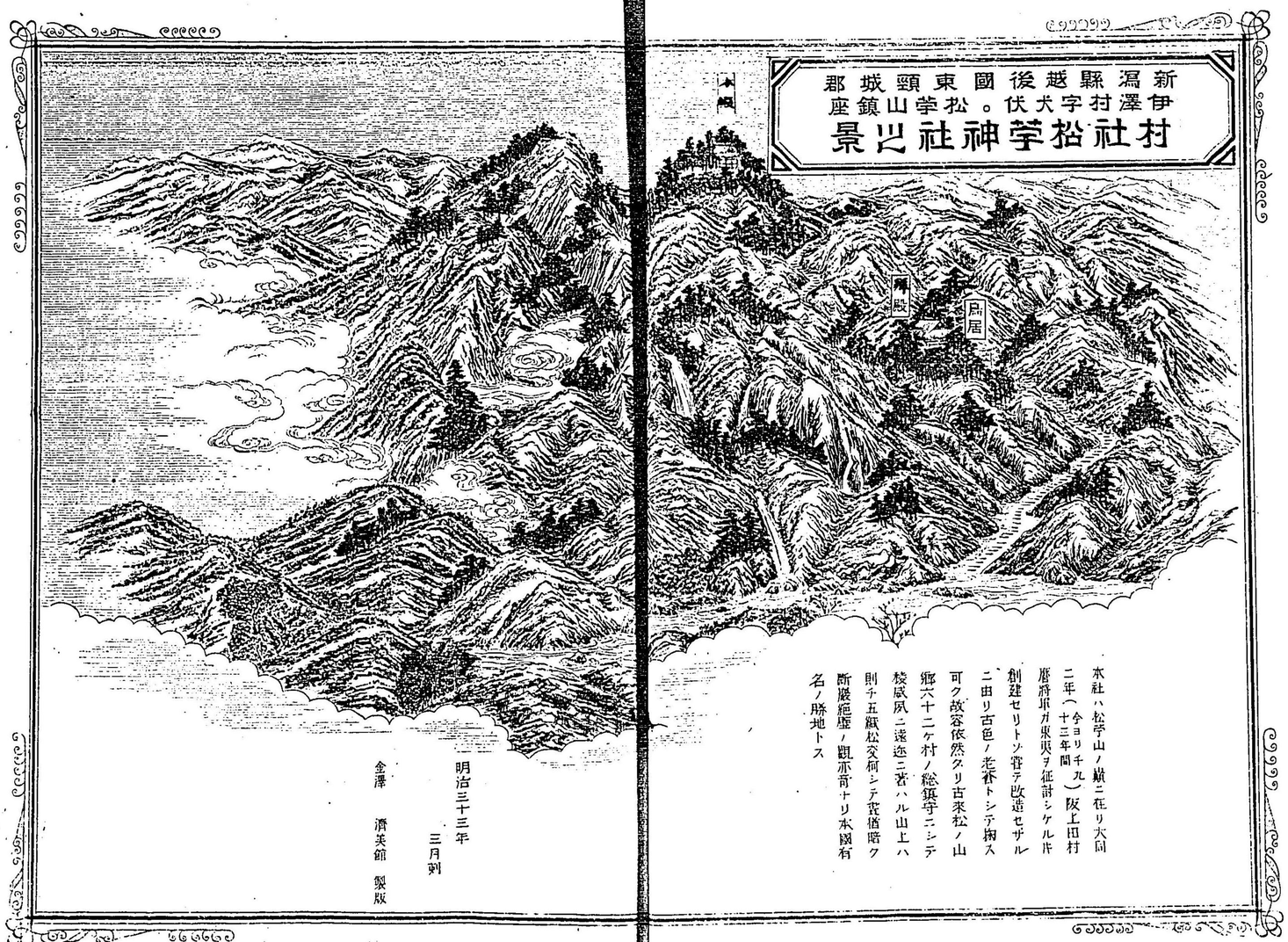
十月三十日

明治三十三年
八月 刻

金澤 濟美舘 製版


新瀉縣越後國東頸城郡松之山村大字浦田口
曹洞宗
繁茂山陽廣寺之景
本堂
土蔵
鐘楼
人家
昔文安年間此邑
村山藤右衛門ノ開基
ニシテ繁茂山陽廣寺
ト称シテ祖先ノ為メ
ニ一宇ヲ建立スル後天正
五年夏法幢地下ナリ
天和三歳侍軍公ヨリ
除地ヲ賜ハル
明治三十三年
十月刻
金澤清美鐫製版

新潟縣越後國東頸城郡
伊澤村字犬伏。松学山鎮座
村社松学神社之景



本社ハ松学山ノ嶺ニ在リ大同二年（今ヨリ千九百廿三年間）阪上田村麿将軍ガ東夷ヲ征討シケル時創建セリトソ昔テ改造セザルニ由リ古色ノ老蒼トシテ掬ス可ク故容依然タリ古来松ノ山郷六十二ケ村ノ総鎮守ニシテ稜威風ニ遠近ニ著ハル山上ハ則チ五葩松交何シテ霊植暗ク断巌絶壑ノ觀亦奇ナリ本國有名ノ勝地トス

明治三十三年
三月刻
金澤　濱美館　製版

新松澤之村

縣山形

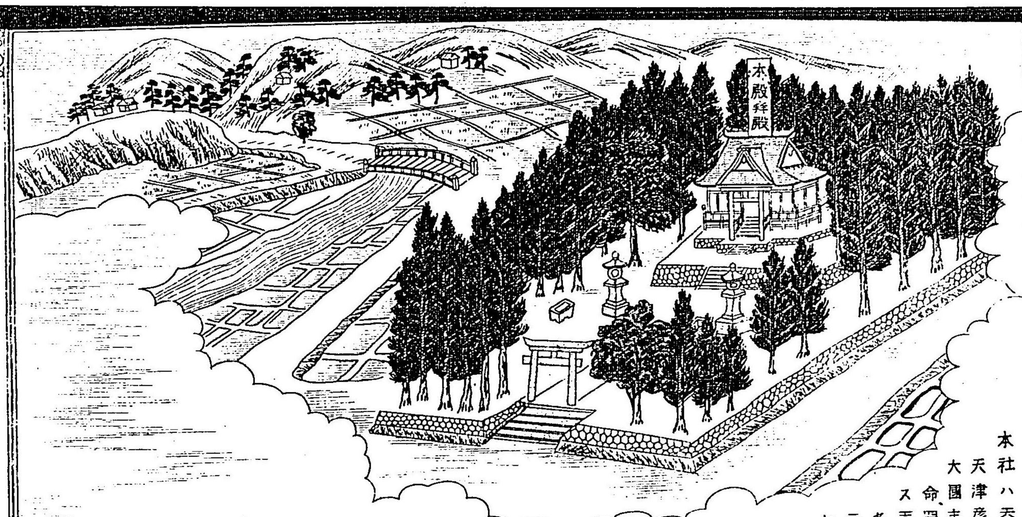
郡城頸

景國俊字村

區昌浦

社神二十社村

殿レ田年十来
テ々殿荷三社
新リヨノハ
築嘉リ勤大
セ永正請山
リ六一二祇
年位係令
再十リテ
建二嘉祀
シ大永ル
明五貞
治神年元
二ト五二
十勤月年
五遷京ヲ
年セ師ヨリ
奥ラ吉ニ



本社ハ天照皇大神、素盞嗚命、天津彦根命、天津児屋根命、大國主命、沼河姫命、四海彦命、四海姫命、八柱ヲ合祀ス天智天皇ノ御時創建セリトイヒ傳フ大同二年飛騨匠造替シタレトモ燒失セリトゾ古來三十貫ノ地ヲ國主ヨリ附予シタリシカド天正中兵亂ノタメニ沒收セラレタリ木社ハ古ヨリ四海川上ノ祠宇ニシテ浦田郷ノ惣社ナルヲ以テ浦田ノ大宮ト稱シ中古ハ松宇權現ト呼ヘリ春(四月八日)秋(九月)ノ祭祀殷華ヲ窮ムル事ヲ勤ムルコトハ景代今ノ宮澤氏其宮澤正治氏ニ至リ已ニ二十五世ニ及ヘリトイフ

新潟縣西蒲原郡越後國東頸城郡
浦田村大字後浦鎮座
村社松宇神社之眞景

新潟縣越後國東頸城郡
松代字村平松代
曹洞宗萬年山廣德寺景

本寺ハ能本山徳持寺門首覺皇院九世宗馨和尚ノ草創ニシテ和尚ハ寛正三年示寂セリ後チ囲禄ノ災ニ罹ルコトニタビ只開山所持ノ鉄鉢一個ヲ存スルノミ今猶祖大徹ノ室中ヲ以テ世々衣鉢ヲ襲グ

城蹟

▲松代の古城蹟　城主は松山長者なりし長者は大和國添上郡の住人にして齊明天皇の御宇越後國に下り松代の城主となる其後天正年中江州の戰に敗死せりと云ふ

社・寺

▲白山神社　虫川村にあり境内に一大杉あり周圍五丈餘假盖重々として一幹能く境内を蔽へり遠く之は望めば宛も一森林の如し舊祠なりといふ

名所

▲管領塚　天水越村にある古墳を稱す相傳ふ永正年中上杉房能を此に葬れりと

▲松苧山　犬伏村にあり鬱然として特立し古松鬱茂風致清爽として山頂に松苧神社あり松ノ山鄉の總鎭守なりといふ

▲菱山の奇事　北越雪譜に云く松の山は一庄の總名にて許多の村落を併合したる大庄なりいづれも山間の村落にして一村は内といへども平地なしたゞ松代といふ所のみ平地にて農家軒を連ね外百番の諸に見えし松山鏡といふも此地なり其の諸にある鏡が池の古跡もこゝにあり今は池にもあらぬやうに埋れたれど其の跡として殘れり按ずるに松山鏡の諸は鏡破の繪卷といふものを原として作れるならん此えまきにも右の松の山の事見えたりさて松の山の庄内に菱山といふあり山の形三角なるゆえの名なるべし山に近き處に須川村菖蒲村といふあり此ひし山毎年二月に入り夜中にかぎりて雪頽あり其ひゞき一二里に聞ゆ傳ていふ白髮白衣の老翁幣をもちてなだれに乘り下るといふまた此なだれ須川村の方へ二十町餘の處眞直に突下す年は豐作なり菖蒲村の方へ斜にくだす年は凶作なり其驗少しも違ふことなし

刈羽郡

位置地勢

東は三島、北魚沼兩郡に接し西は中頸城郡に交はり南は中魚沼、東頸城兩郡に界し西北は海に瀕す郡中北部を除

きて他は山嶽連亘の爲め平地に乏し

驛路

北陸道は三島郡より來り海岸に沿へて西南に向へ石地、椎谷、荒浜、柏崎の諸驛を經て中頸城郡に入る又別に一路あり柏崎より東南は指して北魚沼郡小千谷町に通ず

山嶽

▲黒姫山　郡の南境にありて郡中の高山なり山麓岡野町村より登路一里餘

▲米山　郡の西境に聳ゑ其麓南に延へて黒姫山に連亘す

河川

▲鯖石川　源を東頸城郡棚倉の山間より發し北流して本郡に入り柏崎の東に至りて海に朝す

▲別山川　源を郡の北邊に發し西南に流れて鯖石川に合す

▲鵜川　源を黒姫山に發し北流して柏崎の西に至り海に瀕す之を天蓼清水と稱す

瀑布

▲不動滝　善根村は石山の西麓にあり三層に注下す一層は高十丈、二層は高七丈、三層は高三丈、幅各一間、下流は鯖石川に注ぐ

戸口

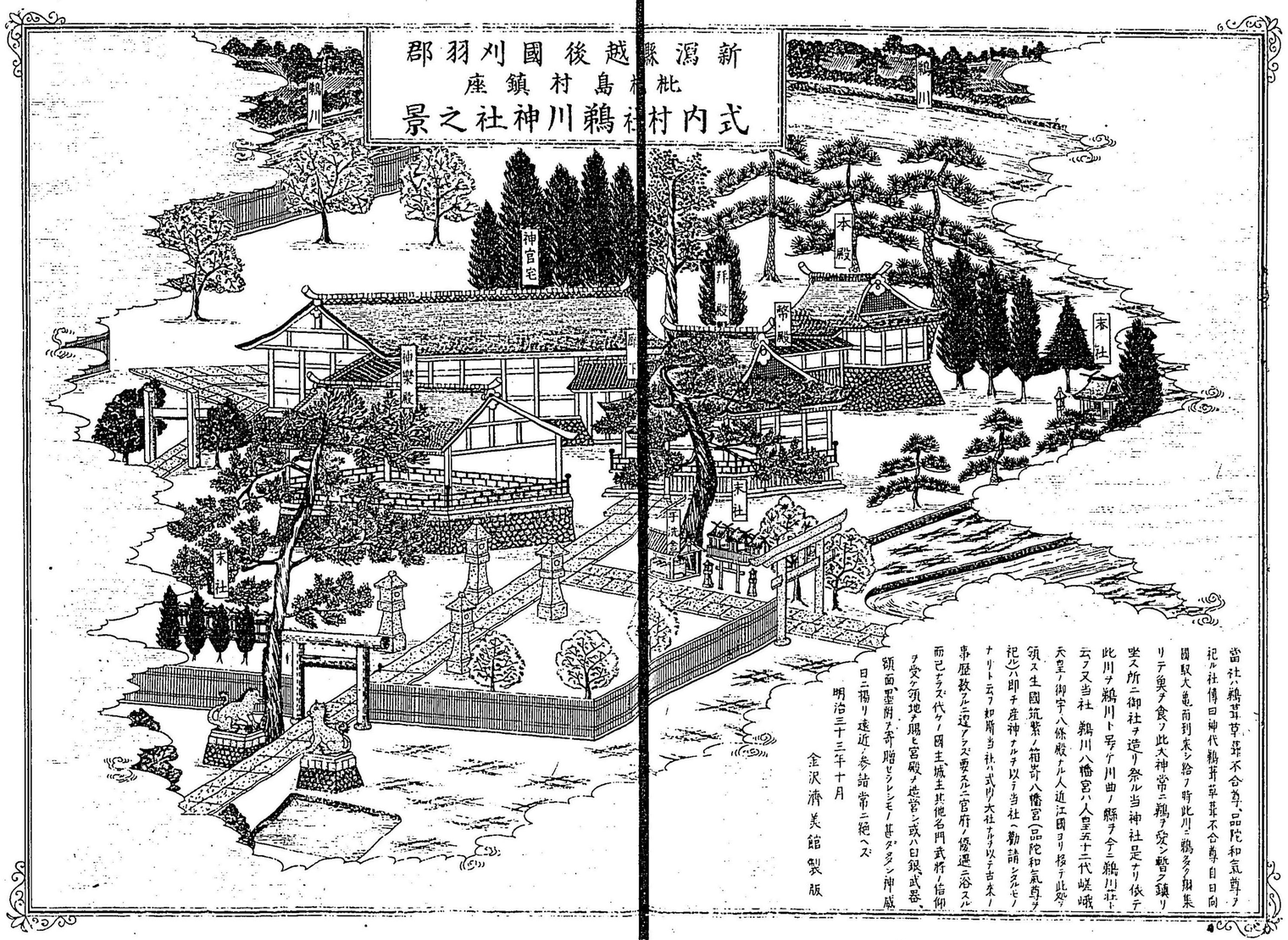
刈羽郡に於ける戸數は二万零百九、人口十一万三千二百零六あり

町村

一郡を別ちて左の七十一ヶ町村となす

大洲村　枇把島村　鋺里村　上條村　別俣村　野田村　田澤村　増田村　女谷村　中里村　結城野村　千谷澤村　北條村　秋津村　小澗村　廣田村　長島村　田尻村　藤井村　旭村　吉井村　槇原村　日吉村　刈羽村　東城村　曾地村　油田村　長原村　二田村　中川村　別山村　長谷村　勝山村　石地町村　大田村　宮川町　豊田村　日高村　石黒村　門出村　石曾根村　森近村　荻野島村　漆島村　森光村　小栗山村　柏崎町　下宿村　鯨波村　折居村　高尾村　栃ヶ原村　山中村　岡野町村　岡田村　山室村　大澤村　七日町村　横澤村

新潟縣越後國刈羽郡
枇杷島村鎮座
式内村社鵜川神社之景



當社ハ鵜茸草葺不合尊品陀和気尊ヲ祀ル社傳曰神代鵜茸草葺不合尊自日向國駅大竜而到来シ給フ時此川ニ鵜多ク翔集リテ奥ヲ食ノ此大神常ニ鵜ヲ愛シ給フ暫ク鎮リ坐ス所ニ御社ヲ造リ祭ル当神社是ナリ依テ此川ヲ鵜川ト号ケ川曲ノ縣ヲ今ニ鵜川社ト云フ又当社　鵜川八幡宮ハ人皇五十二代嵯峨天皇ノ御宇八條殿ナル人近江國ヨリ移テ此処領ス生國筑紫ノ箱崎八幡宮（品陀和気尊ヲ祀ル）ハ即チ産神ナルヲ以テ当社（勅請シタルモノナリト云フ如斯当社ハ式内ノ大社ナルヲ以テ古来ノ事歴数ルニ遑アラズ要スルニ官府ノ優遇ニ浴スルノ而已ナラズ代々ノ國主城主其他名門武将ノ信仰ヲ受ケ須地ノ開ト宮殿ヲ造営シ或ハ白銀武器領面霊附ノ奇瑞ヒトシモノ甚タタシ神威日ニ揚リ遠近ノ参詣常ニ絶ヘズ

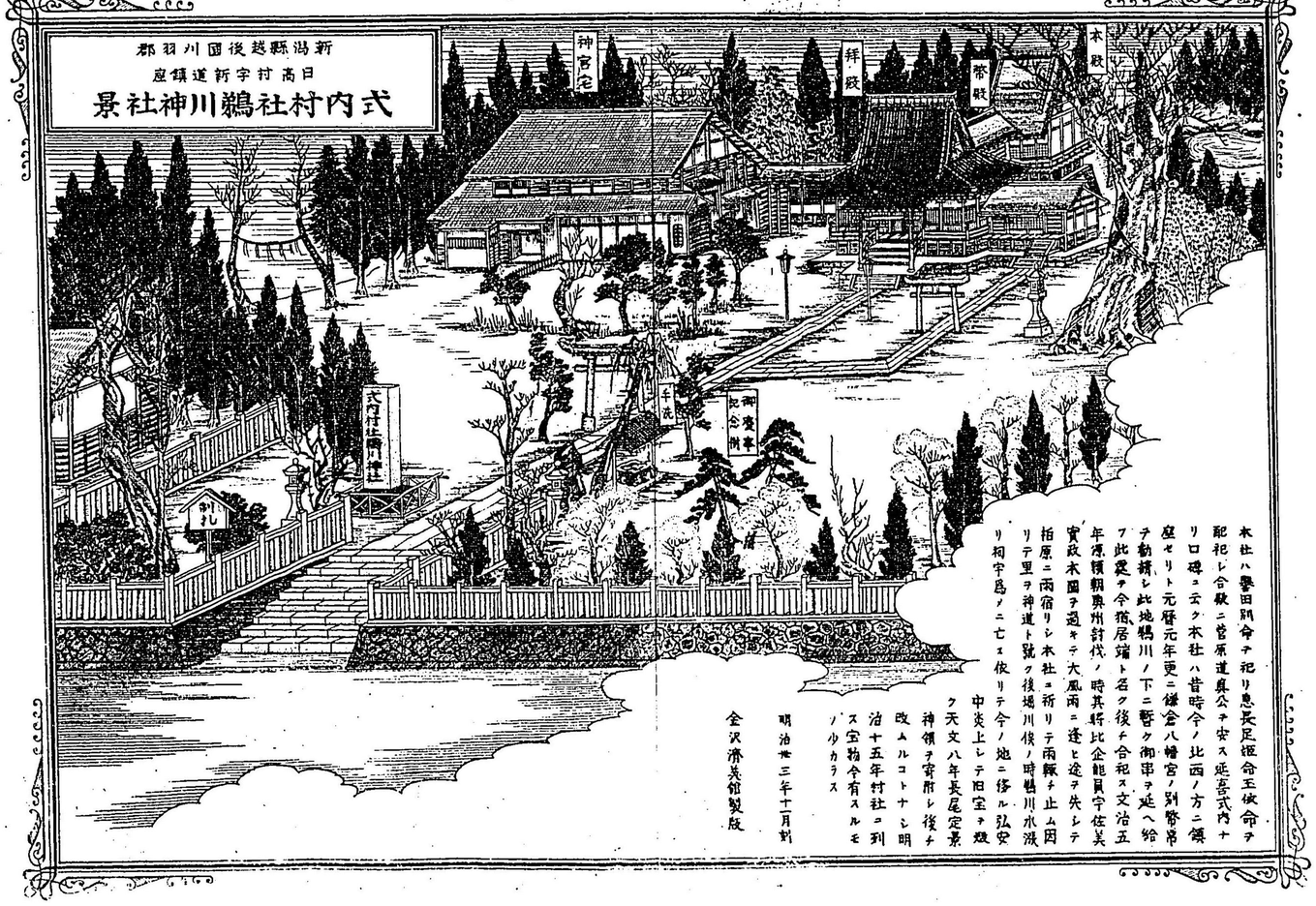
明治三十三年十月

金沢清美館製版

新潟縣越後國川羽郡

日高村字新道鎮座

式内村社鵜川神社景



本社ハ譽田別命ヲ祀リ息長足姫命玉依命ヲ配祀レ合殿ニ菅原道眞公ヲ安ス延喜式内ニリ口碑ニモ云ク本社ハ昔時今ノ北西ノ方ニ鎮座セリト元暦元年更ニ鎌倉八幡宮ノ別當帥ヲ勧請シ此地鵜川ノ下ニ暫ク御串ヲ延ヘ給フ此處ヲ今猶居端ト名ク後ヲ合祀ス文治五年源頼朝奥州討伐ノ時其將比企能員宇佐美實政木曽ヲ過キテ大風雨ニ逢ヒ途ヲ失シテ柏原ニ兩宿リシ本社ニ祈リテ雨霽ヲ止ム因リテ里ヲ神道ト號ク後鵜川保ノ時鵜川水滅リ和宇島ノニ亡ニ依リテ今ノ地ニ移ル弘安中炎上シテ旧宝ヲ燼ク天文八年長尾定景神領ヲ寄附レ後ヲ改ムルコトナシ明治十五年村社ニ列ス宝物今有スルモノ少カラス

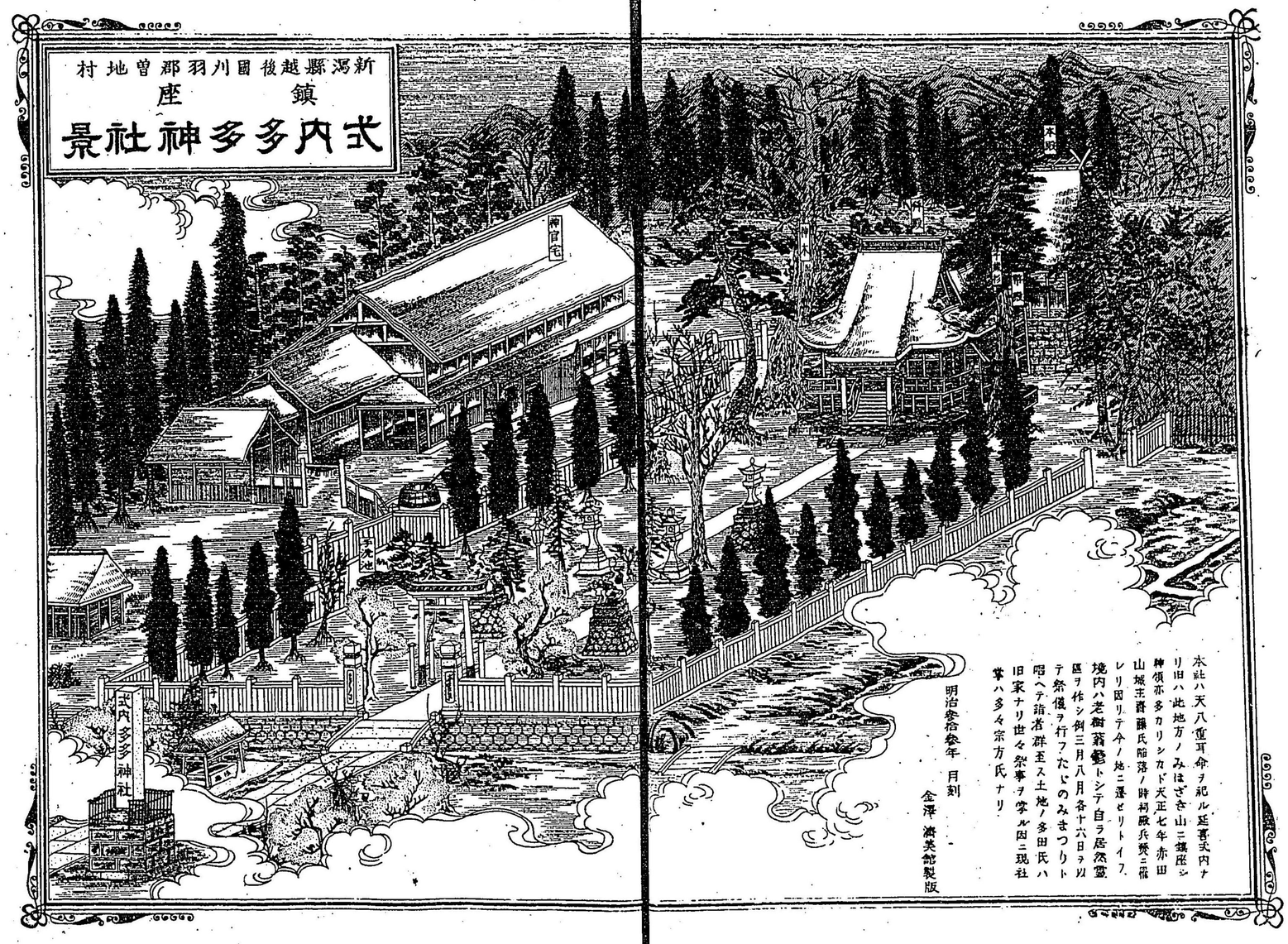
明治廿三年十月刻

金沢清美館製版

新潟縣越後國川羽郡曽地村

鎮座

式内多多神社景

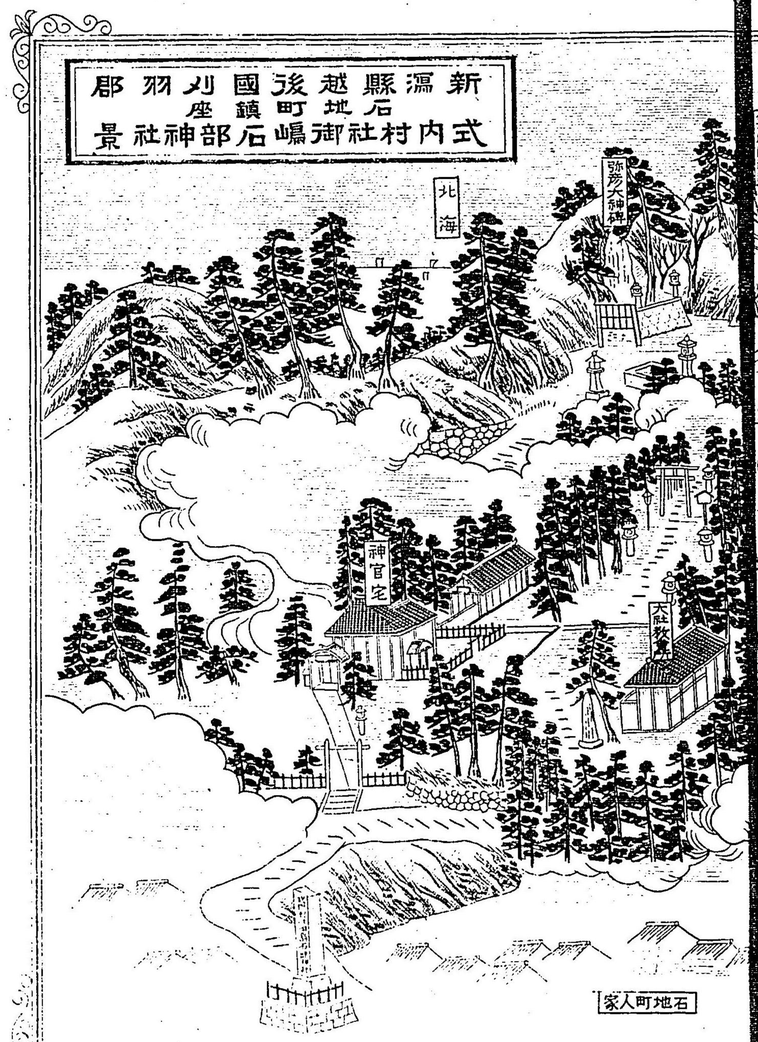


本社ハ天八重耳命ヲ祀ル延喜式内ナリ旧ハ此地方ノみほざき山ニ鎮座シ神領亦多カリシカド天正七年赤田山城主舊藤氏陥落ノ時祠殿兵燹ニ罹レリ因リテ今ノ地ニ遷セリトイフ。境内ハ老樹蓊鬱トシテ自ラ居然靈區ヲ作シ例ニ月八月各十六日ヲ以テ祭儀ヲ行フたじのみまつりト唱ヘテ詣者群至ス土地ノ多田氏ハ旧家ナリ世々祭事ヲ掌ル因ニ現社掌ハ多々宗方氏ナリ

明治參拾參年　月刻

金澤　満美郎製版

新潟縣越後國刈羽郡石地町鎮座 式内村社御嶋石部神社景



本社ハ大己貴神ヲ祀ルト称シ一リ男爵千家尊福撰ノ社記ノ要ニクむかし大己貴大神の昔くしき國々を經営まし時この國ある城郡居多のところにまして沼川日嘗命ニ御令座し健御名方命をうせ給いぬ猶北東の國々を平治きむとて御船にのらせ給ハ此石地の湊をかよひ旅近を見そなはすに枝の如きえあらず見ゆる巌の海の中よりつくきてありけるをあやしく思ほしてほとりに御船を漕よせあに巌をしきあるを可美小濱ありき三つの島石部ると宣給いたる島石部神社ト称ス是とありにけり天地の部山に登り給ひて吾意に安一とおの地と宣給いて留り給ひ御供のとゝめおかせ給ひむ云々宝物に長和五年應永二十五年應永二

本社ハ天御中主大神、高皇産靈大神、神皇産靈大神、天照皇大御神、天穗耳命、武夷鳥命、菅原道眞ヲ祀ル仁壽中（弘仁ノ誤カ）退江小菅原荒公此ニ利ノ後胤菅原英公此ニ利セリ永仁二年里見大隅太夫神地邑ヲ寄附シ正中元年八月二十五日南條城主毛利經光北野神社ノ分靈ヲ勸請シ尊ヲ毛利時親神殿ヲ再建シテ祈願所トナセリ文明中長尾顯景神殿ヲ改營シテ神地ヲ寄附セリ既ニシテ兵馬倥傯社頽壞ヲ成シテ傾壞セシカハ元和六年領主松平忠昌社殿ヲ修葺シ元文五年領主松平定重神殿ヲ再建シ文久三年復タ今ノ祠殿ヲ建テタリ古ヨリ國村ノ總鎭守タリ

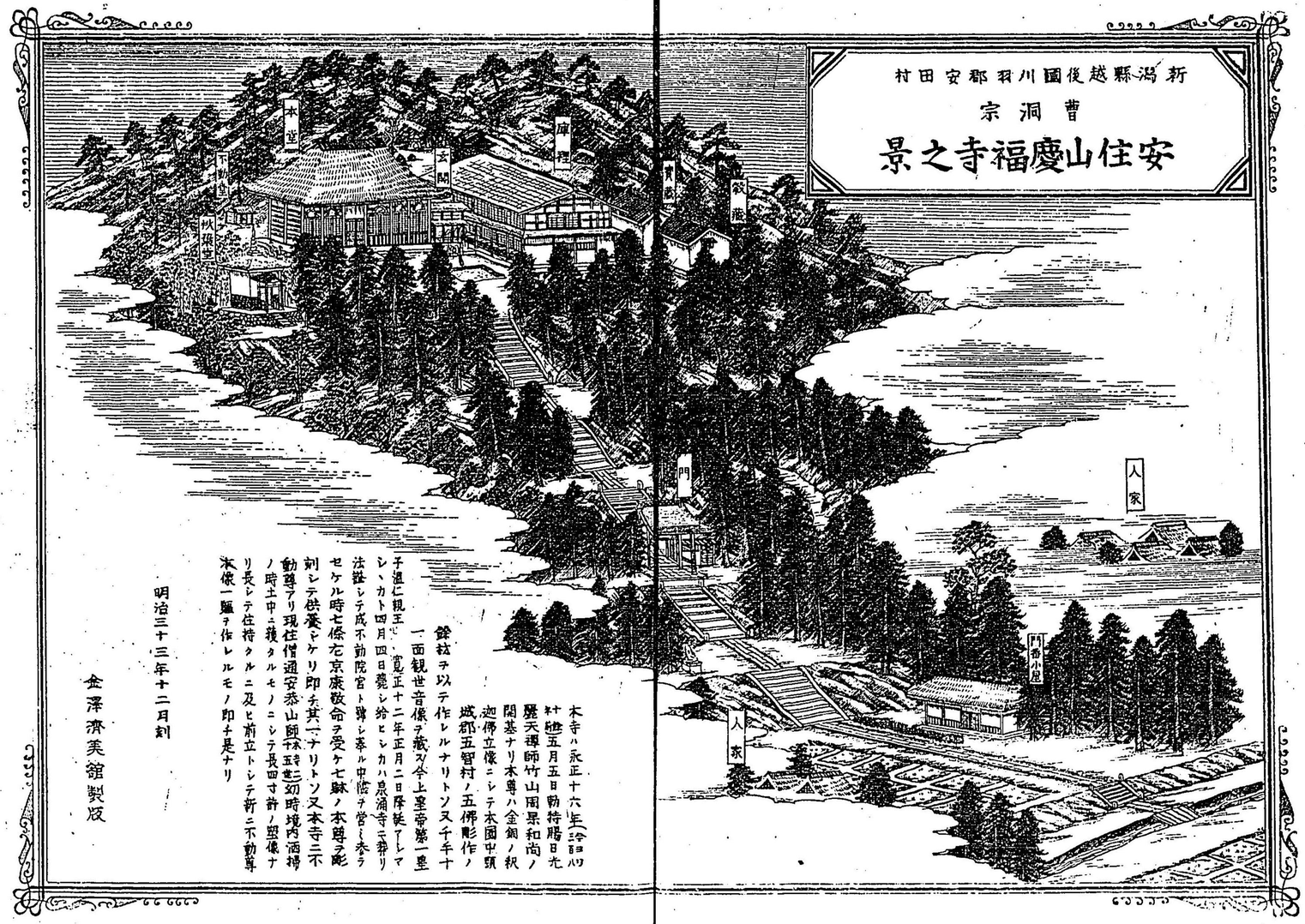
社掌　五十嵐道治

金澤淸美堂製版

新潟縣越後國川羽郡安田村

曹洞宗

安住山慶福寺之景



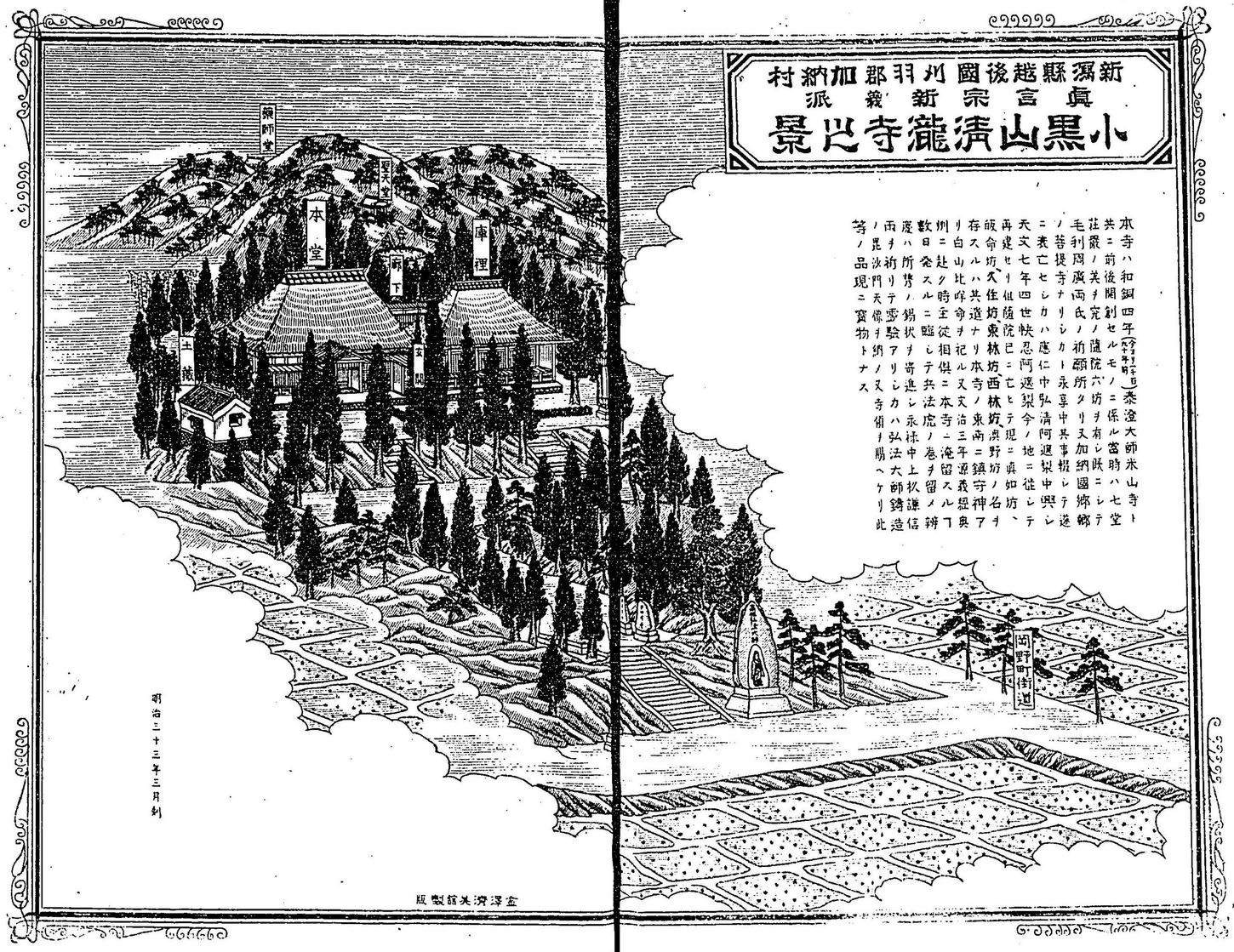
本寺ハ永正十六年（今日ヨリ計ヘ五月五日勅特賜日光靈天禪師竹山周杲和尚ノ開基ナリ本尊ハ金銅ノ釈迦佛立像ニシテ本國中頸城郡五智村ノ五佛彫作ノ鋳拡ヲ以テ作レルナリトソ又千千十一面観世音像ヲ藏ス今上皇帝第一皇子浬仁親王ハ、寛正十二年正月二日降誕アレマシ、カト四月四日襁ヲ給ヒシカハ息浦寺ニ葬リ法莚シテ成不動院宮ト號シ奉ル中陰ヲ営ミ奉ラセケル時七條右京康敬命ヲ受ケ七躰ノ本尊ヲ彫刻シテ供養トケリ即チ其一ナリトソ又本寺ニ不動尊アリ現住僧通安恭山師採キ玉ヒシ時境内洒掃ノ時土中ニ獲タルモノニシテ長四寸許ノ塑像ナリ長シテ住持クルニ及ヒ前立トシテ新ニ不動尊木像一軀ヲ作レルモノ即チ是ナリ

明治三十三年十二月刻

金澤濟美館製版

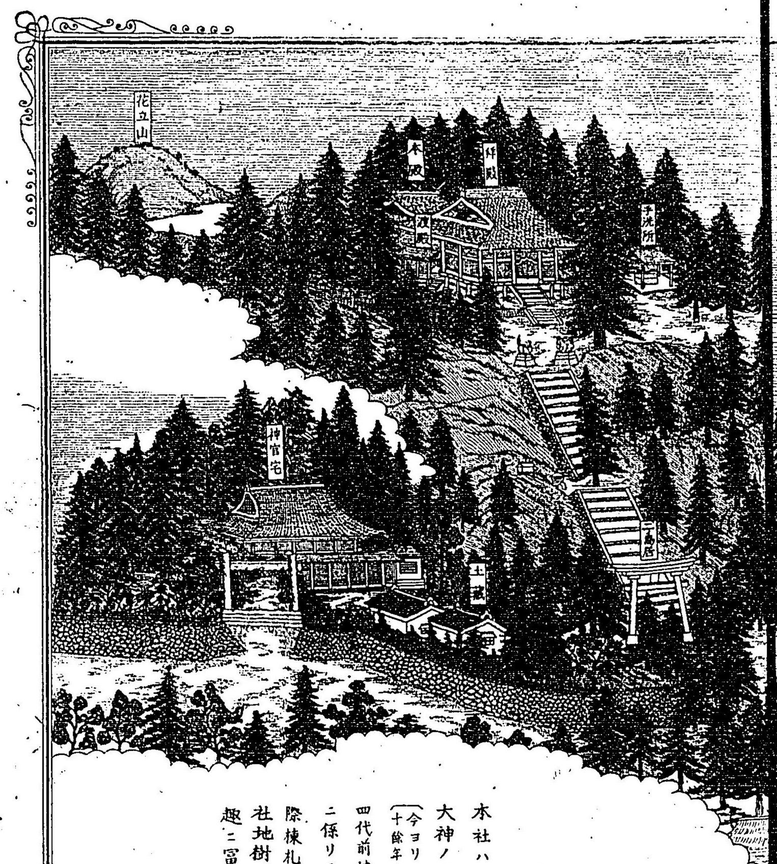
新潟縣越後國刈羽郡加納村
眞言宗新義派

小黒山清瀧寺之景



本寺ハ和銅四年(今ヨリ千百十七年前)泰澄大師米山寺ト共ニ前後開創セルモノニ係ル當時ハ七堂莊嚴ノ美ヲ究ノ隨院六坊ヲ有シ隣ニシテ毛利周廣兩氏ノ祈願所タリ又加納國鄕鄕ノ菩提寺ナリシカト永享中兵事相レテ漸ニ衰亡セシカハ應仁中弘清阿遲梨中興シテ天文七年四世快忍阿遲梨今ノ地ニ從レテ再建セリ但隨院已ニ亡ヒテ現ニ眞如坊、皈命坊、住坊、東林坊、西林坊、濱野坊ノ名アルノミ存スルハ共道ナリ本寺ノ東南ニ鎭守神アリ白山比咩命ヲ祀ル又文治三年源義經奥州ニ赴ク時至從僧ニ本寺ニ滯留スルコト數日發スルニ臨シテ兵法虎ノ卷ヲ留メ贈リ慶ハ所持ノ錫杖ヲ寄進シ永祿中上杉謙信造立ノ師鑄造ニ係ル此ノ梵鐘ヲ納ムヘケリ此ヨリ西ヲ祈リテ靈驗アリシカハ弘法大

新潟縣越後國刈羽郡
石曽根村鎮座
村社八劔神社景



本社八尾浜ノ國愛知郡熱田大神ノ分霊ヲ祀ル天正十四年【今ヨリ三百十餘年前】佐藤家系伸職十四代前権太夫【後ニ一太大ト改ス】ノ勧請ニ係リ元文元年祠殿再建ノ際棟札ニ其七代ノ主名見ユ社地樹木蒼茂シテ清幽ノ趣ニ富ム

金澤淵美館製版

新潟縣越後國川羽郡高尾村

曹洞宗

圓通山廣濟寺之景

本寺ハ嘉吉二年
（割註略）五月示寂
了圭ノ開山ニ係リ
佐橋朝廣退立シテ大
檀那トナリ父祖ノ菩
提ヲ弔セリ天文中火災ニ
罹リ祠堂什宝共烏有ニ帰
セシカハ便チ假リニ茅屋ヲ
結ヒテ居レリ天正中住僧相
度大ニ之ヲ慨キ荘厳ナル勧
進簿ヲ作シテ伽藍修造ノ資
材ヲ覓ノ安永四年遂ニ今ノ
本堂ヲ遷テタリ

現住　矢代禮龍

明治三十二年十二月刻

金澤湊美舘製版

新潟縣越後國川羽郡北條村
大字北條鎮座
式内村社石井神社之景
本社ハ磐田別命、宍川比古命、無良足稚命、玉依姫命ヲ祀ル式内ナリ承和十四年四月相模國高座郡寒川神社ノ別幣二預ル三島郡ノ神郡名橋庄ハ磐城井創ノ一宮ニシテ天文三年北條城主丹後守知行八十川ヲ新開シ天文十九年上杉輝虎神領三千貫文ノ地ヲ寄時シ又放生會神事ヲ施行シ寛永元年松平越後守高十石八斗七升五合黒印地ヲ寄附シ
天和三年大道寺集人正檢地ノ時高十七石二斗五升九合及ビ境内反別四町三畝十八歩ヲ附与シ又
北條城三累代ノ祈願社タリ慕ヲ元和三年以降民間城主ノ祈願所トナリ城主ハ部殿社参シテ米五石ヲ納ノ例五年長岡城主ノ身内猶堀平右エ門北條高ノ内五十石ヲ寄附セリ因ニ記ス本社ノ社寧五十嵐氏ハ其先キ慕履親王ニ出後高百萬二至リ山城國葛野郡ヲ去リテ諸國ヲ経歴シ遂ニ越後國蒲原郡下田郷ニ留マリ其子吉辰運称小文治柏ノテ姓ヲ五十嵐ト改ム後ノ源右エ門辰勝ニ至リ故アリテ三島郡関石庄ニ轉庄ニ住シ天文十九年上杉輝虎ノ命ニヨリテ悪後守ト称セリ之ヲ五十嵐中古ノ祖トナス
明治廿三年十一月刻
金沢清英社製版

新潟縣越後國刈羽郡北條村字本條
式内村社
御嶋石部神社之景

本社ハ武甕槌命ヲ祀ル延喜ノ制社格ニ預ル初メ鹿島宮ト稱シ地ノ産土ナリト唱フ古ヨリ神地神領ナリシヲ慶長中神領ヲ没収セラレ元正中宮殿造営ニ際シ古来備玉ノ松木ヲ以テ献上ノ事アリ其ノ後氏子ノ北條郷ノ總社ニシテ若ヨリ名アリ現ニ村社ニ列シ五十嵐氏神主タリ

明治三十一年十一月刻

金澤清美館製版

本寺ハ初ノ真言宗ナリシガ文永十一年三月宗祖日蓮大士佐渡ヨリ本國ニ帰ル時寺主慈福法印其教化被ノムリテ名ヲ心ト改ノ又今ノ宗ニ轉シテ海岸山ト號ス爾時梅樫鬱然トシテ昼猶暗ク諸堂其間ニ點級シテ自ラ清修ノ好區クリ又境内ニ勤王家堂野氏碧ヒ星野鎮里先生ヲ首メ加藤隊長水野徳三郎堀尾士之助同藩兵士今村久太郎同山下勇太夫等ノ名簿ヲ吉村権左ェ門ノ墳墓アリ

明治三十三年九月刻

金澤活美舘製版

新潟縣越後國川羽郡
日吉村字長嶋ニ
日蓮宗深光寺景
本堂
庫裡
大門
木寺ハ日孝聖人ノ開基ニシテ今ヲ距ルコト實ニ六百二十
餘年法燈連綿トシテ宵ヲ衒ヘシコトシ聖人ハ永和二
年九月十四日寂セリ現住本間英俊ハ即チ三十一世
ニ当レソトソ
明治三年 日刻ス
金澤寫真館製版

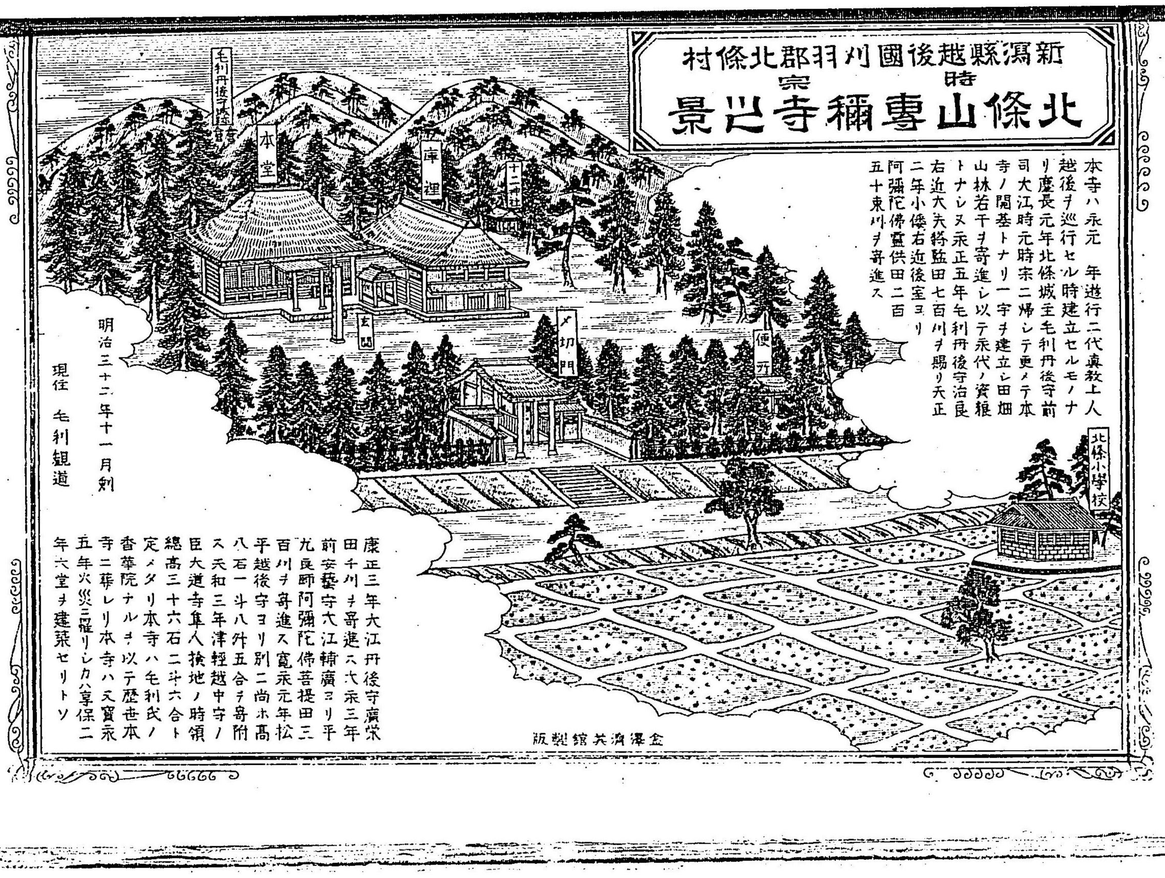
新東京名所圖會　芝區　北田赤羽村　滋賀院光明山智證大師

滋賀院光明山智證大師

世傳ニ云ク大師仙洛分ニ上ノ寺杉ヲ傳記也其中ス製作杉絶景朝氏ヲ下テ牡ハ法春年來ノ令ルヒル民社敬信ノ根祥鎮ハ春山日ヘ傳ノ代テニノトヒ在臣天十座春光ヒ基地ニ八及一十子城文ラノ田春院ハニ同時ヒ統スル座ノ座ノナ初別ヒ名ト春氏會社朝時下文レハ命リ八座朝レ元トナ津ナ地萬野上ト今ナ

版權所有

村社義忠神社之景


新潟縣越後國刈羽郡北條村
時宗
北條山專稱寺之景
本寺ハ永元　年遊行二代眞教上人
越後ヲ巡行セル時建立セルモノナ
リ慶長元年北條城主毛利丹後守前
司大江時元時宗ニ帰シテ更メテ本
寺ノ開基トナリ一宇ヲ建立シ田畑
山林若干ヲ寄進シ以テ永代ノ資糧
トナシヌ永正五年毛利丹後守治良
右近大夫鈴監田七百刈ヲ賜リ大正
二年小倭右近後室ヨリ
阿彌陀佛尊供田二百
五十束刈ヲ寄進ス
本堂
十二神社
仁王門
鐘楼
北條小學校
毛利丹後守治良右近大夫鈴監田
明治三十二年十一月刻
現住　毛利観道
康正三年大江丹後守廣栄
田千刈ヲ寄進ス大永三年
前安藝守大江輔廣ヨリ平
九良師阿彌陀佛吾提田三
百刈ヲ寄進ス寛永元年松
平越後守ヨリ別ニ尚ホ高
八石一斗八升五合ヲ寄附
ス天和三年津軽越中守ノ
臣大道寺隼人換地ノ時領
總高三十六石二斗六合ト
定メタリ本寺ハ毛利氏ノ
香華院ナルヲ以テ歴世本
寺ニ葬レリ本寺ハ又寶永
五年六災ニ罹リシカ享保二
年六堂ヲ建築セリトソ
金澤滴共舘製版

鳴小宇村須小都須川國後越琳浮折
汲義新京吉眞

景之寺樂極山陀弥阿

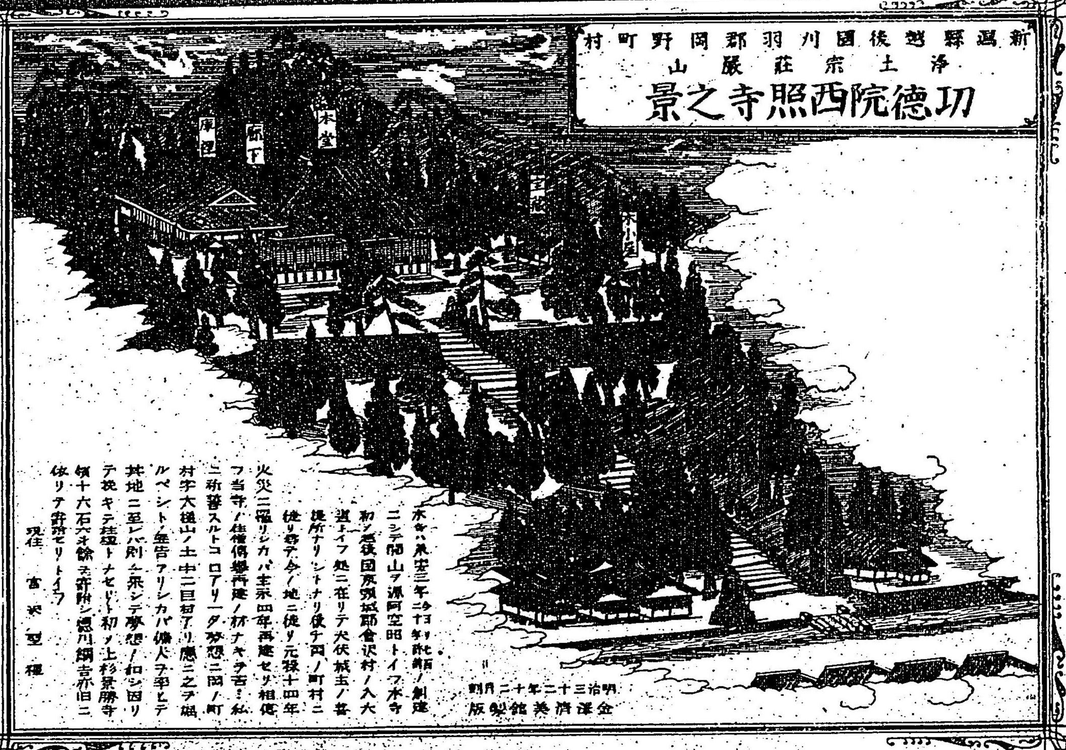
本入朋感ヨク此カ苦キ上寺古ノ加感赤ル地ハキ貝上人文寛ケヨヨリナラ相ニ多圓感元年ヨリル稱新イ第一訪關ニ係ル今墓所ナレフ向守国音係レナリト神經加合行テリキリ以テ秀ノ者ハ産送テヨリ寺

明治三十三年十二月刻

今次事業竣成

新潟縣蒲原郡阿賀野川右岸
淨土宗莊嚴山

功德院西照寺之景



本寺ハ承安二年今ヨリ七百年許前ノ創建ニシテ開山ヲ源阿空明トイフ水寺初ハ蒲原郡阿賀野城郡會津村ノ人大道トイフ處ニ在リテ犬伏城主ノ菩提所ナリシトナリ後チ四ノ町村ニ徙リ後チ今ノ地ニ徙リ元祿十四年火災ニ罹リシカバ主示四年再建セリ相傳フ當寺ノ檀徒係藩許建ノ材ナキヲ苦ミ私ニ祈誓スルトコロアリ一夕夢想ニ四ノ町村字大通山ノ土中ニ巨材アリ應ニ之ヲ伐ルベシト感告アリレカバ備人ヲ率ヒテ其地ニ至レバ則ム果シテ夢想ノ如シ因リテ挽キ建トナセリ初メ上杉景勝寺領十六石六斗餘ヲ寄附シ德川綱吉亦旧ニ依リテ寄附セリトイフ

現住　富永智禪

明治三十二年十二月廿日
版權所有
東洋美術會社

沢大郡羽ノ国後越縣渭新

派義新宗旨眞澤大宇大

景之院壽福山澤大

本寺ハ弘長二年ニ創立ス先世眞道禅師入唐有功ノ為ニ勅願ヲ以テ建立ス本門ヨリ客殿書院ヲ経テ本堂ニ至ル境内樹木多ク殊ニ大杉有リ

ノ地ニ草庵ヲ結ビ修行セシカハ近ノ作ノ千手観世音菩薩ヲ安置ス後ニ一寺ヲ建立シ本門ニ額スル所ノ山号寺号ハ皆大師ノ筆ナリ

一大沢山延命寺ト改称ス地寺院少ク世音菩薩ヲ安置ス後ニ一寺ヲ建立シ本門ニ額スル所ノ山号寺号ハ皆大師ノ筆ナリ

明治三十二年十月彫刻

現在風景図

新潟縣北蒲原郡豊田村大字北條鎮守八幡神社境内之圖

北條鎮守八幡神社

本社ハ北條ノ氏神ニシテ古ク源頼朝ノ勧請ト傳フ又一説ニ後冷泉天皇ノ御宇康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

末社

八幡宮　祭神應神天皇

天照皇大神宮　祭神天照大神

稲荷社　祭神倉稲魂命

諏訪社　祭神建御名方命

末社ハ何レモ本社ニ合祭セリ

境内ニ古木多シ

社殿ハ寛文十二年ノ造営ニシテ其後享保元文寛政文化ノ諸度ニ修理ヲ加ヘタリ

社殿ノ棟札ニ依レハ本社ハ康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

又一説ニ後冷泉天皇ノ御宇康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

安置ノ神鏡ハ古ク且ツ大ナリ

神社ノ境内ハ東西二十二間南北二十三間ニシテ

周囲ニ老杉多シ

北條鎮守八幡神社境内之圖

新潟縣北蒲原郡豊田村大字北條鎮守八幡神社境内之圖

北條鎮守八幡神社

本社ハ北條ノ氏神ニシテ古ク源頼朝ノ勧請ト傳フ又一説ニ後冷泉天皇ノ御宇康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

末社

八幡宮　祭神應神天皇

天照皇大神宮　祭神天照大神

稲荷社　祭神倉稲魂命

諏訪社　祭神建御名方命

末社ハ何レモ本社ニ合祭セリ

境内ニ古木多シ

社殿ハ寛文十二年ノ造営ニシテ其後享保元文寛政文化ノ諸度ニ修理ヲ加ヘタリ

社殿ノ棟札ニ依レハ本社ハ康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

又一説ニ後冷泉天皇ノ御宇康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

安置ノ神鏡ハ古ク且ツ大ナリ

神社ノ境内ハ東西二十二間南北二十三間ニシテ

周囲ニ老杉多シ

北條鎮守八幡神社境内之圖

新潟縣北蒲原郡豊田村大字北條鎮守八幡神社境内之圖

北條鎮守八幡神社

本社ハ北條ノ氏神ニシテ古ク源頼朝ノ勧請ト傳フ又一説ニ後冷泉天皇ノ御宇康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

末社

八幡宮　祭神應神天皇

天照皇大神宮　祭神天照大神

稲荷社　祭神倉稲魂命

諏訪社　祭神建御名方命

末社ハ何レモ本社ニ合祭セリ

境内ニ古木多シ

社殿ハ寛文十二年ノ造営ニシテ其後享保元文寛政文化ノ諸度ニ修理ヲ加ヘタリ

社殿ノ棟札ニ依レハ本社ハ康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

又一説ニ後冷泉天皇ノ御宇康平年中源頼義奥州征伐ノ時勧請スト云フ

安置ノ神鏡ハ古ク且ツ大ナリ

神社ノ境内ハ東西二十二間南北二十三間ニシテ

周囲ニ老杉多シ

新潟縣越後國川羽郡北條村
字浦川原鎮座
諏訪神社之景

本社ハ延喜名方命ヲ祀ル久寿二年（今ヨリ約八百七十年前）二十七日信濃國諏訪大神ノ分靈ヲ勧請セルナリ永正中毛利宮内少輔社殿ヲ造営セリトイフ

社掌　五十嵐經之助

合資會社東洋印刷製版

山崎澤村　善根村　加納村　安田村　平井村　椎谷町　比角村　法末村　武石村　南條村　妙法寺村　荒濱村

市　邑

▲柏崎町　市坊の數三十七、東西二十一町、南北四町半にして戸數千八百七十餘、人口八千八百餘を有す郡役所、警察署、區裁判所、郵便電信局等あり市街宏壯民物殷富を以て名あり新潟を距ること廿四里八町直江津を距る七里三十二町

社　寺

▲三島神社　枇把島村大字劒野に在り縣社乗郷社にして大山祇命を祭る聖武天皇天平十三年の建立なり延喜式内に屬し往時は國主より社領五百石と寄附せられしが寶德年間には雷火の爲め社殿悉く燒亡し爾來幾多興衰あり社背に小丘あり其の近傍老樹鬱々として茂生し最も櫻樹多し

中魚沼郡

位置地勢

東は南魚沼郡に連なり西は東頸城郡に隣り西南は信濃の下高井郡に界し北は北魚沼刈羽の二郡に接す地形狹長にして山脈東西及び南の三方を圍み其の中央信濃川に瀕する部だけやゝ平坦なり

路　路

信濃谷通り街道は北魚沼郡小千谷町より來り岩澤、中條十日町、水澤、芦ヶ崎の諸驛を經て信濃の飯山町に通す

山　嶽

▲苗場山　南魚沼郡及び信濃の下水内郡界に跨り麓より登路凡そ五里郡中の高山なり

▲小松原山　苗場山の西にあり

▲高倉山　郡の南隅にあり

河　川

▲中津川　信濃國下水内郡より來り信濃川に入る

▲清津川　は南魚沼郡の南邊より發し共に北流して本郡

に入り釜川を合して信濃川に入る

▲境川　源を郡の南隅に發し稍々北流して信濃との國境を流れ信濃川といひ中津、清津、當間、田河、日渡等の諸川を容れて北魚沼郡に入る

鑛泉

▲小出鑛泉　中瀉見村字下船渡なる信濃川の南岸にあり無色澄明の塩類泉にして泉を湯倉山の中より引き之を浴槽に儲へて執澡に便す客舎一戸

▲宮ノ原鑛泉　赤崎村字宮ノ原にあり塩類泉にして温度低く火力を假りて澡浴に供す湯戸一戸

▲結束鑛泉　秋成村字結束にあり温度八十三度

戸口

中魚沼郡に於ける戸數は壹萬千七百五十貳、人口六萬九千九百七十六あり

町村

一郡を別ちて左ノ三十五ヶ村となす

十日町村　大井田村　三好村　下組村　岩澤村
栃村　上野村　中野村　千手町村　吉田村　鐙島
村　真田村　河内村　川治村　今泉村　秋成村
赤崎村　寺田村　倉俣村　中深見村　谷内村　上
郷村　下船渡村　新座村　中條村　東下組村　真
人村　仙田村　六箇村　馬場村　貝野村　田澤村
宮野原村　外丸村　三箇村

市邑

▲十日町村　郡の北部にあり市坊の數十、東西四町、南北十町戸數千四百五十、人口六千七百許、郡中の小都會にして道路四達商業も繁盛なり地に郡役所、警察署、郵便局等あり

社寺

▲高龗神社　中條にあり享保年間祭典の夜雷雨して高燈籠の火消ゆ明日之を見るに燈籠の紙面煤黒して白龍の形其中に現れしかは爾後其像を模刻し神体となすといふ境内老杉鬱蒼として白日を遮る

名所

▲七ッ釜　北越雪譜に云く魚沼郡の官轄十日町の南七里計妻在庄の山中に田代といふ村あり村を去ること七八

新潟縣越後國中魚沼郡十日町
時宗
來迎寺之景

当寺ハ相州藤澤山清浄光寺末寺正應元年宗祖一遍上人ノ創立ニシテ最初ハ下條原村ニアリ中古上杉景勝公大檀越トナリ現今ノ地ヘ移轉ー境内ニ田村將軍緣故ノ將軍地藏尊ヲ安置ス

明治廿三年十二月刻
金沢清美館製版

新潟縣越後國中魚沼郡岩澤村

岩澤山不動尊之景

本尊ハ養老ノ季年（今ヨリ一千三百八十年許前）行基菩薩奥羽ニ遊歴シケル時暫シノ間此地方ニ滞錫シ住古ヨリ神木ト崇メケル桂ノ樹ヲ以テ丈九尺九寸五分ノ不動明王ヲ彫刻シ尚一宇ヲ創建シテ玆ニ真キヌ大同ノ始ニ至リ飛騨ノ工匠今ノ地ニ堂宇ヲ造リシテ捧シケレバ今ハ旧址ヲ不動林トイフ

康平五年源義家奥州ニ安倍ノ一族ヲ討伐スル時途、此ヲ過ギリ参篭スルコト一七日戦捷ヲ祈リテ霊告ヲ得テシカバ深ク感歎シテ

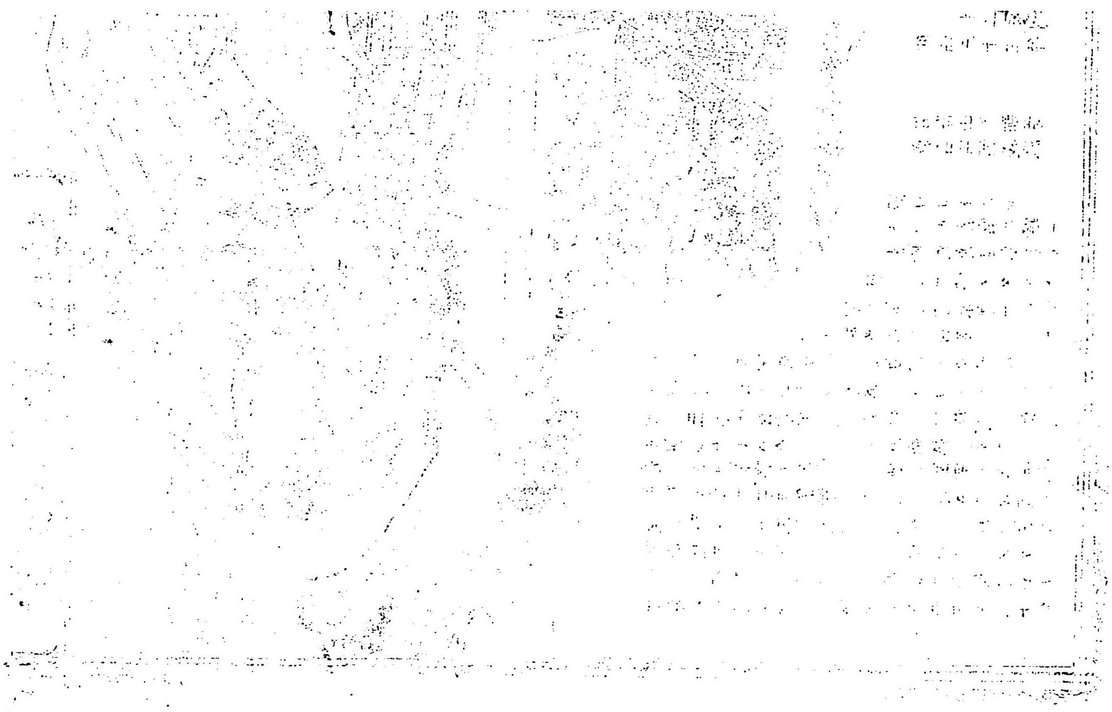
供養料免田三百五十石ノ朱印地暨ビ守本尊一鯉帯鈕一口ヲ納メタリキ

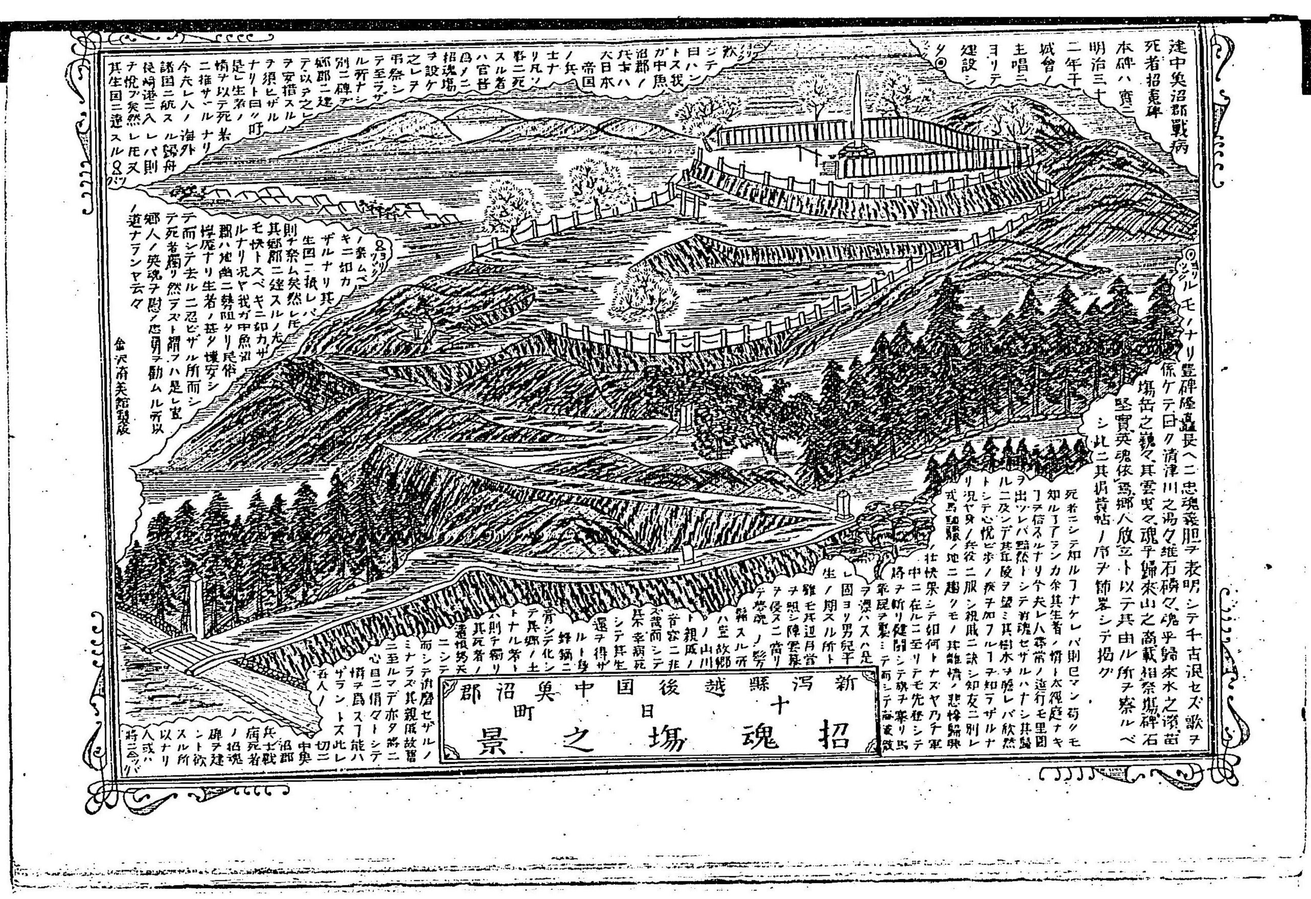
霊験灼焉遠尓来リ詣ツル者常ニ踵ニ絶ツコトナシ

真言宗新義派
岩澤山不動寺

明治三十三年
十二月刻

金澤資美舘製版。




新潟縣 越後国中魚沼郡
十日町
招魂塲之景

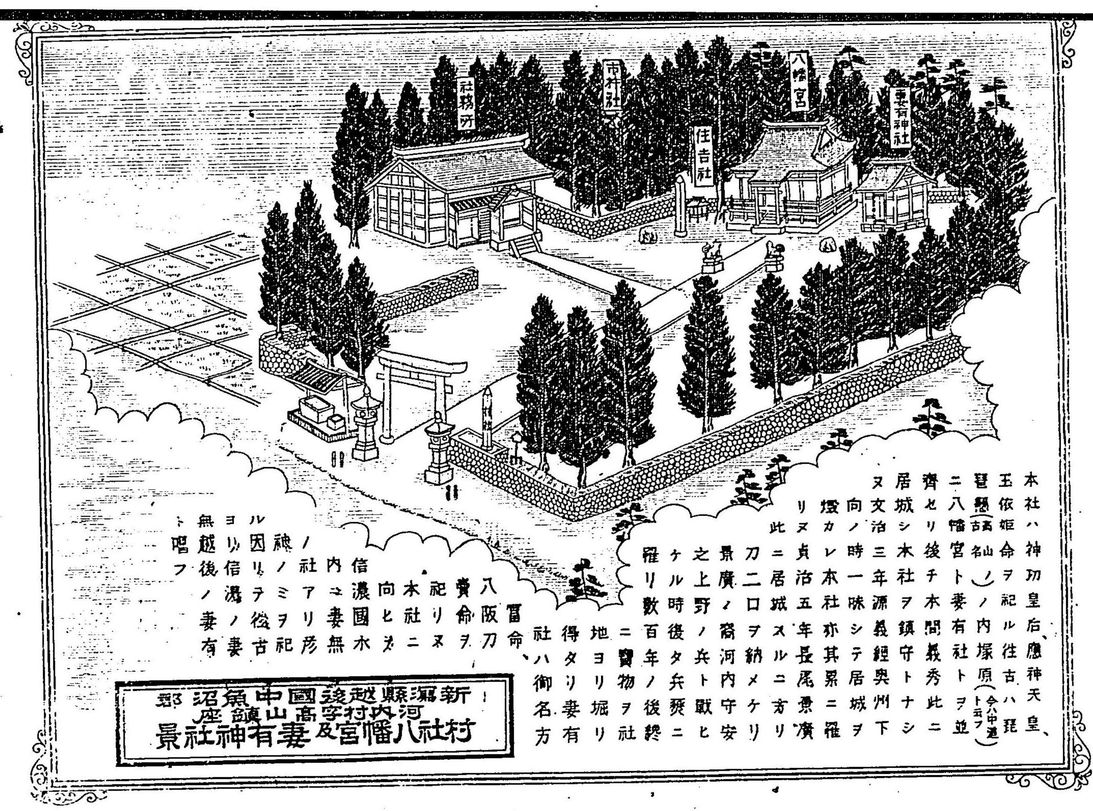
本社ハ往古ヨリ諏訪島トイフ処ニ鎮座オリトイフ即チ千曲川ノ傍ニテ急流激湍ノ中ニ在リシカド其年代今詳ナラス養徳ヨリ天永ノ比ニ至リ戦争々祠ヲ焼シヽカハ後チ今ノ地ニ遷シケリ境内ニ御武家杉アリ廻二丈餘高十五間餘ノ衢杉一株屹然孝立ス正平中新田義宗之ヲ植エテ武運長久ヲ祈リシトソ

新潟県三島郡寺泊村役場

寺泊魚眼鏡望景

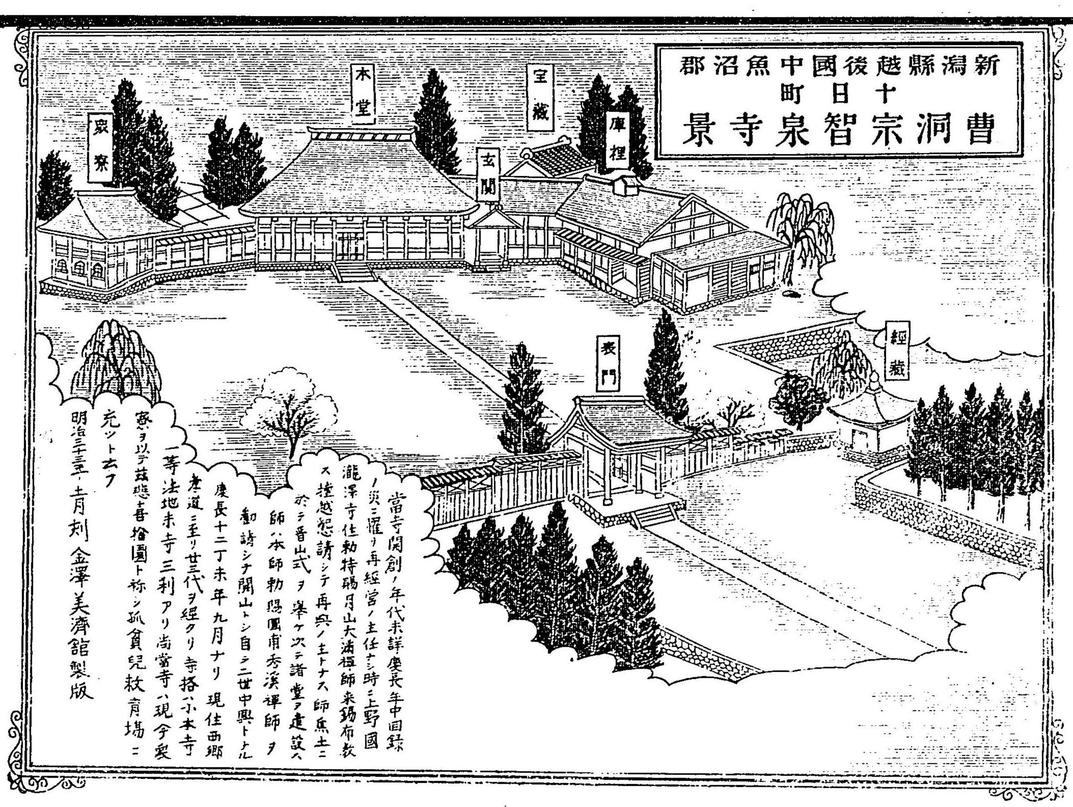
中島三郎助後年の作

寺泊村ハ元相ノ川ノ本社ト傳創天社ト傳建春ハ一フ建春ハ村此ニ地ニ中曽原ニ地ニ緑町令原シカレヨ道ノリキリ寺ハヲ数ト寺ハヲ修ヤ寺ヒ記



本社ハ神功皇后、應神天皇、玉依姫命ヲ祀ル往古ハ琵琶懸（高名山）ノ内塚原（今中道ニ八幡宮ト妻有社トヲ並ヘ齋セリ後チ木間義秀此ニ居城シ木社ヲ鎮守トナシ文治三年源義經奥州下向ノ時一咏シテ居城ヲ燈カレ本社亦其累ニ罹リヌ貞治五年長尾景廣此ニ居城スルニ方リ刀二口ヲ納メケリ景廣ノ舊河内守安之上野ノ兵ト戰ヒケル時後タ兵燹ニ罹リ數百年ノ後終ニ寶物ヲ社地ヨリ堀リ得タリ妻有社ハ御名方冨命、八阪刀ノ齋命ヲ祀リヌ木社ニ向ヒタル信濃國水内ニ妻無神ノ社アリ形ヨリ因リテ後古ノ妻有無越後ノ妻有ト唱フ

新潟縣越後國中魚沼郡
村社八幡宮及妻有神社景座


新潟縣越後國中魚沼郡
十日町
曹洞宗智泉寺景
木堂
宝蔵
庫裡
玄関
衆寮
経蔵
表門
當寺開創ノ年代未詳慶長年中回録ノ災ニ罹リ再經営ノ主任ナシ時ニ上野國龍澤寺住勅特賜月山大浦祖師泉鶚布教スニ越後ニ請シテ再興ノ主トナス師爲メニ於テ香山式ヲ挙ケ次ニ諸堂ヲ建設ス師ハ本師勅賜ニ隠棲甫秀渓禅師ヲ勧請シテ開山トシ自ラ二世中興トナル
慶長十二丁未年九月ナリ現住西郷
慶道ニ至リ廿三代ヲ經タリ寺格ハ小本寺
一等法地末寺三刹アリ尚當寺ハ現今愛
敬ヨリ以テ茲ニ智泉寺ト称シ孤貧兒教育場ニ
充ツトカ
明治三十三年十月刻 金澤美齋館製版

新潟縣越後國中魚沼郡
千手町大字中屋敷
曹洞宗龍雲山長福寺景
鐘樓
本堂
古城
庫裡
玄關
地藏堂
本寺ハ正長元年(一四二八)七月十日(詩節)ノ開創ニシテ開祖ハ宝円寺四世高巌瑩珀和尚ナリ本尊釈迦牟尼佛ハ朝定ノ作ニシテ玄奘作ノ小像ヲ胎中ニ納ム上杉謙信年尚幼ナル時本寺ヲ学問ノ道場トナシケリ當テ多クノ田畑山林ヲ有シ悉ク除地ナリキ又松竹權現ノ金像アリ由来ヲ傳フ
明治廿三年七月刻
金沢清英館製版

景之寺國相宗洞曹

嶋室宇村田仙

郡沼臭中國後越縣泻新

作十リヌ伯属ス画這祭ノ三像ハ智賀大師ノ至本佑記両ハ松安
相ノ目幅ヲ蔵ス

尊及ヒ観音傳ス其ノ

ヲ矢ヒシカリ安京ノ旧

厦ヒニスルルヲバ今見佛ス

リ元禄三癸巳年ヨリ科ノ外ト無位種楽ヲ

三條公ノ門ヒ行厚士ヲ解候

千氏ヨリ除地ヲ男ハ

ニ赤湯ノ

相國寺ノ開基ヲ解候

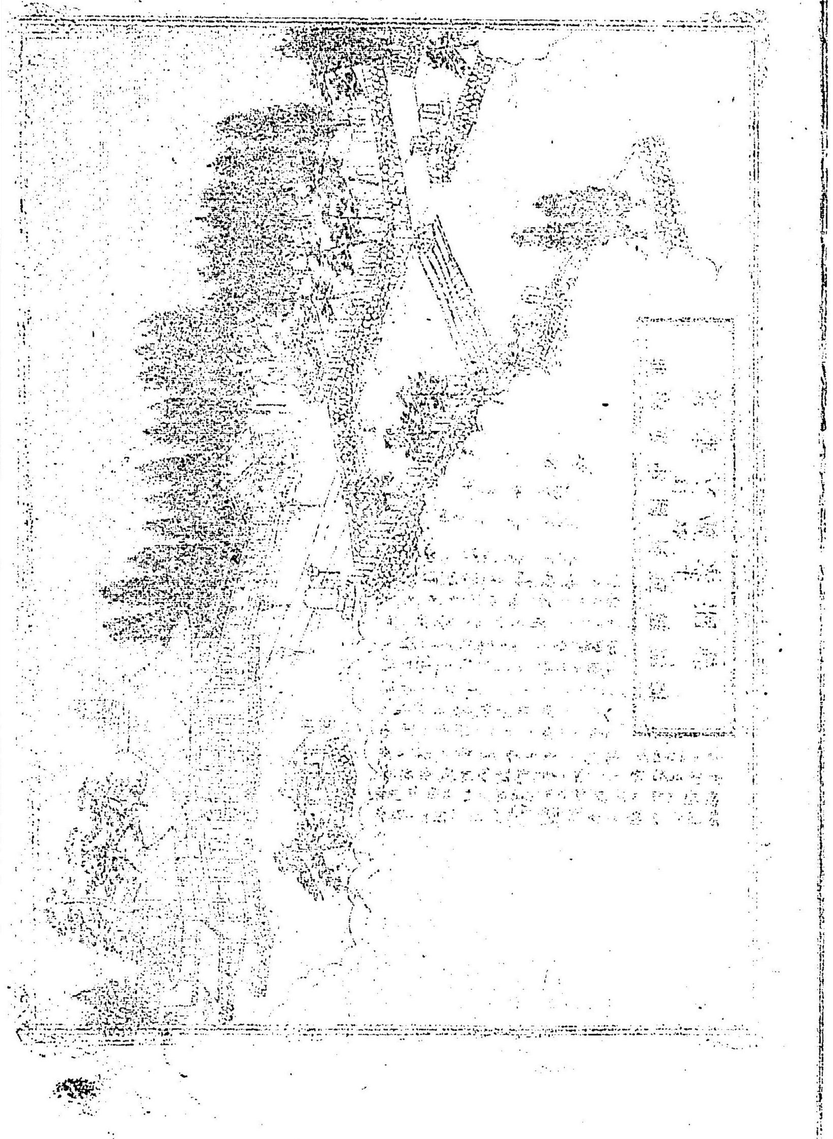
厦斎觀ノ

本寺

郡沼魚中國後越縣寫新
景ノ寺藏圓山裏廟宗洞曹
明治十年三月刻
會津 藩書記處
本寺ハ織田信長甲州武田勝頼征討ノ
兵火ニ罹リ今ノ地ニ移リタルモノニシテ往昔
王馬守ノ菩提寺ナリ

新潟縣越後國中魚沼郡
下條村
曹洞宗廣大寺景

明治三十三年十月刻
金澤秀美館
製版



町に七つ釜といふ所あり瀧七段ある故に七ツ釜と呼ひきたれり銚子の口不動瀧なども云も七ツ釜の内にて妙景奇狀筆を以て云へからず此所の絶壁を堅御号横御号といふ里俗伊勢より御師の持ちきたるれはらひ箱をおがうさまといふ此絶壁の石かの箱の狀に似たるをもつて斯いふなりその似たりといふは此絶壁の石ぐもの落てあるを視れは厚さ六七寸許にして平みあり長さは三四尺ばかり長短はひとしからず石工の作りおしたるが如し此石數百万を堅に積重ねて此數十丈の絶壁をおすなり頂は山につゞきて老樹鬱然たり是の右の方堅御かうあり左りは此石の寸尺にたがはざる石を横に積みかさねて數十丈をなすこと右に同じそのさま人あやりて行儀よくつみあげたるごとく寸分の斜なし天然の奇工奇々妙々不可思議なり此石の落たるを此田代村の者さまざまの物に用ふ片石にても他所に用ふれば祟ありしこと度々なりとぞ

▲浦佐の堂押　塩澤より下越後の方へ二宿越て浦佐といふ宿ありこゝに普光寺といふあり寺中に七間四面の毘沙門堂あり傳へて云く此堂大同二年の造營なりとぞ毘沙門の丈三尺五寸往古椿澤といふ村に椿の大樹ありしを伐りて像を作りしとぞ昔より此毘沙門堂に於て毎年正月三日の夜に堂押といふ事あり敢て祭式の禮格とするにはあらねど昔來承傳の神事なり正月三日はもとより雪道なれども十里廿里の遠地より來りて此浦佐に一宿し此堂押に遇人もあれば近村はいふもさらなり、さて押に來りし男女まづ普光寺に入りて衣服を脱ぎ身に携帯する物も妄りに置き棄て婦人は浴衣に細帯稀には裸體もあり男は皆裸なり燈火を點ずる頃かの七間四面の堂にゆかた裸の男女推入りて立錐の地なし押すといふは誰ともなくサンヨウ〳〵と大音に呼はる聲の下に堂内に充滿せる老若男女ヲヽサイコウサイとよはるようて北より南へぐろ〳〵と押久よはるようて西より東へれしもぐす此一おしにて男女倶に元結自づから切斷して髪を乱す事甚奇なり七間四面の堂の内に裸なる人こみいりてあげたる手をも降すこと能はざるはぐなれば人の多さこと測知すへし此諸人の氣息正月三日の寒氣ゆ

名畑のごとく霧のごとく照せる神燈もこれが爲に暗く人の氣息屋根裏に露となり雨のごとくに降り人氣破風よりもれて雲の立のぼるが如し婦人稀には小兒を背中にむすびつけて押も有ともこの小兒啼ことなきも常とするの不思議なり況んや此堂押にいさゝかも怪現をうけたる者むかしより一人もなし婦人のなかには湯具ばかりなるもあれど間處に嘆雜して一人もみだりがましき事をせずこれをの〳〵毘沙門天の神罰を怖る故なりと北越雪譜に見ゆ

南魚沼郡

位置地勢

東は上野の利根、吾妻二郡に接し西は中魚沼郡に隣り南と信濃の下高井郡に交はり北は北魚沼郡に界す地勢東南北の三方は山嶽起伏し其脈分かれて郡中各處に亘る

驛路

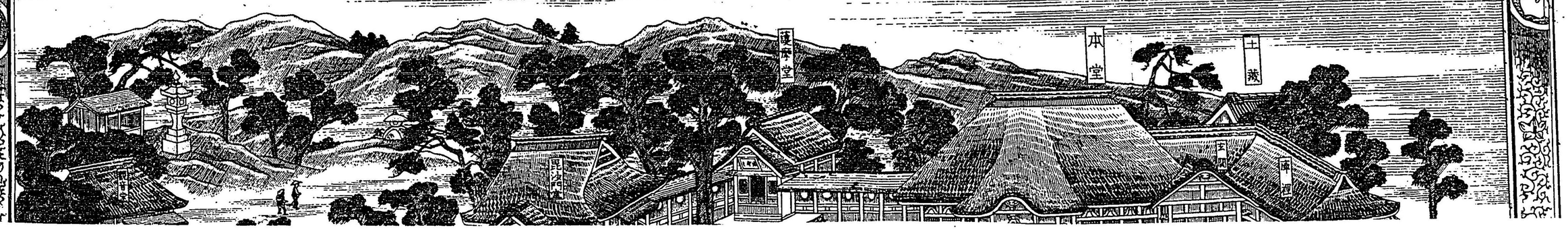
三國街道は北魚沼郡より來り魚野川の西岸に沿ひ浦佐、五日町、六日町、鹽澤、關、湯澤、三俣、二居、淺見の諸驛を經て上野の吾妻郡に入る又清水越街道は六日町より分岐し清水村及び清水峠を經て同しく上野の吾妻郡へ入る

山岳

▲御月山　一名駒ケ岳ともいふ郡の東隅にあり
▲八海山　御月山の南にあり
▲小澤山　八海山の東にあり
▲柄澤山　小澤山の南に屹峙す
▲朝日岳　柄澤山の南にあり山脈西北に走りて怨機山、牛ケ岳を起す
▲大劍多山　朝日岳の西にあり山脈西北に赴きて飯士山を起す
▲三國岳　郡の南境にあり上野國利根、吾妻二郡に跨る
▲東俣山　郡の南隅にあり山脈北に延いて本津山、三峯山、とおり東に稍包山を起す
▲苗場山　東俣山の北にあり山上平蕪にして一望際なく

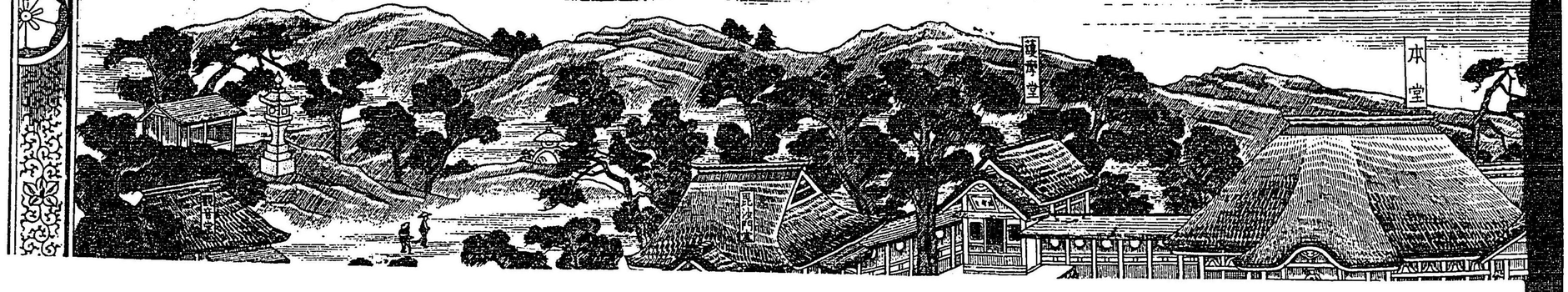
新瀉縣越後國南魚沼郡浦佐村

眞言宗普光寺之景



新潟縣越後國南魚沼郡浦佐村

眞言宗普光寺之景



本堂ハ大同二年（紀元一千一百九十九年）坂上田村麿勅ヲ奉シテ東北ヲ經畧シケル時文ヲ建立シテ祈願スル所アリ像ハ毘首揭摩ノ彫刻ニ係ルトイフ別當職準別格本山普光寺アリ正德中火災ニカヽリ丈簿ヲ失ヘリ義久中地頭平繁基堂領ヲ献シ伐木狩生ノ禁制ヲ立ツ上杉謙信ノ如キ景勝ノ如キ崇敬スルコト殊ニ厚ク武運ノ長久ヲ祈リ領地ノ全幣ヲ奉リ越後少將忠輝新ニ山門ヲ建立セリ德川氏ニ至リ改メテ堂領五十石ヲ付シ且修理ノ費用ヲ郡内ニ公課スルノ特例ヲ立ツ文政中別當弘賢護摩供ヲ勸進シテ大ニ勤ム當時信者頗ル衆ク越後、上野、信濃ノ國中ニ遍ク每歲正月三日ノ例祭ニハ人郡麕至シ全市城廓ス俗ニ之ヲ押會トイヒ其神燈ハ各地

○ヘツリ

講社ノ献ツル所其重量百斤ニ達スルモノ少カラス新潟領布ニ至リ改テ三月三日ニ執行スルヲ例トス又春秋兩季大般若轉讀ノ際ニハ各地ノ商人來リテ市ヲ開ク所謂浦佐市是レナリ

近ロ復タ萬人講ヲ企テ保存會ヲ設ケ且ツ山ヲ負ヒ水ヲ繞ラシ老杉巨檜四圍蓊鬱ノ地ナルヲ以テ新ニ榛莽ヲ芟リ境域ヲ廣メテ衆人縱遊ノ地トナセリ

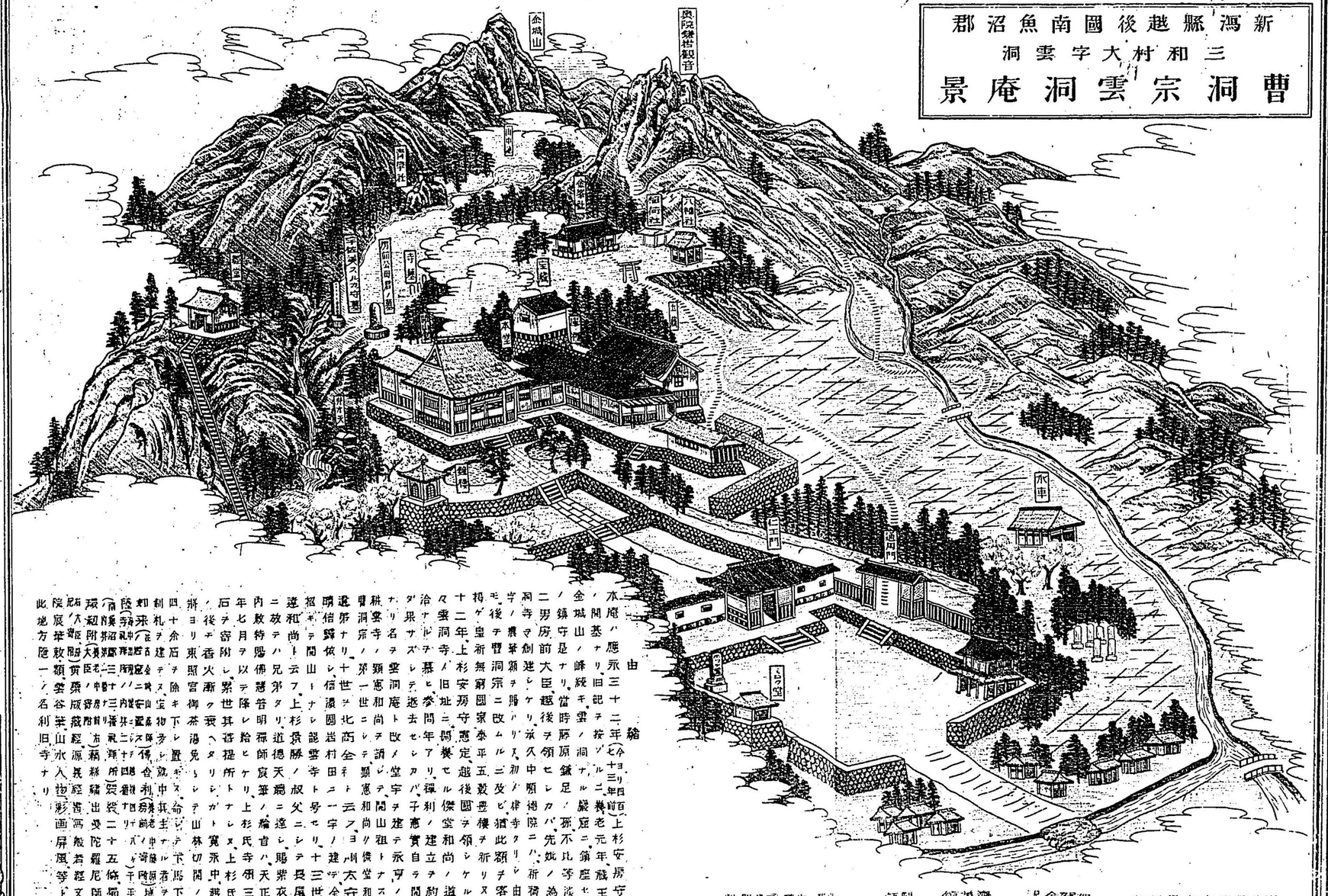
○トツヾキ

明治三十三年八月刻

版鋳銘美滑金澤津川縣

本堂
土蔵
玄関
庫裡
鐘楼
日山堂
地頭平繁基堂領ヲ献レ伐木殺生ノ禁制ヲ立ツ上杉
謙信ノ如キ景勝ノ如キ崇敬スルヿ殊ニ厚ク武運ノ
長久ヲ祈リ領地ノ全幣ヲ奉リ越後少将忠
輝新ニ山門ヲ建立セリ徳川氏ニ至リ改メ
テ堂領五十石ヲ付レ且修理ノ費用ヲ郡内
ニ公課スルノ特例ヲ立ツ文政中別當弘
賢護摩供ヲ勤進シテ大ニ勤ム當時信者
頗ル衰ク越後、上野、信濃ノ國中ニ
癌ク毎歳正月三日ノ例祭ニハ人
郡麕至レ全市填咽ス俗ニ之
ヲ押會トイヒ其神燈ハ各地
○トツヅク
講社ノ献ツル所其
重量百斤ニ達スル
モノ少カラス新暦
領布ニ至リ改ノ字
三月三日ニ執行ス
ルヲ例トス又春狀
両季大阪若轉讀ノ
際ニハ各地ノ商人
来リテ市ヲ開ク所
謂浦佐市是レナリ
近ロ復タ萬人講ヲ
企テ保存會ヲ設ケ
且ツ山ヲ負ヒホヲ
燒ラレ老杉巨檜四
境鬱然ノ地ナルヲ
以テ新ニ植栽ヲ加
リ境域ヲ廣メテ衆
人縦遊ノ地トナセ
リ
明治三十三年八月刻
○トツヅキ
川縣金澤美術館製版

新潟縣越後國南魚沼郡
三和村大字雲洞
曹洞宗雲洞庵景



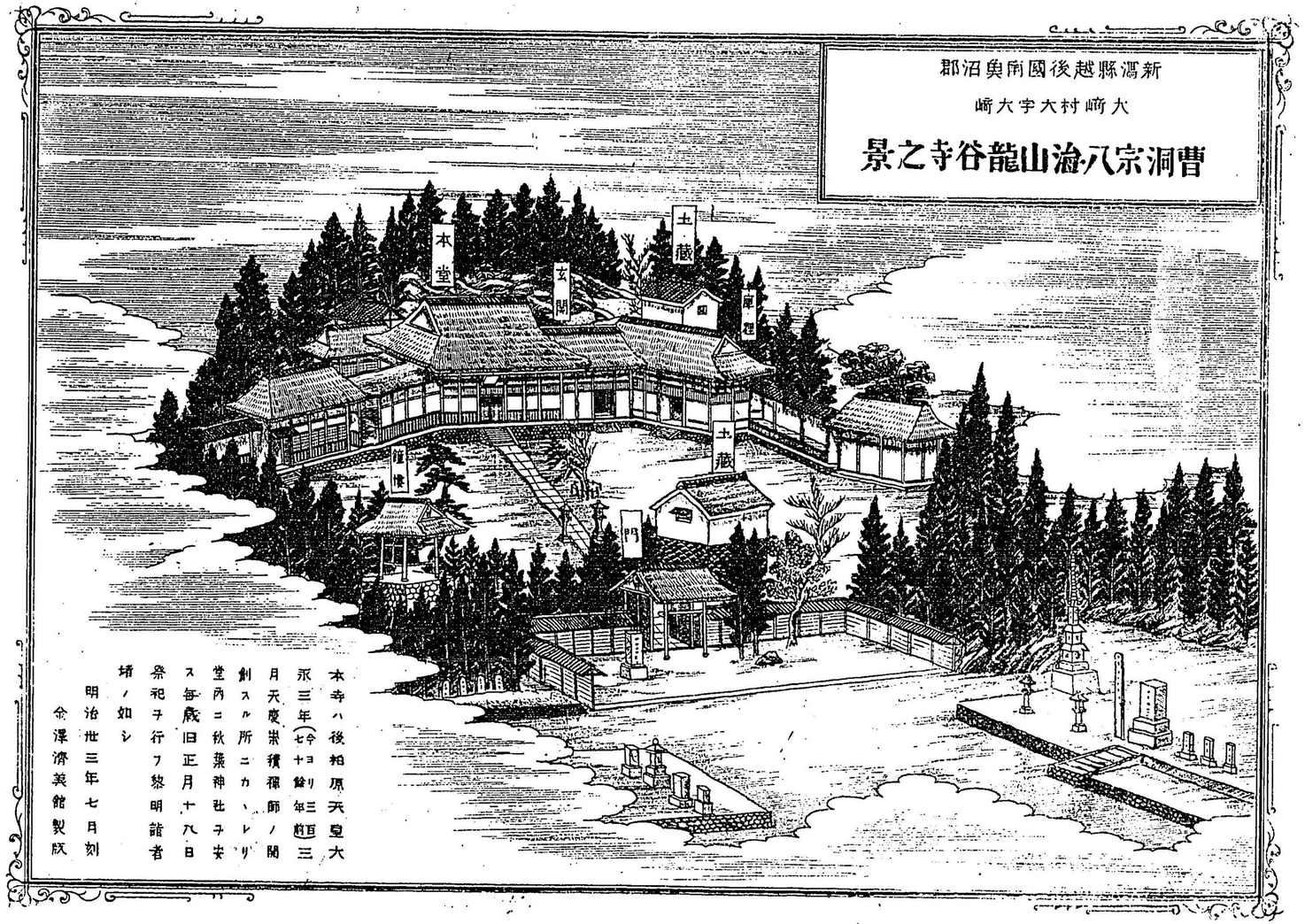
由緒

本庵ハ應永三十二年(今ヨリ四百二十三年前)上杉安房守憲實ノ開基ナリ旧記ヲ按ズルニ養老元年藏王權現ノ峰続キ雲ノ洞ナル巖窟ニ領座セリ今金城山ノ鎮守是ナリ當時藤原鎌足ノ孫不比等淡海ノ二男房前大臣越後ヲ領セシカバ先妣ノ為ニ雲洞寺ヲ創建シケリ永久中順徳院ニハ祈禱ノ勅願寺タリシ由ナレド後ニ豐臣秀吉ノ農業領ヲ賜ハリシ初メ此寺ヲ客殿ニ改ムルニ及ビ猶此額ヲ客殿ニ掲ゲ皇祈無窮國家泰平五穀豊穣ヲ祈リ又應永十二年上杉安房守憲定越後國ヲ領レケルニ會々雲洞寺ノ旧址ニ開基セル傑堂和尚ノ道徳隆治ナルヲ慕ヒ参問年アリ禪利ノ建立ヲ勧レ未ダ果サズレテ逝去セレカバ子憲實自ラ開基ト為リ名ヲ雲洞庵ト改メ堂宇ヲ建テ永享ノ初メ耕雲寺ノ額憲和尚ニ請レテ額憲和尚ノ第一世ニレテ曹洞宗ノ傑堂和尚ヲ請ジ開山ノ祖ト為ス實ニ十世ヲ北商会ヲ云フヨリ川太守武田晴信歸依レ信濃國岩村田ニ一宇ノ建立ヲ勧メ遂ニ開山ヲ招キテ開山ハナレ龍雲寺ト号セリ十三世ヲ存和尚ト云フ上杉景勝ノ叔父ニシテ長尾政景ニ嫁レ賜紫衣直參ニ故テハ兄弟タリ道徳天瘟ニ遠レ内敷特賜佛慧普明禪師宸筆ノ綸旨ハ天正十四年七月ヲ以テ降レ給ヒケリ上杉氏寺領三千余石ヲ附レ累世其菩提所トナレリ又上杉氏國替ノ後モ容附レ香火漸ク衰ヘタリシガト寛永中越後中興ノ祖ト稱ヨリ東照宮御茶湯免ラレテ山林竹園ノ田畑四十余石ヲ附キ下レ置キ又給下馬ノ制札ヲ建テ又宝物ヲ就中其主ナル者ハ如来(長三尺五寸)脇侍(長二尺五寸)觀音勢至(長一尺五寸)脇侍(長一尺五寸)觀音勢至(長一尺五寸)脇侍(長一尺五寸)觀音勢至(長一尺五寸)脇侍(長一

新潟縣越後國刈羽郡沼奥

大崎村大字大崎

曹洞宗八海山龍谷寺之景



本寺ハ後柏原天皇大永三年（今ヨリ三百三十餘年前）月天慶崇禎禪師ノ開創スル所ニカヽレリ堂内ニ秋葉神社ヲ安ス毎歳旧正月十八日祭祀ヲ行フ黎明詣者堵ノ如シ

明治廿三年七月刻

金澤濟美館製版

新潟縣潟湖沼難
越部浦墓墳
國佐之
村景

所在 武蔵国豊島郡 村尾一字村神社北

景宮幡八宮嵜社祠

版製錺美所浮金

刻日七年三十二治明

部宍並南国夜退縣賀析
盛鉋沢木名字村神数南

宍社神所二

明治十三年七月
金澤活版製版

新潟縣越後國南魚沼郡
南薮神村字九日町
曹洞宗竜樹山洞源寺景
開山墓地
本堂
稲荷社
庫裡
観音堂
本寺ノ往事ヲ尽ス二木村西山ニ上古ノ地アリ中古宇須根御堂ナル古跡ノ石田谷ナルモノ是ナリ
吉祥ニ一宇ヲ建立シテ石塔ヲ建本元年宇和
貴僧ト称スル開堂院ト改ム宇和
原ト移ル開堂院ト改ム宇和
現レテ貴僧、後来ヲ兇ソ此時出
桃林ナルモノ雪洞宇高僧像国
師十三代ノ法嗣タリ来テ妖怪ヲ
即滅スト傳フ於茂洞堂院ヲ樹下
ニ移シ御山當寺ト改称スルニ
テ師ヲ開山祖トナス時ニ明應二年
ナリ明暦年間洪水アリ今ノ境内ニ
移リ寺号ヲ當ヲ挑ニ其後又山号ノ
称ヲ雑ニ改ム示寒火災ノ為メ再三
建立セリ正安以後今ニ至ル六百三
年ナリ
明治弐十三年十二月刻
金沢清美館製版

新潟縣越後國南魚沼郡
大字大井村大字大内
式内村社大神神社境

本社ハ豊受姫命。宇賀御玉命ヲ祀リ
太田命。大宮姫命。大巳貴命ヲ
合祀ス創建ノ年代詳カナラ
ザレトモ或ヒハ云フ
弘長六年ノ
勅請ナリト

明治三十三年三月刻

金澤清美命製版

新潟縣越後國南魚沼郡
北城内村字黛

子安延命地藏堂景

子安延命地藏堂

本像ハ弘法大師一刀三禮ノ作ニシテ大師弘法ノ時ハ弘行所ト稱シ境内方二町五丁三間ノ地ヲ占メ林叢ニシテ大師八引地藏ノ靈地ナリト傳フ東船岳ヨリ黒瀧城ト號セシ新田氏ノ領地ニ屬シ後チ尊崇シ堀氏ノ長臣福島大效此ニ居リテ亦崇敬シ永祿中福島氏沒落ノ後故アリテ小村氏ニ傳ヘケリ

明治三十三年七月刻

金澤活美館製版

新寫眞吉野縣長崎村 大宗寺福之寺

郡沼村央南国後越縣長

臨濟宗福聚山龍澤庵景

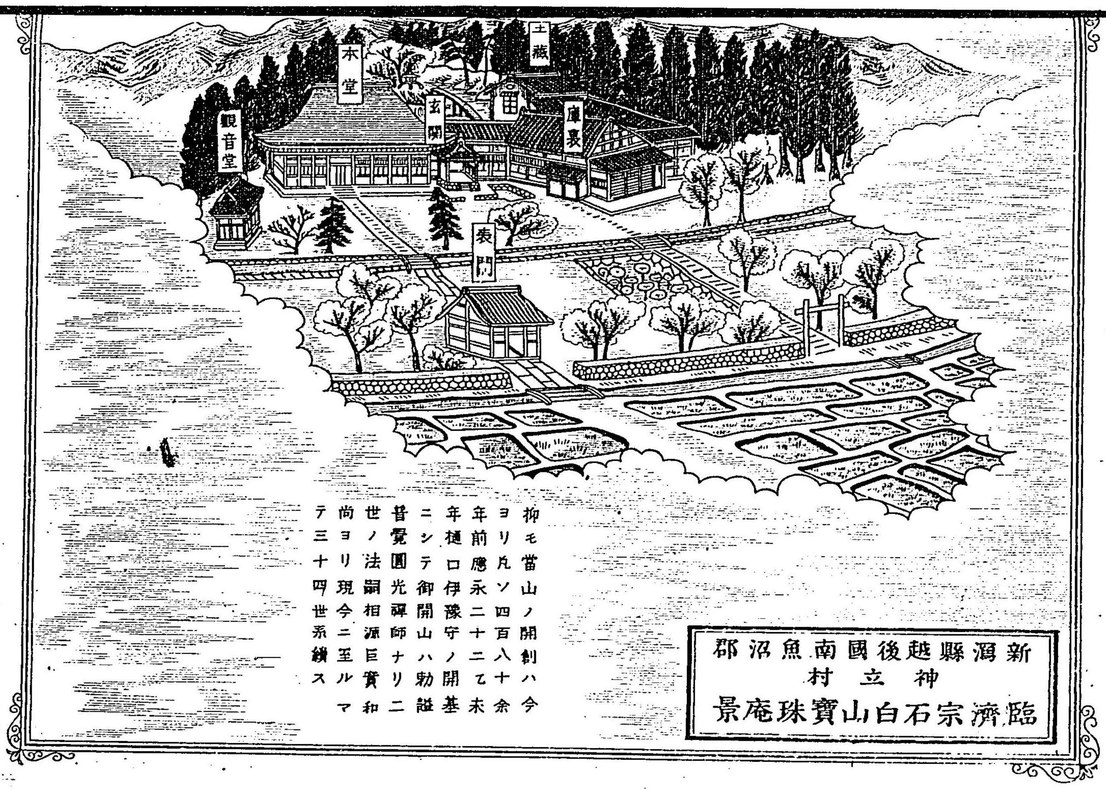
新潟縣 富寶郡 越村 大字 後國 神棒 南魚野 沼沢郡

本庵ハ應永二十七年〔今ヨリ四百八十一年前〕不藏和尚ノ建立ニ係リ和尚ヲ開山トナス本尊ハ文殊菩薩ニシテ天竺畏首磨ノ作トイフ永祿十年上杉景勝ノ母ノ安置シ係供料五十石ヲ寄附セリ景勝亦嘗テ永樂五十貫文ヲ賜ヒヌ又藥師堂ニ安置スル藥師如來像ハ靈驗アリト稱ス

春日作如意輪觀世音像及ビ左文字短刀、無銘薙刀等ヲ藏ス薙刀ハ柳瀉城主栗林肥前守ノ妻ノ護身ノモノナリシト云ヒ傳フ

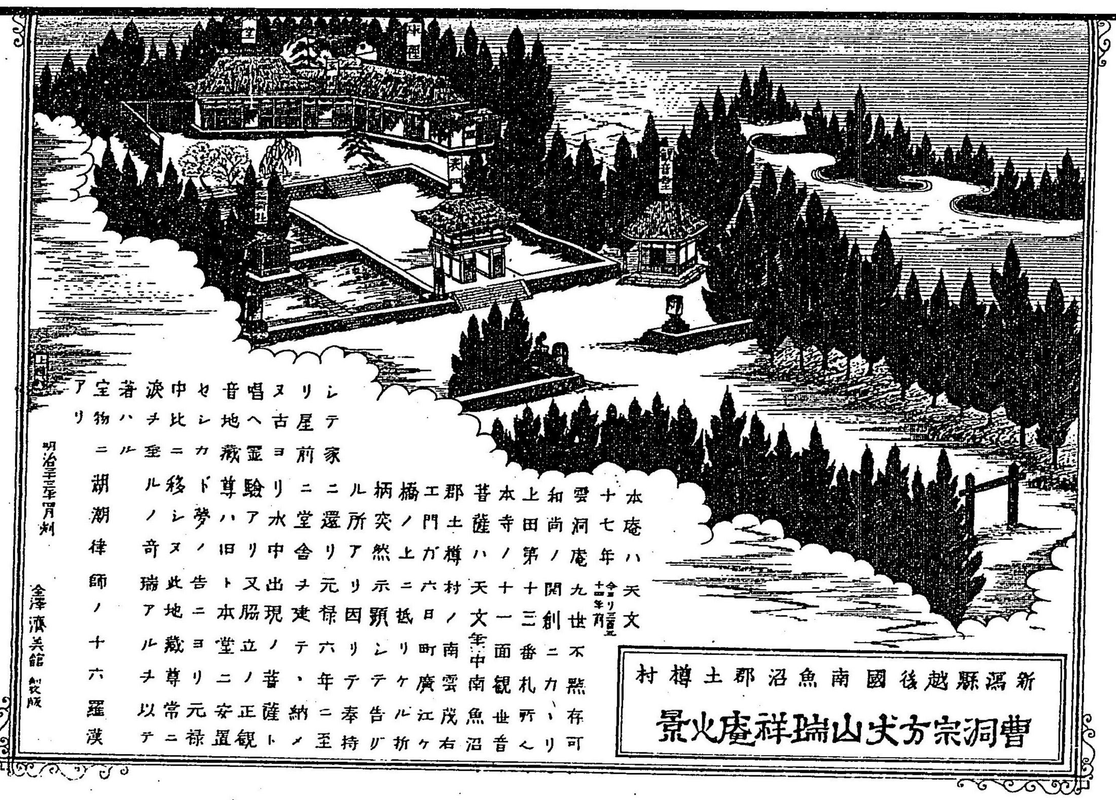
明治三十三年、月刻

金澤清美館製版



抑モ當山ノ開創ハ今ヨリ凡ソ四百八十余年前應永二十二乙未年植口伊豫守ノ開基ニシテ御開山ハ勅諡普覺圓光禪師ナリ二世ノ法嗣相源巨實和尚ヨリ現今ニ至ルマテ三十四世系續ス

新潟縣越後國南魚沼郡
神立村
臨濟宗石白山寶珠庵景



新潟縣越後國南魚沼郡土樽村

曹洞宗方丈山瑞祥庵火景

本庵ハ天文十七年（今ヨリ三百五十年前）雲洞庵九世不黙存可和尚ノ開創ニカヽリ、上田第十三番札所ノ本寺ノ十一面観世音菩薩ヲ勧請シ、耶土樽村ノ天文年中南雲茂右エ門カ六日町ノ南廣江ケ柄ノ上ニ祀リシ所ナリ因テ年ヲ経テ元標ノ示顕アリテ奉持ノ至ル所ニ堂舎ヲ建立シ、本尊ト観音正安置ス常ニ秘仏ニテ開帳ハ古来ヨリ僅カニ七年目ニ一度ノミ、其ノ霊験ヲ蒙リシ者ノ中ニハ遠ク越後ノ国ヨリ来リ詣スル者モ多シ、又境内ニ湧出ル清水ハ諸病ニ効アリトテ遠近ヨリ汲ニ来ル者絶ス、

明治三十年月刊

金澤濱美館製版